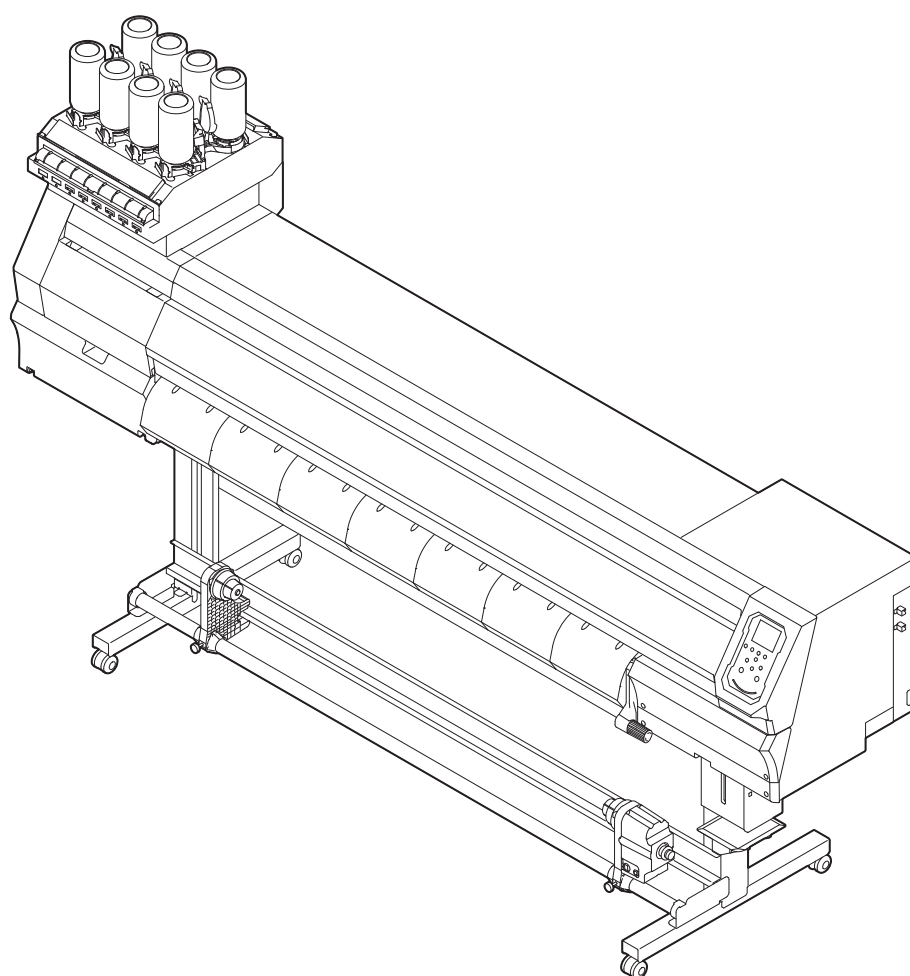


Operation Manual

UV INKJET PRINTER *UCJV300 Series* *UCJV150 Series*

取扱説明書



本書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

株式会社 ミマキエンジニアリング

<https://japan.mimaki.com/>

D203175-31

Original instructions

目次

はじめに	6
安全にお使いいただくために	8
シンボルマーク表示について	8
使用上の警告と注意	9
インクやその他本機で使用されている液体を取り扱うときの注意 事項.....	13
インク仕様	15
インク消費有効期限に対する本機の制限について	16
設置上のご注意	17
設置スペース	18
本機を移設したいとき	18
本機を移動したいとき	18
安全インターロックについて	20
警告ラベル	21

第 1 章 ご使用の前に

1.1 各部の名称とはたらき	26
正面	26
背面/右側面	28
キャリッジ	29
キャッピングステーション	29
ピンチローラーとグリットローラー	29
プラテン	30
インクステータスランプ	30
メディアセンサー	31
電源スイッチ	31
操作パネル	32
1.2 電源ケーブルを接続する	36
電源を入れる	36
電源を切る	37
1.3 本機とコンピューターを接続する	38
USBケーブルを使う	38
LANケーブルを使う	38
1.4 システム構成	40
Mimakiドライバーをインストールする	41
RIP用ソフトウェアをインストールする	41
カラープロファイルを入手する	41
RIP用ソフトウェアを準備する	42
1.5 インクの交換方法	44
インクニアエンドが表示されたとき	44
インクエンドが表示されたとき	44
インクを交換する	45

第 2 章 プリントしてみる

2.1 プリントの流れ	52
2.2 プリントヘッドの高さを調整する	55

2.3 ピンチローラーの位置を調整する.....	56
1,600 mmサイズ.....	57
1,300 mmサイズ.....	58
1,070 mmサイズ.....	59
750 mmサイズ.....	60
2.4 メディアをセットする.....	61
メディアについて.....	61
巻き取りユニットについて.....	61
ロールメディアをセットする.....	63
リーフメディアをセットする.....	67
2.5 ピンチローラーの圧力と使用個数を設定する.....	70
2.6 テストプリントをする.....	71
テストプリントの配置方向を変更する.....	71
ホワイトインクの吐出を確認する.....	71
吐出不良について.....	72
2.7 ヘッドクリーニングをする.....	73
2.8 フィード補正をする.....	74
フィード補正の手順.....	74
2.9 ドット位置補正をする.....	76
ドット位置補正の手順.....	76
2.10 RIPデータを準備する.....	77
2.11 プリントする.....	79
原点を変更する.....	79
プリントを開始する.....	79
プリントを中止する（データクリア）.....	80
2.12 メディアを裁断する.....	81

第3章 カッティングしてみる

3.1 カッティングの流れ.....	84
3.2 カッティングツールを取り付ける.....	86
カッターを使う.....	86
ペンを使う.....	90
3.3 カット条件を設定する.....	94
3.4 テストカットをする.....	95
3.5 カッティングデータをカットする.....	96
原点を変更する.....	96
カッティングを開始する.....	96
カッティングを中止する（データクリア）.....	97
カッターユニットを退避させる.....	97

第4章 トンボ付きデータをカッティングしてみる

4.1 トンボ付きデータのカッティングの流れ.....	100
-----------------------------	-----

4.2 トンボを作成する	102
トンボについて	102
トンボのサイズ	103
トンボとトンボの間隔	104
トンボの読み取り範囲	105
トンボ周辺のプリント禁止エリア	106
プリント&カットの複合動作について	106
4.3 トンボ検出の条件を設定する	107
4.4 トンボの原点位置を検出する	108
4.5 IDカットの流れ	109

第 5 章 各種設定

5.1 設定メニュー	112
Temporaryの使い方	114
設定タイプ名称の変更方法	115
LTモード	116
5.2 メンテナンスメニュー	117
ノズルリカバリーを登録する	118
5.3 マシン設定メニュー	120
イベントメール機能の設定	122
5.4 ノズルチェックメニュー	125
5.5 情報メニュー	126
5.6 カッティングメニュー	127
直前のデータをコピーする	130
切り残しをなくす	130

第 6 章 メンテナンス

6.1 メンテナンスに関するご注意	134
6.2 メンテナンスの方法	135
メンテナンス項目とタイミング	135
インクのメンテナンス	137
ワイパーの清掃	137
キャップゴムの清掃	139
NCUの清掃	140
キャリッジ底面の清掃	141
ミストフィルターの清掃	142
インク排出経路の洗浄	143
メディアセンサーの清掃	144
メディア押さえの清掃	145
ジャムセンサーの清掃	145
ブラテンの清掃	146
カバー（外装）の清掃	147
長期間使用しないときは	147

6.3 消耗品の交換	150
ワイパーの交換.....	150
キャップ吸収材の交換.....	151
ミストフィルターの交換	152
LEDガラスの交換	153
排気ファンフィルターの交換	154
ピンチローラーの交換.....	155
メディア押さえの交換.....	156
メディア裁断カッターの交換	158
廃インクタンクの交換.....	159
カッティング用カッター	162
ペンラインの交換	162
インクボトルキャップの交換	163

第7章 困ったときは

7.1 故障かな?と思ったときは	166
電源が入らない.....	166
プリントできない	166
メディア詰まり、メディアが汚れる	166
画質不良が発生した	167
インクが漏れた.....	172
遮光カバーが外れてしまった	172
カッティング関連	172
7.2 メッセージを表示するトラブル	178
ワーニングメッセージ.....	178
インクエラー	180
エラーメッセージ	181
SYSTEM HALT	187

第8章 付録

8.1 仕様.....	190
8.2 仕様（カッティング）	192
8.3 LICENSE Library (EPL5 StarterWare).....	193

はじめに

この度はUVインクジェットプリンター UCJV300シリーズ, 150シリーズをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

安全に正しくお使いいただくために、取扱説明書（以後、本書と称します）をよくお読みいただき、十分に理解してから使用してください。

本書で使用しているイラストは、機能や手順、操作の説明を目的としており、本機と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

Adobe、Adobeロゴ、Acrobat、Illustrator、Photoshop、およびPostScriptは、Adobe Incorporatedの米国ならびにその他の国における商標、または登録商標です。

RasterLinkは、株式会社ミマキエンジニアリングの日本ならびにその他の国における商標、または登録商標です。

その他本書に記載されている会社名、および商品名は各社の日本ならびにその他の国における商標、または登録商標です。

本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

© 2017 株式会社ミマキエンジニアリング

● 免責事項

- UCJV300シリーズ, 150シリーズ（以後、本機と称します）の故障有無に関わらず、本機をお使いいただいたことによって生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機により作成された製作物に対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 弊社推奨品以外の装置などを使用すると、火災、または本機の破損事故のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 弊社純正インク、メンテナンス液をご使用ください。それ以外を使用すると、プリント品質の低下、本機の故障のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- インクボトルのインクを詰め替えないでください。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 弊社純正不凍液をご使用ください。それ以外の不凍液を使用すると、冷却装置が故障するおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- UV-LEDユニット、UV電源装置は、弊社純正品以外は絶対に使用しないでください。弊社純正品以外を使用すると、本機の故障、感電、火災のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。

● テレビ、ラジオの受信障害について



- 本機稼働中は、高周波が発生しています。不適切な条件下で使用した場合、テレビやラジオの受信障害が発生するおそれがあります。特殊なテレビやラジオに対して、保証していません。

テレビやラジオの受信障害が発生したら、本機の電源を切ってから、テレビやラジオの受信状態をご確認ください。電源を切って受信障害が解消すれば、本機が原因と考えられます。

次の手順のいずれか、またはいくつかを組み合わせることで試してください。

- テレビやラジオのアンテナの向きを変えて、受信障害の発生しない位置を探してください。
- テレビやラジオは、本機から離れた場所に設置してください。
- テレビやラジオは、本機が接続している電源供給経路とは別のコンセントに接続してください。

- 電波障害自主規制

本機は、VCCIクラスA情報技術装置です。本機を家庭で使用すると電波妨害を引き起こすおそれがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

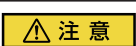
- 使用上の制限について

UCJV300シリーズ, 150シリーズはIEC62471/IECTR62471-2 に従ったRisk Group1 に分類されます。

安全にお使いいただくために

シンボルマーク表示について

本書では、シンボルマーク表示により操作上の注意内容を説明しています。各マークの持つ意味を十分理解して、本機を安全に正しくお使いください。

内 容		
	警告	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡、または重傷のおそれがある内容を示しています。
	注意	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、軽傷、または中程度の負傷のおそれがある内容を示しています。
	注記	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。
	一般警告	注意しなければならない事項を示しています。具体的な警告内容は、マークの中に描かれています。
	一般強制指示	実行しなければならない事項を示しています。具体的な強制指示内容は、マークの中に描かれています。
	一般禁止	してはいけない事項を示しています。具体的な禁止内容は、マークの中に描かれています。
	重要	本機をお使いいただく上で、知っておいていただきたい事項を示しています。
	ヒント	知っておくと便利な事項を示しています。
	参照情報	関連する内容の参照ページを示しています。

使用上の警告と注意

● 異常事態が発生したら

⚠ 警告



- ・ 万一、煙が出ていたり、変な臭いがしたりするなどの異常事態が発生したら、直ちに主電源を切って電源ケーブルを抜いてください。そのまま使用すると、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。煙が出なくなるのを確認してから、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。

⚠ 注意



- ・ インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体が皮膚に付着してしまったときは、直ちに布などでふき取ってください。そのあと石鹸を使用して、大量の水で洗い流してください。インクが付着したまま放置すると、皮膚が炎症をおこす原因になります。皮膚に刺激や痛みを感じたときは、速やかに医師の診断を受けてください。
- ・ インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体が目に入ってしまったときは、直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗い流してください。コンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は、清浄な流水で15分以上洗い流したあとに外してください。また、まぶたの裏まで完全に洗ってください。インクが付着したまま放置すると、失明や視力が低下する原因になります。目に刺激や痛みを感じたときは、速やかに医師の診断を受けてください。
- ・ インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体が口に入ってしまったら、飲み込んでしまったりしたときは、無理に吐かせないで直ちにうがいをして、速やかに医師の診断を受けてください。無理に吐かせると、吐いたものが気管に入ってしまうおそれがあります。
- ・ 蒸気を大量に吸い込んでしまったときは、新鮮な空気のある場所へ移動して、暖かくして呼吸しやすい姿勢で安静にしてください。症状が改善しない場合は、速やかに医師の診断を受けてください。
- ・ すぐに医師の診断を受けられない場合は、（財）日本中毒情報センター 中毒110 番に相談してください。
（大阪）072-727-2499 24時間対応
（つくば）029-852-9999 9～21時対応

注 記



- ・ インクが漏れてしまったときは、すぐに主電源を切って電源ケーブルを抜いてください。そのあと、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

● 電源に関するご注意

⚠ 警告



- 付属の電源ケーブルを使用してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。なお、本機以外の電気機器には使用できません。
- 電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源ケーブルを引っ張るとケーブルが破損して、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 電源プラグにホコリなどが付着したまま使用しないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 電源プラグの刃に金属などが触れないようにしてください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 電源ケーブルを傷つけたり、加工しないでください。また、重い物をのせたり、加熱したり、引っ張ったりしないでください。電源ケーブルが破損して、感電や火災につながるおそれがあります。
- 延長コードの使用やタコ足配線をしないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 電源ケーブルの破損や芯線の露出、断線などが見られる場合は使用しないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

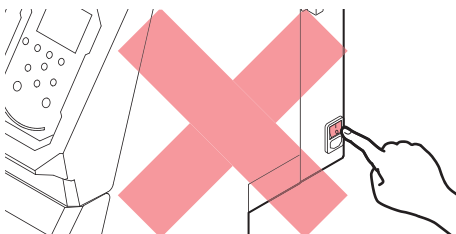


- 電源ケーブルのプラグは、接地（アース）極性付きのコンセントに接続してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- コンセントの増設には、感電事故防止のため接地（アース）工事が必要です。必ず電気工事士の免許を持った人が電気工事（C種接地工事（特別第3種接地工事））をしてください。

注 記



- 主電源を切らないでください。主電源を切っていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- 本機は指定された電源仕様で使用してください。
- 電源ケーブルは、必ず本機の近くにある電源コンセントに接続してください。また、電源プラグの刃を根元まで確実に差し込んでください。
- 電源ケーブルを接続する際には、電源コンセントの入力電圧、ブレーカーの容量を確認してください。また、それぞれのケーブルはブレーカーが独立している別の電源に接続してください。同じブレーカーにつながっているコンセントに接続すると、ブレーカーが遮断する原因になります。

● 可動部に注意してください

 注意

- ・顔や手など体の一部を可動部に近づけないでください。また作業の妨げになるような服装（ダブついた服装、装飾品など）で、本機に近づかないでください。ケガをするおそれがあります。



- ・長い髪の毛は束ねてください。ケガをするおそれがあります。

● 分解、改造はしないでください

 警告

- ・本機を分解したり、改造したりしないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

● カッターの取り扱いについて

 注意

- ・カッターの刃先を触らないでください。ケガをするおそれがあります。
- ・カッティングホルダーは振らないでください。刃先が飛び出すおそれがあります。

● 紫外線（UV）、UV-LEDユニットについて

 警告

- ・UV-LEDユニットの下に可燃物を置いたり、紙や布でUV-LEDユニットを覆ったりしないでください。発火や発煙のおそれがあります。
- ・UV-LEDユニットから、微量の紫外線が漏れてしまうことがあります。目や皮膚に紫外線を浴びないように、UV遮光メガネや遮光用フェイスシールド、マスク、手袋、長袖の服を着用してください。
 - (1) 皮膚に紫外線を浴びると、炎症を起こすおそれがあります。炎症を起こさない場合でも、長期間、または反復暴露によって慢性障害に発展するおそれがあります。
 - ・急性障害：炎症など
 - ・慢性障害：皮膚がん、シワ、シミなど
 - (2) 点灯中のライトを肉眼で見た場合、目の痛みや視力障害を起こすおそれがあります。目の痛みを起こさない場合でも、長期、または反復暴露によって慢性障害に発展するおそれがあります。
 - ・急性障害：紫外線角膜炎、結膜炎、異物感、とう痛、涙が流れるなど
 - ・慢性障害：翼状片、白内障など

 注意

- ・UV-LEDユニットは非常に高温になります。LEDが消灯して十分温度が下がるまで、手を触れないように注意してください。



- ・UV-LEDユニットの光を皮膚や目に直接、または間接的にあてないでください。UV-LEDユニットは、紫外線（UV）を発生させています。光を皮膚や目に紫外線を浴びると、炎症を起こすおそれがあります。



- 必ず付属のUV遮光メガネを着用してください。目が痛くなったり、視力障害を起こしたりするおそれがあります。

注 記



- UV-LEDユニットに無理な力を加えたり、キズをつけたりしないでください。変形や故障の原因になります。
- UV-LEDユニットの下面についているガラスは、素手で触れないでください。UV インクの硬化が低下する原因になります。汚れが付着したときは、エタノールを含ませた清潔な柔らかい布で拭いてください。その際、カバーや他の部品にエタノールを付着させないように注意してください。変形や故障の原因になります。

● その他、使用上の警告と注意

⚠ 警 告



- 本機に子供を近づけないでください。

注 記



- クランプレバーが下がっている（メディアが保持されている）ときは、メディアを強く引っ張らないでください。本機が故障する原因になります。

重要!

- プリント済みメディアの保管状態（巻き取ったメディアの平置きによる荷重など）やメディアの種類によって、メディア裏面に裏移りしてしまうことがあります。事前にテストをして、裏移りしないかどうかを確認してください。

● 本機の廃棄について

⚠ 注 意



- 販売店、またはサービス実施店にご相談ください。
- お客様自身で廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

インクやその他本機で使用されている液体を取り扱うときの注意事項

インクやメンテナンス液、その他本機で使用されている液体の容器に、液体に関する注意書きが添付されています。よくお読みいただき、十分に理解してから使用してください。



- 取り扱い前に必ず安全データシート（SDS）をご覧ください。<https://japan.mimaki.com/supply/sds/>

⚠ 注意



- インクやメンテナンス液、廃インク、その他本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。



- 不凍液は、弊社専用の不凍液をご使用ください。それ以外の不凍液を使用されると、冷却ユニットが故障するおそれがあります。
- 静電気・衝撃火花による着火源が生じないように注意してください。
- 不要となった不凍液は以下の方法で処分してください。
 - (1) おがくず、ウェスなどに吸着させて、焼却炉で焼却する。
 - (2) 免許を持った産業廃棄物処理業者に内容物を明確にして処理を委託する。



- インクが入っているケースに強い衝撃を与えたり、激しく振り回したりしないでください。またインクを詰め替えないでください。インクが漏れて皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。



- インクが入っているケースを分解しないでください。インクが漏れて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。



- インクやメンテナンス液、その他本機で使用されている液体を子供が立ち入るおそれのある場所に保管しないでください。



- インクやメンテナンス液、その他本機で使用されている液体、インクなどが付着した容器や不織布などを廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

注 記



- インクやメンテナンス液、その他本機で使用されている液体を直射日光が当たる場所に保管しないでください。
- インクやメンテナンス液、その他本機で使用されている液体を金属切削液や揮発性の高い物質（アミン類、アミン変性アルコール類など）が充満している場所に保管しないでください。そのような場所に保管すると、故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- インクやメンテナンス液、その他本機で使用されている液体は、他のプリンターで使用しないでください。故障の原因になります。



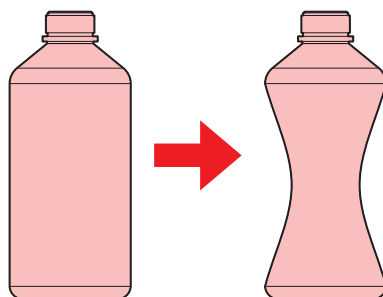
- 床から1m以内の低い場所に保管してください。落下したときに液体が飛散するおそれがあります。
- 密閉した状態で保管してください。
- 冷暗所で保管してください。
 - (1) インクが凍結しない環境での保管をしてください。解凍したインクを使用すると、インクの成分が変質してプリント品質が低下するおそれがあります。
 - (2) 寒い所から暖かい所に移したインクは、本機と同じ環境に3時間以上放置してから利用してください。
 - (3) インクは使用直前に開封して、早めに使い切ってください。開封してから長時間経過したものは、プリント品質が低下するおそれがあります。



- インクICチップの金属部分には触れないでください。静電気でインクICチップが破損したり、汚れや傷などによってインクICチップが読み取りエラーになる原因になります。



- 種類の違うインクICチップでは、プリントすることができません。
- 本機にセットしているインクボトルがへこんでしまっても、使用上問題ありません。



インク仕様

項目		内容
種類		専用UV硬化インク（弊社純正品）
カラー		シアン（C） マゼンタ（M） イエロー（Y） ブラック（K） ライトシアン（Lc） ^{*1} ライトマゼンタ（Lm） ^{*1} ホワイト（W） ^{*1} クリアインク（CL） ^{*1}
形態		ボトル
インク容量		1,000 ml
消費有効期限		インクボトルに記載されているとおり。 ただし、開封後は消費有効期限内であっても3か月以内。
保存温度	保存時	5 - 30℃（1日の平均気温） ただし、30℃の場合1か月以内 ・ 範囲を外れる場合、インクの品質が低下するおそれがある。
	輸送時	1 - 60℃ ただし、60℃の場合120 時間以内、40℃の場合1か月以内 ・ 0℃より低温になる場所、40℃より高温になる場所は、できる限り避けること。 ・ 範囲を外れる場合、インクの品質が低下するおそれがある。

*1. 300シリーズのみ

インク消費有効期限に対する本機の制限について

例) 消費有効期限の記載が、20xx年4月の場合

- 同年5月：新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。
- 同年6月：新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。
- 同年7月：プリントすることができません。



- ディスプレイにメッセージを表示してお知らせします。



- インクの容器にインクの消費有効期限が記載されています。インクの消費有効期限を超えると、インクの吐出不良が生じたり、色みに変化を生じたりするおそれがあります。消費有効期限を超えてもプリントすることはできますが、新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ることをお勧めします。
-

設置上のご注意

⚠ 警告



- 火気のある場所に本機を設置しないでください。
- 本機の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、化学薬品、水などの入った容器、または小さな金属物を置かないでください。本機内部に浸入すると、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。



- 湿気の多い場所や水のかかる場所に本機を設置しないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。



- 本機を子供が立ち入るおそれのある場所に設置しないでください。

⚠ 注意



- 換気の悪い部屋、もしくは密閉された部屋に本機を設置する場合は、必ず換気装置を設けてください。
- 排気口施工については、必ず以下の内容をお守りください。
 - (1) 排気口の設置は、各国の地域のEHS（Environmental, Health and Safety）ガイドラインにしたがってください。
 - (2) 排気口に閉鎖弁などを設置した場合、本機使用中は必ず閉鎖弁を開けてください。

注記



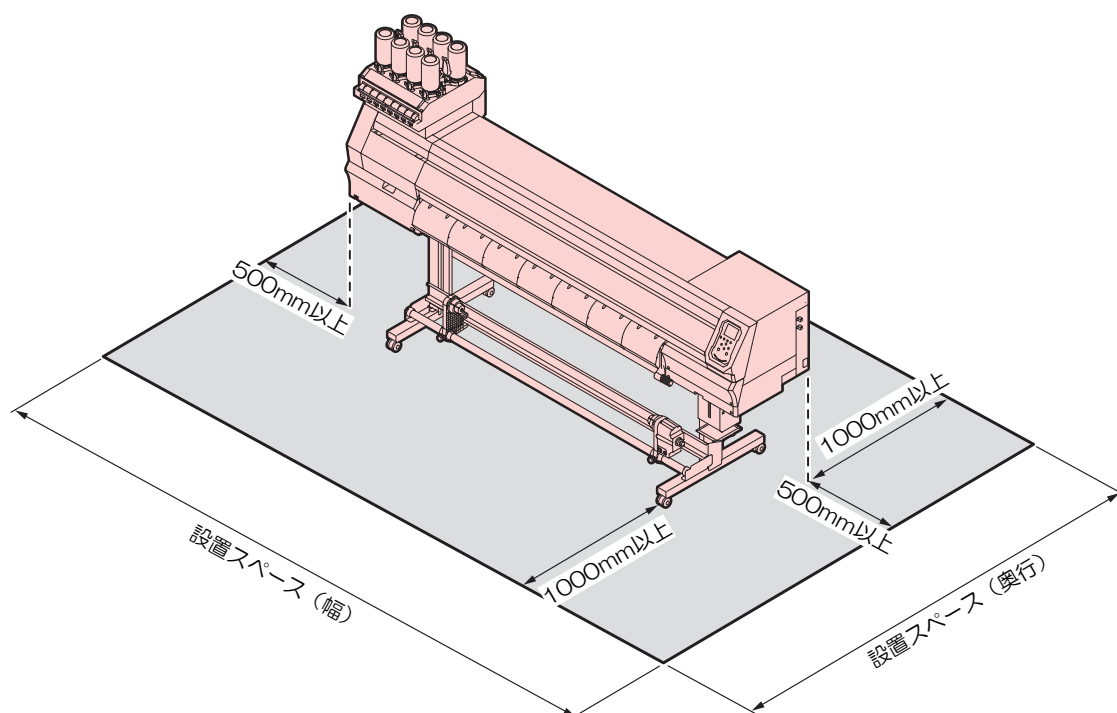
- ホコリや粉じんのある場所に本機を設置しないでください。本機の内部に浸入すると、故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- エアコンなどの風が当たる場所に本機を設置しないでください。本機の内部にホコリや粉じんなどが浸入するおそれがあります。
- 不安定な場所や振動が発生する場所に本機を設置しないでください。故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- 直射日光が当たる場所に本機を設置しないでください。
- 温度変化が激しい場所に本機を設置しないでください。故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- ノイズを発生する大型の機械が置いてある場所に本機を設置しないでください。
- 写真定着材の蒸気や酸性（酢酸、塩酸など）の気体が発生していたり、金属切削液や揮発性の高い物質（アミン類、アミン変性アルコール類など）が充満してたりする場所に本機を設置しないでください。そのような環境下に設置すると、プリントヘッド表面のインクが固まり、故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- 動作可能環境：20~30 °C（68~86 °F）、35~65% Rh（結露なきこと）
- 精度保証温度：20~25 °C（68~77 °F）

設置スペース

メディアやインクの交換を安全に正しく行うためには、以下のスペースが必要です。



項目	UCJV300-160	UCJV300-130	UCJV300-107	UCJV300-75	UCJV150-160
幅 ^{*1}	3,900 mm以上 (2,900 mm)	3,650 mm以上 (2,650 mm)	3,380 mm以上 (2,380 mm)	3,090 mm以上 (2,090 mm)	3,900 mm以上 (2,900 mm)
奥行き ^{*1}	2,776 mm以上 (776 mm)				
高さ ^{*1, *2}	(1,475 mm)				
重量	188 kg	177 kg	161 kg	144 kg	183 kg

*1. () 内は、本機のサイズ

*2. インクボトルの高さを除く

本機を移設したいとき

販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。お客様が本機を移設すると、故障や破損のおそれがあります。

本機を移動したいとき

本機は移動しないでください。やむを得ず移動する場合は、段差のない同一フロア内での移動のみとしてください。



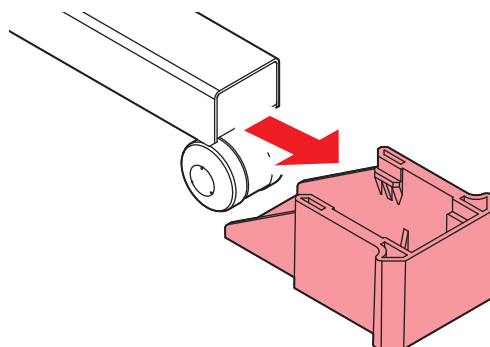
- 手順を十分に理解してから、移動させてください。



- カバーを押して移動しないでください。カバーが破損する原因になります。

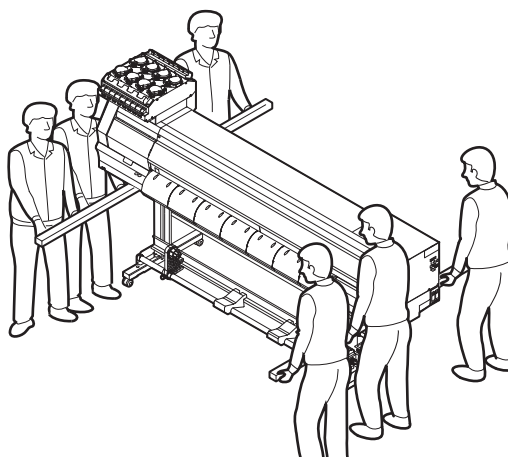
1 本機下面についている、搬送ステーを取り付ける。

2 キャスターブロックを取り除く。

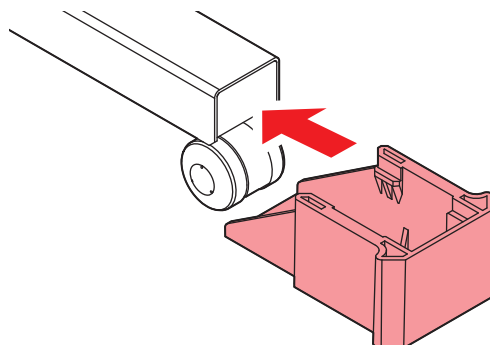


3 搬送ステーを持って、移動する。

- 必ず6人以上で移動をしてください。また、各国の規定に準じて移動してください。



4 キャスターブロックを取り付ける。



5 搬送ステーを取り外す。

6 本体底面に、搬送ステーを取り付ける。

7 テストプリントをしてノズル詰まりがないかどうかを確認してください。

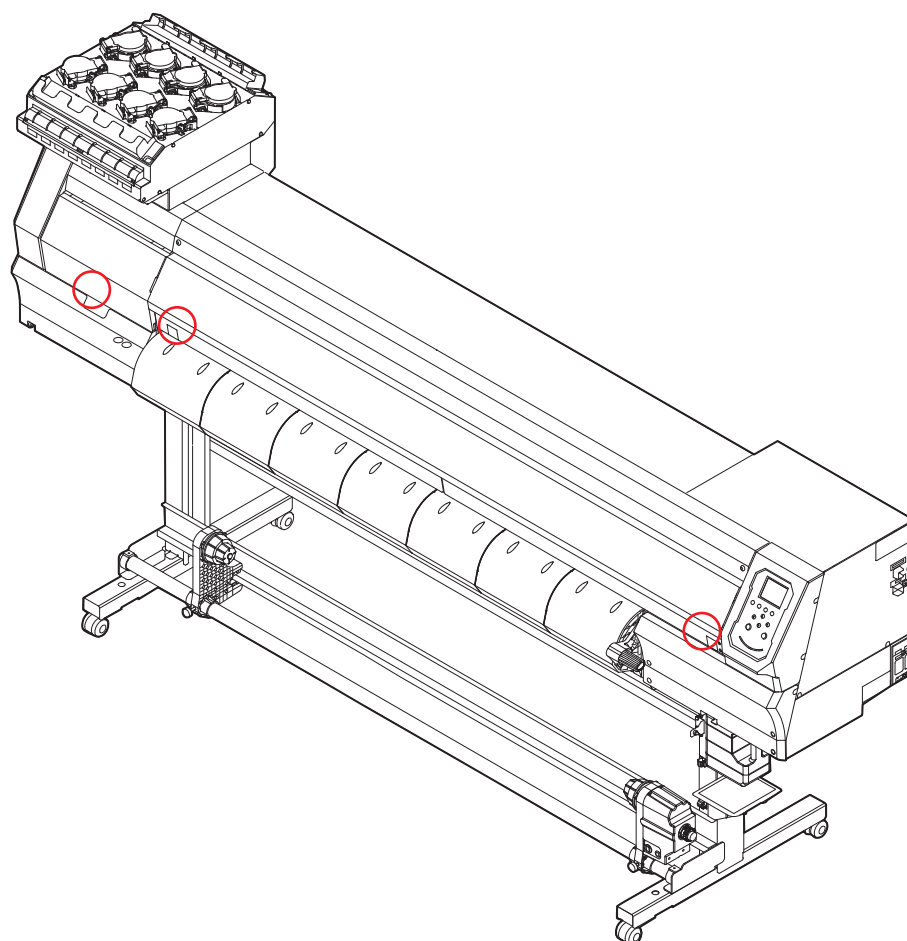
8 プリント前にフィード補正とドット位置補正をしてください。

安全インターロックについて

本機は安全にご使用いただくため、インターロックが設置されています。

プリント実行中にカバーを開けるとプリントが中断されます。再度RIPデータの受信が必要になります。

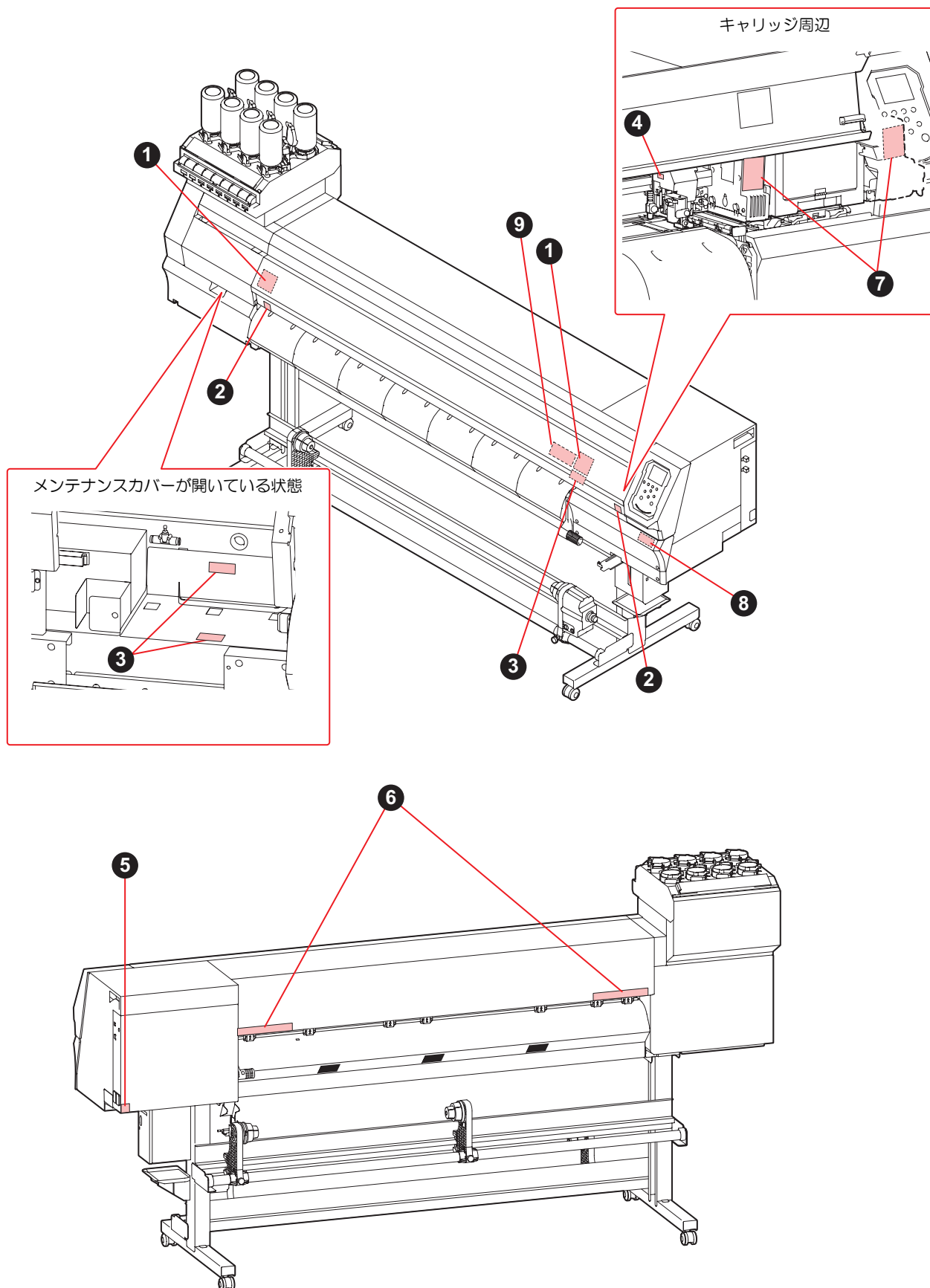
- インターロック設置場所

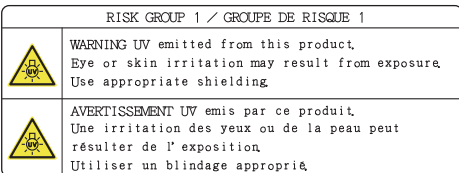


警告ラベル

警告ラベルの内容を十分理解してください。

警告ラベルが汚れて読めなくなったり、剥がれたりした場合は、販売店、またはお近くの弊社営業所で、新しい警告ラベルをお買い求めください。



No.	注文番号	ラベル	内容
1	M910931		カバーの開閉に注意してください。手を挟むとケガをするおそれがあります。
2	M907833		危険な可動部を示しています。
3	M903330		作業中に保護メガネや手袋を着用してください。
4	M903405		カッターに注意してください。
5	M907935		危険な電圧部を示しています。
6	M905811		危険な可動部を示しています。
7	M913419		紫外線に注意してください。
8	M905935		ピンチローラーのレバーを触らないでください。
9	M920102		UVリスクグループ1を示しています。

第1章 ご使用の前に



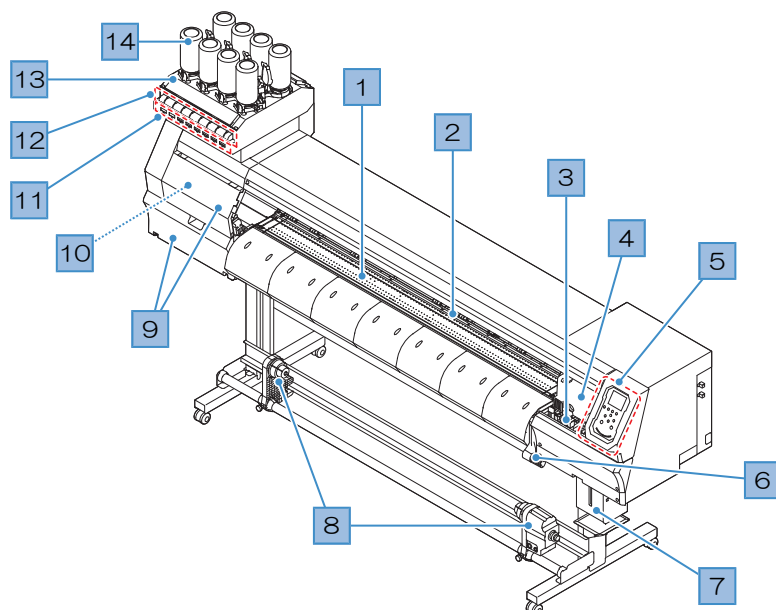
この章では...

各部の名称など、ご使用の前に知っておいていただきたいことについて説明しています。

各部の名称とはたらき.....	26	本機とコンピューターを接続する	38
正面	26	USBケーブルを使う	38
背面/右側面	28	LANケーブルを使う	38
キャリッジ	29	システム構成.....	40
キャッピングステーション.....	29	Mimakiドライバーをインストールする	41
ピンチローラーとグリットローラー.....	29	RIP用ソフトウェアをインストールする	41
プラテン.....	30	カラープロファイルを入手する.....	41
インクステータスランプ.....	30	RIP用ソフトウェアを準備する.....	42
メディアセンサー	31	インクの交換方法.....	44
電源スイッチ.....	31	インクニアエンドが表示されたとき	44
操作パネル	32	インクエンドが表示されたとき.....	44
電源ケーブルを接続する	36	インクを交換する	45
電源を入れる.....	36		
電源を切る	37		

1.1 各部の名称とはたらき

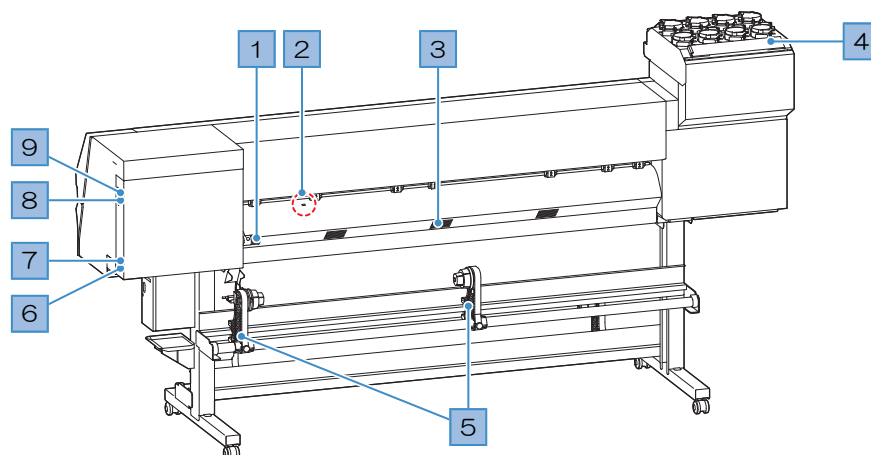
正面



No.	名称	概要
1	プラテン	プリントするエリアです。☞ 「プラテン」 (P. 30)
2	ピンチローラー グリットローラー	ピンチローラーとグリットローラーでメディアを押さえてフィードしています。☞ 「ピンチローラーとグリットローラー」 (P. 29)
3	キャッピングステーション	キャップやワイパー、プリントヘッドのノズル状態を監視するNCUなどで構成されています。☞ 「キャッピングステーション」 (P. 29)
4	キャリッジ	プリントヘッドやUV-LEDライト、ジャムセンサーなどで構成されています。☞ 「キャリッジ」 (P. 29)
5	操作パネル	各種設定や項目を表示するディスプレイ、操作キーが付いています。☞ 「操作パネル」 (P. 32)
6	クランプレバー（前）	クランプレバーを下げるとメディアが保持され、クランプレバーを上げるとメディアが開放されます。
7	廃インクタンク	廃インクを溜める容器です。☞ 「廃インクタンクの交換」 (P. 159)
8	巻き取りユニット	プリントされたロールメディアを巻き取ります。☞ 「巻き取りユニットについて」 (P. 61)
9	メンテナンスカバー	カバーを開けて、キャリッジ底面をメンテナンスします。カバーを開けた状態では、プリントやオートメンテナンス機能が実行できません。
10	カッターユニット	カッティング用のカッターやプラテンの溝に沿ってメディアを裁断するメディアカッターで構成されています。カッターユニットは、左側のメンテナンス位置に待機しています。☞ 「カッティングツールを取り付ける」 (P. 86)
11	インクICチップスロット	インクボトルに付属しているICチップを挿し込みます。インクボトルの情報を管理しています。インクICチップを差し込む
12	インクステータスランプ	インクの状態をランプでお知らせします。☞ 「インクステータスランプ」 (P. 30)
13	インクふき取りフィルター	インクボトルの専用キャップに付いたインク滴を吸い取るためのフィルターです。

No.	名称	概要
14	インク供給ユニット	インクボトルを挿し込んで、プリントヘッドにインクを供給します。  「インクの交換方法」 (P. 44)

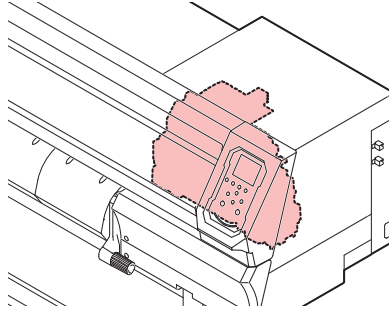
背面/右側面



No.	名称	概要
1	クランプレバー（後）	前面にあるクランプレバーと連動しています。
2	メディアセンサー	メディアの有無を感知しています。☞ 「メディアセンサー」 (P. 31)
3	メディア吸着ファン排気口	メディアを吸着するファンの排気口です。
4	インクふき取りフィルター	インクボトルの専用キャップに付いたインク滴を吸い取るためのフィルターです。
5	繰り出しユニット	プリントする前のロールメディアを取り付けます。2インチと3インチの紙管に対応しています。
6	ACインレット	付属されている電源ケーブルを接続します。☞ 「電源ケーブルを接続する」 (P. 36)
7	主電源スイッチ	本機の主電源です。プリントヘッドの吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）を防止するため、主電源は切らないでください。☞ 「電源を入れる」 (P. 36) ☞ 「電源を切る」 (P. 37)
8	LANポート	ネットワーク機能をお使いになるときに使用します。☞ 「LANケーブルを使う」 (P. 38)
9	USBポート	USBインターフェースケーブルでコンピューターと接続します。☞ 「USBケーブルを使う」 (P. 38)

キャリッジ

キャリッジは、インクを吐出するプリントヘッド、UVインクを硬化するUV-LEDライトとメディアが詰まったときにキャリッジを停止させるジャムセンサーなどで構成されています。左右にスキャンしながらインクを吐出して、プリントしています。

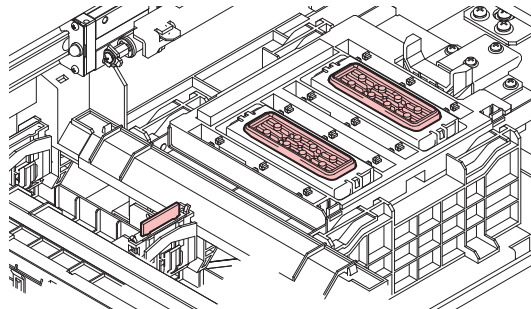


- 必ず付属のUV遮光メガネを着用してください。目が痛くなったり、視力障害を起こしたりするおそれがあります。

キャッピングステーション

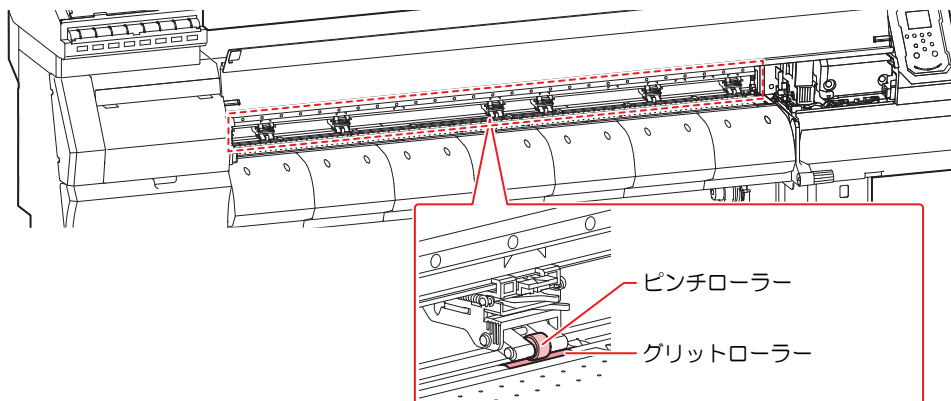
キャッピングステーションは、プリントヘッドのノズル面の乾燥を防止するキャップやプリントヘッドのメンテナンスに必要なワイパー、プリントヘッドのノズル状態を監視するNCUなどで構成されています。

NCU（Nozzle Check Unit）は、ノズル詰まりがあるかどうかを自動でチェックするユニットです。各種機能を設定すれば、プリントヘッドの自動クリーニングや別のノズルを使ってプリントさせることができます。🔗「ノズルチェックメニュー」（P. 125）🔗「ノズルリカバリーを登録する」（P. 118）



ピンチローラーとグリットローラー

ピンチローラーとグリットローラーで押さえて、メディアをフィードしています。



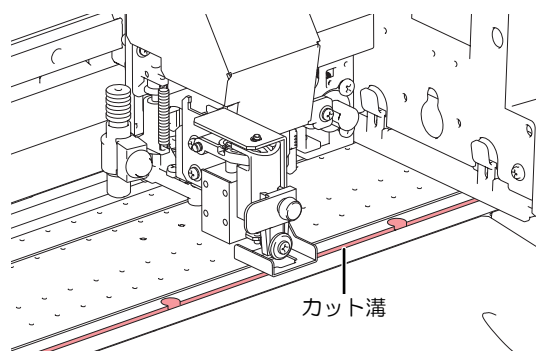


本機を使用しないときは、クランプレバーを上げてピンチローラーとグリットローラーを離してください。

- ピンチローラーを下げたまま放置すると、ピンチローラーが変形して、メディアを正常にフィードできなくなるおそれがあります
- メディアをセットしたまま放置すると、メディアがピンチローラーに押しつぶされて、ピンチローラー跡が残る原因になります。

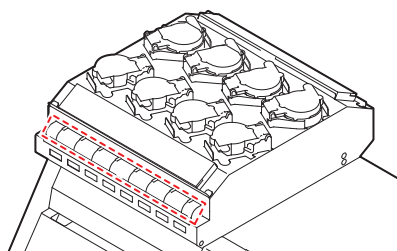
プラテン

プリントするエリアです。プラテンは、メディアを吸着してメディアの浮きを抑えています。またメディアを裁断するカット溝があります。



インクステータスランプ

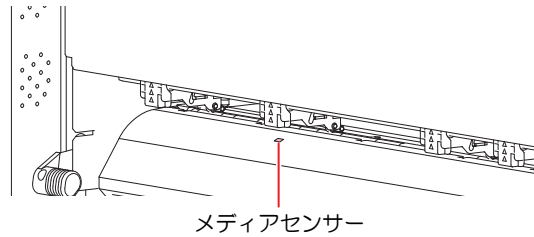
インク供給ユニットのランプで、インクの状態を確認することができます。



色	状態	概要
-	消灯	異常なし
青	点灯	インク供給中（異常なし）
黄	点灯 点滅	次のいずれかのエラーが発生しています。プリントすることは可能です。 • インクニアエンド • インク期限切れ（1か月）
赤	点灯	次のいずれかのエラーが発生しています。プリントすることができません。 • インクエンド • インクICチップが挿入されていない • その他のインクエラー
	点滅	プリントすることができません。 • インク期限切れ（2か月）

メディアセンサー

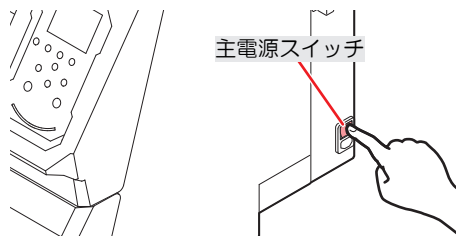
メディアセンサーは、メディアの有無を検出しています。メディアがセンサーを覆い隠していると、メディア幅を検出することができます。



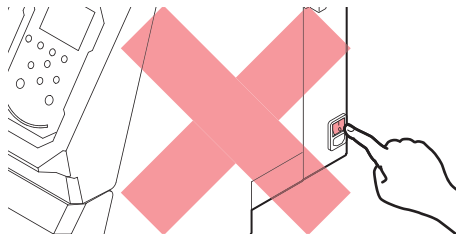
電源スイッチ

● 主電源スイッチ

本機の右側面にあります。

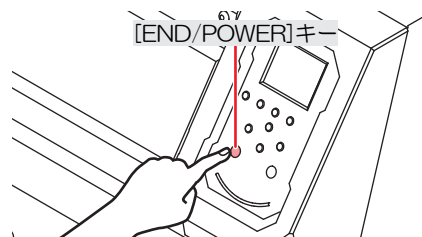


- 主電源を切らないでください。主電源を切っていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



● [END/POWER]キー

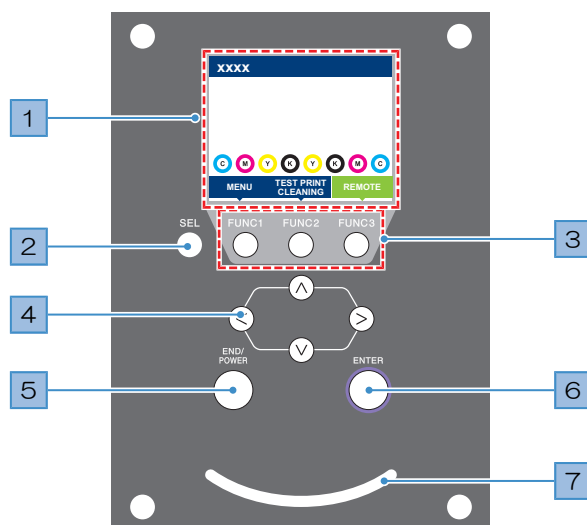
通常の電源オン/オフは、[END/POWER]キーを使用します。



- 正面カバーとメンテナンスカバーを閉じてください。カバーが開いていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）や故障の原因になります。

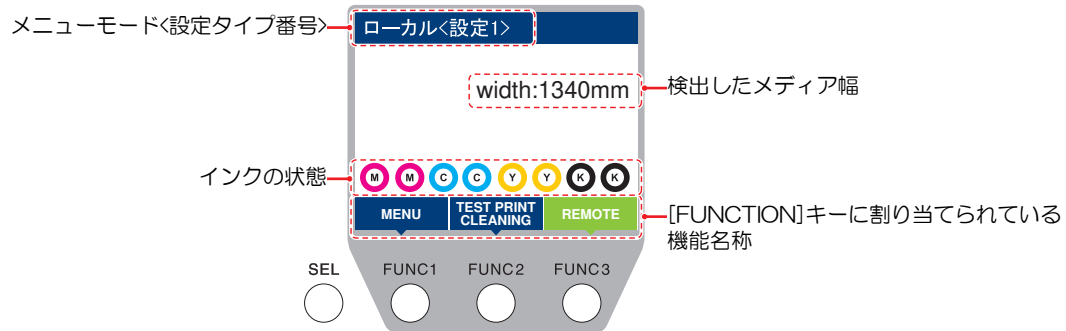
操作パネル

設定や各種操作をすることができます。



No.	名称	概要																
1	ディスプレイ	☞ 「ディスプレイ」 (P. 33)																
2	[SEL]キー	[FUNCTION]キーの機能を切り替えます。																
3	[FUNCTION]キー	テストプリントしたり、ヘッドクリーニングしたり、各種設定などしたりするときに使用します。☞ 「[FUNCTION]キー」 (P. 34)																
4	[JOG]キー ▲▼◀▶	キャリッジを移動したり、メディアをフィードしたり、各種設定の項目選択したりするときに使用します。																
5	[END/POWER]キー	直前に入力した設定をキャンセルしたり、設定メニューを1つ前の階層に戻したり、また電源をオン/オフしたりするときに使用します。 - 電源がオンのときは、青色に点灯しています。☞ 「電源を入れる」 (P. 36) - 電源をオフにしたいときは、長押ししてください。☞ 「電源を切る」 (P. 37)																
6	[ENTER]キー	次の階層メニューに移動したり、設定を確定したりするときに使用します。また、本機の情報を表示させることができます。☞ 「本機の情報を表示する (ローカルガイダンス)」 (P. 35)																
7	ステータスランプ	本機の状態をランプでお知らせします。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2">消灯</td><td>ローカルモードの状態です。テストプリントやメンテナンス、各種機能を設定することができます。</td></tr> <tr> <td rowspan="2">水色</td><td>点灯</td><td>リモートモードの状態です。プリントデータを受信するために、スタンバイしています。</td></tr> <tr> <td>点滅</td><td>プリント中です。テストプリントなど、本機に内蔵しているパターンをプリントしているときも点滅します。</td></tr> <tr> <td>青色</td><td>点灯</td><td>プリントしていないデータが残っています。リモートモードに移行して、プリントしてください。</td></tr> <tr> <td rowspan="2">赤色</td><td>点滅</td><td>エラーが発生しています。エラー一覧を参照して対処してください。☞ 「エラーメッセージ」 (P. 181)</td></tr> <tr> <td>点灯</td><td>システムエラー (SYSTEM HALT) が発生しています。コールセンターに問い合わせください。☞ 「SYSTEM HALT」 (P. 187)</td></tr> </table>	消灯		ローカルモードの状態です。テストプリントやメンテナンス、各種機能を設定することができます。	水色	点灯	リモートモードの状態です。プリントデータを受信するために、スタンバイしています。	点滅	プリント中です。テストプリントなど、本機に内蔵しているパターンをプリントしているときも点滅します。	青色	点灯	プリントしていないデータが残っています。リモートモードに移行して、プリントしてください。	赤色	点滅	エラーが発生しています。エラー一覧を参照して対処してください。☞ 「エラーメッセージ」 (P. 181)	点灯	システムエラー (SYSTEM HALT) が発生しています。コールセンターに問い合わせください。☞ 「SYSTEM HALT」 (P. 187)
消灯		ローカルモードの状態です。テストプリントやメンテナンス、各種機能を設定することができます。																
水色	点灯	リモートモードの状態です。プリントデータを受信するために、スタンバイしています。																
	点滅	プリント中です。テストプリントなど、本機に内蔵しているパターンをプリントしているときも点滅します。																
青色	点灯	プリントしていないデータが残っています。リモートモードに移行して、プリントしてください。																
赤色	点滅	エラーが発生しています。エラー一覧を参照して対処してください。☞ 「エラーメッセージ」 (P. 181)																
	点灯	システムエラー (SYSTEM HALT) が発生しています。コールセンターに問い合わせください。☞ 「SYSTEM HALT」 (P. 187)																

ディスプレイ



メニューモード

4つのメニューモードがあります。

名称	概要
ローカルモード	テストプリントやメンテナンス、各種機能を設定します。
リモートモード	コンピューターから受信したプリントデータをプリントします。
メニューモード	ローカルモード画面から[MENU]を押すと、メニューモードになります。各種機能を設定します。
ノットレディモード	メディアを検出する前の状態です。

インクの状態

インクの残量やエラーなど、インクボトルの状態がアイコンで表示されます。

アイコン	概要
	インクの残量を9段階のアイコンでお知らせします。
	フル 1/8消費 1/4消費 3/8消費 1/2消費 5/8消費 3/4消費 7/8消費
アイコン	概要
	インクニアエンドになると表示されます。インクの残りがわずかになっていますので、新しいインクを準備してください。
	プリントすることができません。インクエンドやインクエラーになると表示されます。☞ 「インクエラー」 (P. 180)
	インクの消費有効期限が切れる则表示されます。新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。☞ 「インク消費有効期限に対する本機の制限について」 (P. 16)

[FUNCTION]キー

[FUNCTION]キーに割り当てられている機能と役割を説明します。

アイコン	概要
	各種メニュー画面を表示します。☞「各種設定」(P. 111)
	テストプリント、クリーニングなどのメンテナンス画面を表示します。
	ローカルモードからリモートモードに移行します。
	フィード補正、ドット位置補正などの調整画面を表示します。
	受信データをクリアします。
	リモートモードからローカルモードに移行します。
	メディアを裁断したいときに使用します。
	各種メニュー画面で、前の画面へ移動します。
	各種メニュー画面で、次の画面へ移動します。
	メッセージが表示された場合など、確認画面を終了します。
	各種機能を無効にします。
	機能が割り当てられています。設定や機能を表示します。
	複数ある項目の有効/無効を切り替えます。
	カッティング条件の入力画面を表示します。
	テストカットなど、カッティング関連の機能画面を表示します。
	ピンチローラーの設定画面を表示します。

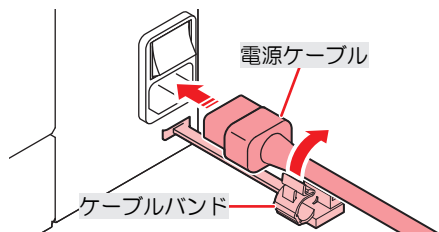
本機の情報を表示する（ローカルガイダンス）

ローカルモード画面で[ENTER]キーを押すごとに、以下の情報を表示させることができます。

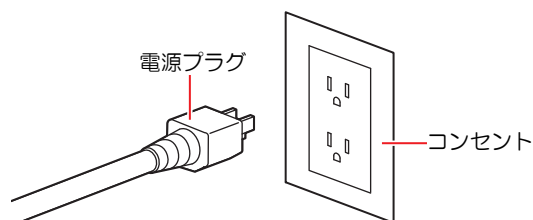
- インク情報：インク種類、インク残量、インクエラーが表示されます。
- インクICチップ登録情報：インクICチップの登録されている情報が表示されます。
- ワーニング：発生しているすべてのワーニングが表示されます。
- 情報：メディア幅、ヘッド高さ、本機シリアルNo.、ファームウェアバージョン、コマンドバージョン、LAN 接続状態が表示されます。
- ノズルチェック：ノズルチェックで検出したノズル詰まりしているノズル数が表示されます。

1.2 電源ケーブルを接続する

- 1 主電源が切れているかどうかを確認する。
- 2 本機にケーブルバンドを挿し込む。
- 3 本機のインレットに電源ケーブルを挿し込む。
- 4 ケーブルバンドに電源ケーブルを固定する。
 - ・ クランプに電源ケーブルを通して、「カチッ」と音がするまでクランプしてください。



- 5 コンセントに電源プラグを挿し込む。



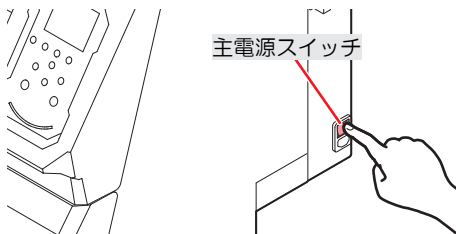
- ・ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

電源を入れる



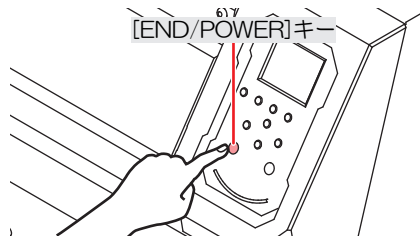
- ・ 正面カバーとメンテナンスカバーを閉じてください。カバーが開いていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）や故障の原因になります。

- 1 主電源が入っていることを確認する。
 - ・ 主電源が入っていない場合は、主電源を「I」側に倒します。



2 [END/POWER]キーを押して、電源を入れる。

- ディスプレイにファームウェアのバージョンが表示されて、初期動作が実行されます。そのあと、ローカルモードになって本機を使用することができます。



3 接続しているコンピューターの電源を入れる。

電源を切る

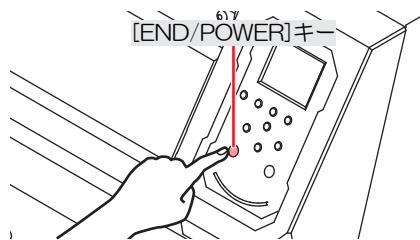


- 電源を切るときは、以下を確認してください。
 - 正面カバーやメンテナンスカバーが閉じていること。
 - カバーが開いていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。
 - キャッピングステーションにキャリッジが戻っていること。
 - プリントヘッドのノズル面が乾燥して、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
 - データを受信していないこと。
 - エラーが発生していないこと。
 - 🔧 「メッセージを表示するトラブル」 (P. 178)

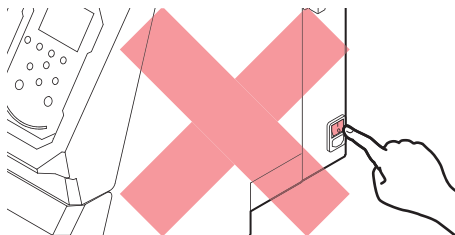
1 接続しているコンピューターの電源を切る。

2 [END/POWER]キーを長押しする。

- 電源OFF確認画面が表示されます。[ENTER]キーを押すと、電源が切れます。



- 主電源を切らないでください。主電源を切っていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



1.3 本機とコンピューターを接続する

USBケーブルを使う

USBインターフェースケーブルを使って、本機とコンピューターを接続します。



- ・データ転送中は、ケーブルを抜いたり挿したりしないでください。



- ・USBインターフェースに対応しているRIP用ソフトウェアを使用してください。



- ・コンピューターにUSBポートが付いていない場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

USB接続についての注意事項

● 1台のコンピューターに複数のUCJV300シリーズ, 150シリーズを接続する場合

UCJV300シリーズ, 150シリーズを正常に認識できないおそれがあります。

複数のUSBポートが付いているコンピューターの場合は、他のUSBポートでも本機を認識できるかどうかを確認してください。USBポートを差し替えても認識しない場合は、市販のUSBアクティブリピーターケーブルを使用してください。

● USBケーブルを延長する場合

市販のUSBアクティブリピーターケーブルを使用してください。ただし、USBケーブルとUSBアクティブリピーターケーブルの総距離が、20m以下になるようにしてください。

USBケーブルで延長した場合、本機へのデータ転送速度が遅くなって、プリント中にキャリッジが左右端で一時停止するおそれがあります。

● USBハイスピードモードの周辺機器について

本機を接続しているコンピューターにUSB ハイスピードモードの周辺機器（USB メモリ、USB-HDDなど）を接続しても認識できないおそれがあります。また、外付けのUSB ハードディスクドライブなどを接続すると本機へのデータ転送速度が遅くなって、プリント中にキャリッジが左右端で一時停止するおそれがあります。

● USBメモリーの抜きかた

本機を接続しているコンピューターからUSBメモリーを抜く場合は、「ハードウェアの安全な取り外し」により「停止」させてから抜いてください。[ERROR **コマンドエラー] 発生の原因になります。

LANケーブルを使う

LANケーブルを使って、本機とコンピューターを接続します。カチッと音がするまでLANケーブルを差し込んでください。



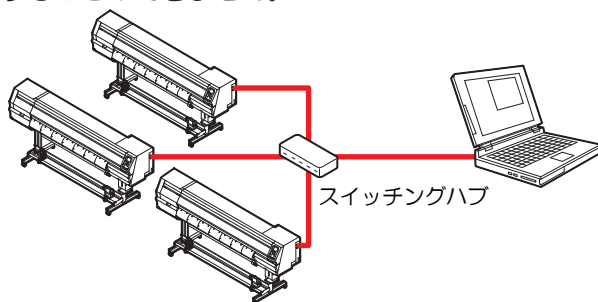
- ・データ転送中は、ケーブルを抜いたり挿したりしないでください。

● イーサネット経由で接続するときの注意事項

イーサネットを以下の環境で構築してください。環境が適正でないとプリントすることができません。

- ・カテゴリ6または、カテゴリ6AのLANケーブルを使用してください。

- 本機とプリントデータを転送するコンピューターは、同じイーサネットに設定してください。ルーターを経由した接続はできません。
- 1000BASE-T対応のコンピューター、スイッチングハブを使用してください。未対応の場合はプリントすることができません。



● LAN接続確認方法

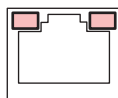
1 本機のディスプレイを確認する。

- ローカルガイダンスで確認することができます。🔍 「本機の情報を表示する（ローカルガイダンス）」（P. 35）
- “100Mbps”、“10Mbps”、“接続なし”と表示されている場合は、プリントすることができません。イベントメールは、使用することができます。🔍 「イベントメール機能の設定」（P. 122）



2 LANコネクターのランプを確認する。

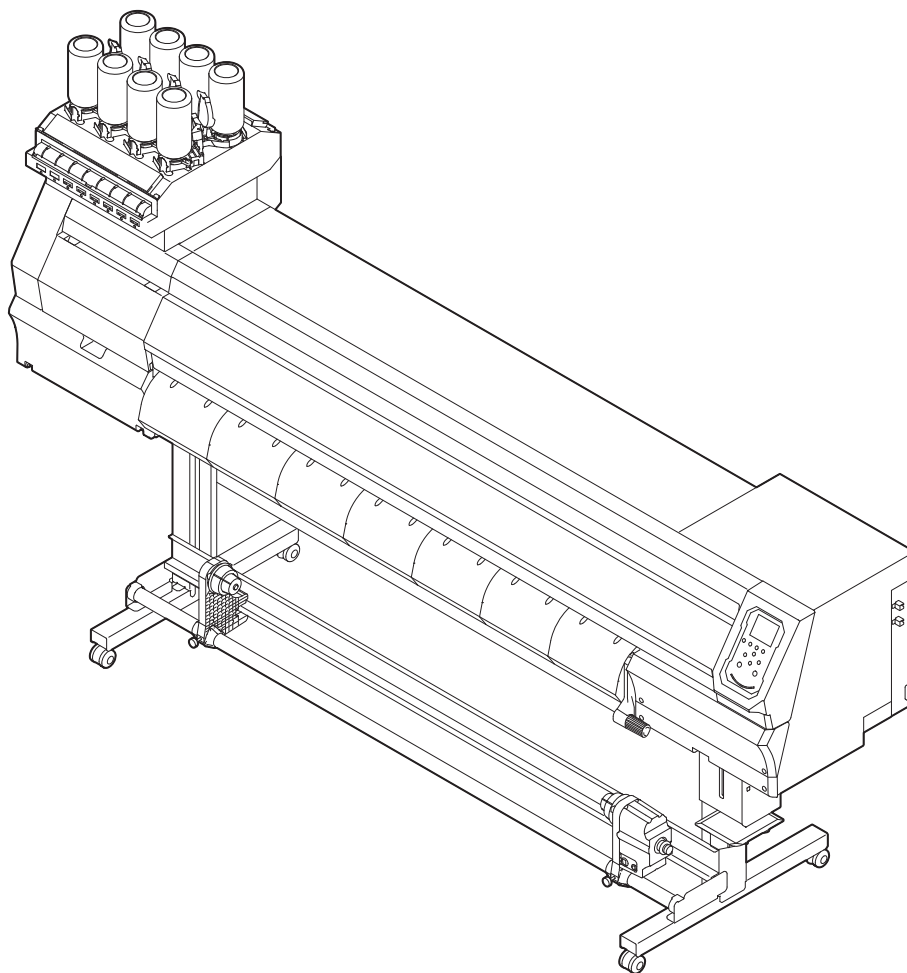
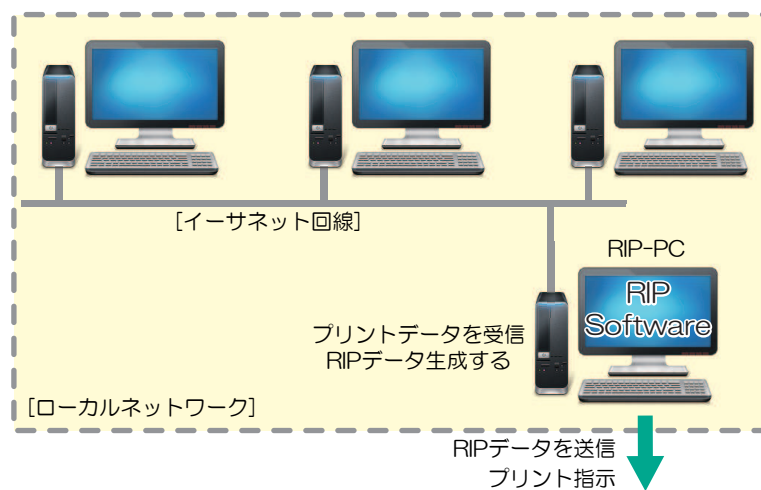
- 本機が起動しているとLAN コネクターのランプが点灯します。



色	状態	概要
緑	点灯	1000BASE-Tで接続されています。
	消灯	1000BASE-T以外で接続されています。 • 橙ランプだけが点灯、もしくは点滅している場合、1000Mbpsに対応していません。コンピューターや周辺機器、ケーブルの仕様を確認してください。
橙	点灯	リンクアップ（接続されています）。
	点滅	データを受信中です。
	消灯	リンクダウン（接続されていません）。

1.4 システム構成

IllustratorやPhotoshopなどのアプリケーションで作成したプリントデータを、RIP用ソフトウェアを使ってプリントの指示をします。



Mimakiドライバーをインストールする

1 弊社ウェブサイトから、Mimakiドライバーをダウンロードする。

- <https://japan.mimaki.com/download/inkjet.html>
[UCJV300シリーズ, 150シリーズ] > [ドライバ/ユーティリティ]

2 MIMAKIドライバーをインストールする。

RIP用ソフトウェアをインストールする

ここでは、弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）の説明をします。

1 “RasterLink”をインストールする。

- インストールされている場合は、コンピューターのデスクトップ上に以下のアイコンが表示されています。



- 詳しくは、“RasterLink”のインストールガイドをご覧ください。 <https://japan.mimaki.com/download/software.html>



- インストールしたあとに、RasterLinkのライセンス認証を完了させてください。“プロファイルアップデート”を起動することができません。

カラープロファイルを手にする

メディアやインクセットによって、プリント品質（色み、にじみなど）が、変わってしまいます。メディアやインクセットに合ったカラープロファイルを選択することで、プリント品質を一定に保つことができます。

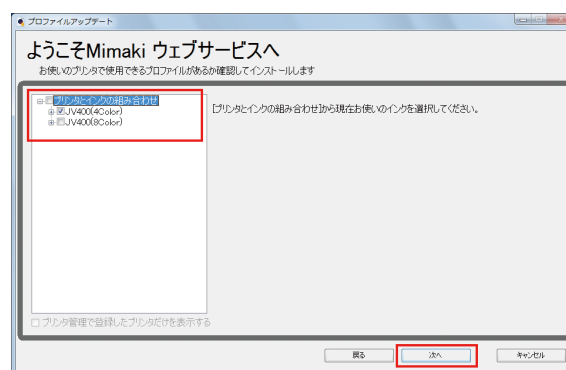
ここでは、弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）の説明をします。

1 “プロファイルアップデート”を起動する。

- (1) スタートメニューから、[Mimaki RasterLink6Plus] > [プロファイルアップデート]を選択する。
- (2) [次へ]をクリックする。

2 お使いのUCJV300シリーズ, 150シリーズを選択する。

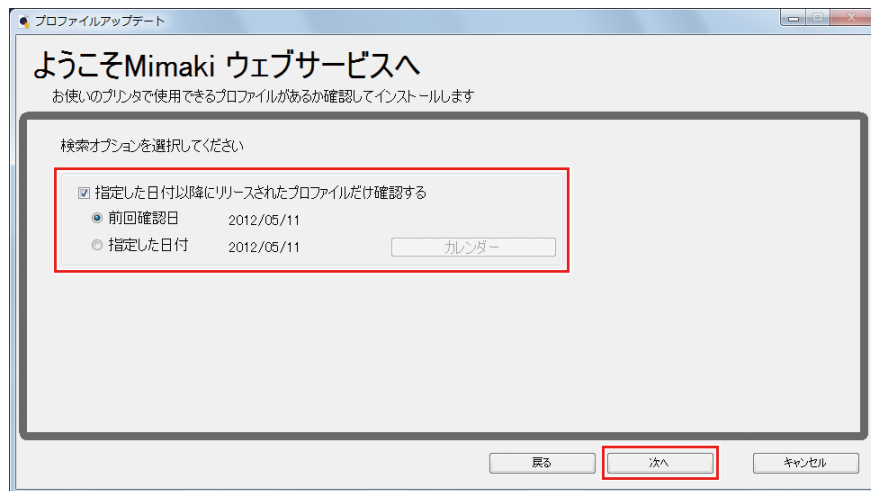
- お使いのインクセットとインク種にチェックを入れて、[次へ]をクリックしてください。





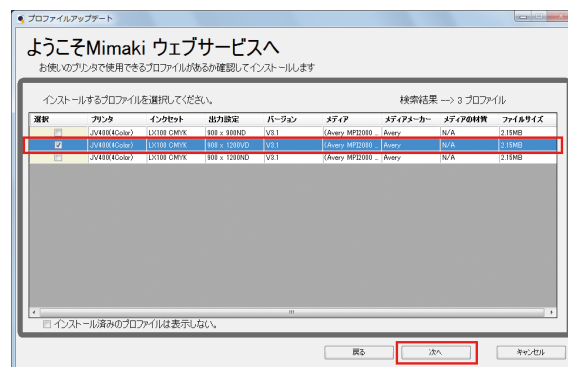
- ・ [+]ボタンを展開すると、インクの種類を選択することができます。

3 検索オプションを設定して、[次へ]をクリックする。



4 カラープロファイルをダウンロードする。

- (1) ご使用するメディアや解像度に合った、カラープロファイルにチェックを入れる。



- (2) [次へ]をクリックする。

- ・ ここでダウンロードしたプロファイルは、RasterLinkを起動したときにインストールされます。

5 [完了]をクリックする。

- ・ "プロフィールアップデート"が終了します。



- ・ 詳しくは、"RasterLink"のインストールガイドをご覧ください。 <https://japan.mimaki.com/download/software.html>



- ・ 弊社ウェブサイトからも、最新版のカラープロファイルをダウンロードすることができます。ダウンロードしたプロファイルは、プロフィールマネージャーを使ってインストールすることができます。
<https://japan.mimaki.com/download/inkjet.html>
[UCJV300シリーズ, 150シリーズ] > [プロファイル]

RIP用ソフトウェアを準備する

ここでは、弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）の説明をします。

1 “RasterLink”を起動する。

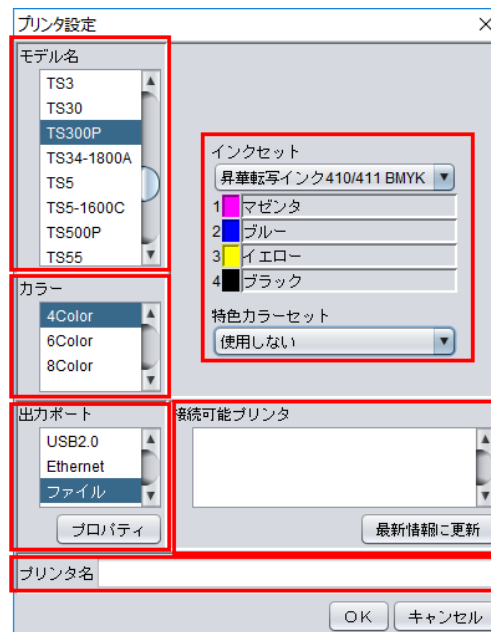
- [プリンタ管理]画面が表示されます。
- 新たに機種を追加したいときは、“RasterLink”を起動した後に、[環境設定] > [プリンタ管理]から、登録することができます。

2 UCJV300シリーズ, 150シリーズを登録する。

(1) [追加]をクリックする。



(2) UCJV300シリーズ, 150シリーズの情報を設定する。



- モデル名：モデルを選択
 - カラー：充填されているインクセットを選択
 - 出力ポート：接続しているケーブルを選択
 - 接続可能プリンタ：接続しているUCJV300シリーズ, 150シリーズを選択
 - プリンタ名：任意の名称を入力
- (3) [OK]をクリックする。
- 確認画面が表示されます。
- (4) [はい]をクリックする。
- プリンターの登録が開始されます。



- 詳しくは、“RasterLink”のインストールガイドをご覧ください。 <https://japan.mimaki.com/download/software.html>

1.5 インクの交換方法

インクニアエンドが表示されたとき

インクの残量が残りわずかになっています。早めに新しいインクボトルに交換することをお勧めします。プリントすることはできますが、クリーニングや連続でプリントすることができません。またプリント中にインクがなくなるおそれがありますので注意してください。

ローカルモード画面で[ENTER]キーを押すと、交換が必要なインクボトルを確認することができます。
「本機の情報を表示する（ローカルガイダンス）」（P. 35）

インクエンドが表示されたとき

インクがなくなりました。新しいインクボトルに交換してください。

以下をよくお読みいただき、十分に理解してからインクを交換してください。

 「インクやその他本機で使用されている液体を取り扱うときの注意事項」（P. 13）

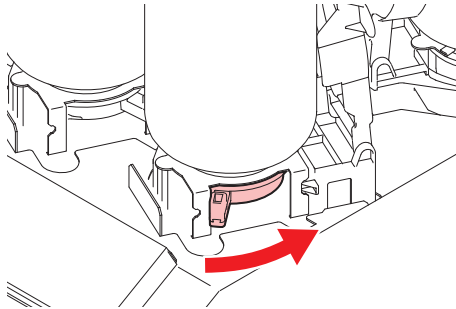


- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。

インクを交換する

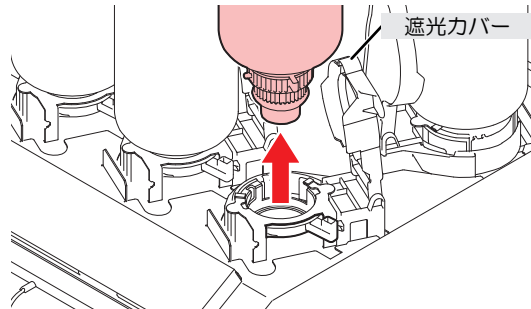
● インクボトルを外す

1 タンク部のレバーを左から右端まで回す。



・ インクボトルを絶対に回さないでください。インクが漏れるおそれがあります。

2 インクボトルを垂直に持ち上げる。



- ・ インクボトルを外したときに、遮光カバーが閉まっていることを確認してください。遮光カバーが開いているときは手で閉めてください。遮光カバーを開いたまま放置するとインクが硬化して、故障の原因になります。
- ・ インクボトルからのインク漏れに注意してください。

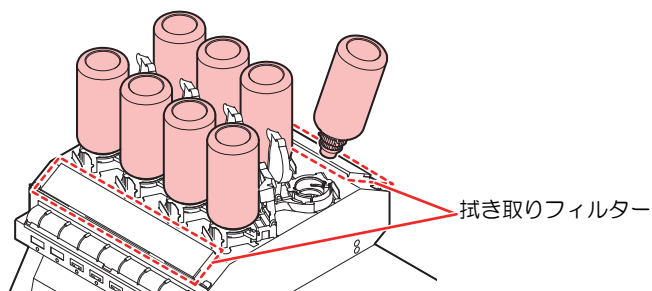
重要!

- ・ インクボトルを外したときに、ボトルキャップに付いているOリングが外れてしまうことがあります。Oリングが外れてしまったときは、元の状態に戻してください。



3 専用キャップに付着しているインク滴を吸い取る。

- ・インク滴がたれない程度に拭き取りフィルターを使って吸い取ります。



4 専用キャップに付着しているインクを紙タオルなどで拭き取る。

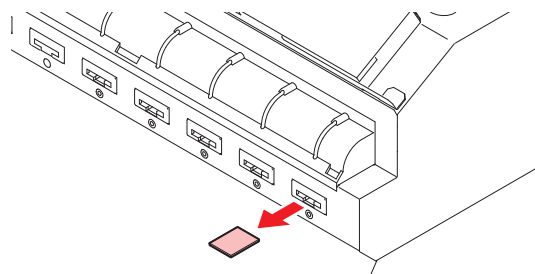


- ・ボトルキャップに不織布の欠片やホコリなどの異物が付着していないかどうかを確認してください。異物が付いたまま使い続けると、インク経路に異物が詰まって、インクが漏れてしまう原因になります。

5 インクボトルから専用キャップを外す。

- ・専用キャップが外しづらいときは、締め付け治具を使って取り外してください。

6 インクICチップを外す。



● インクボトルを準備する

1 インクボトルを20回以上ゆっくりと左右に振る。

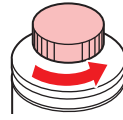
- ・インクボトルのフタをしっかりと締めて、推奨の不織布でインクボトルのフタを押さえて、インクを流すように左右に振ってください。





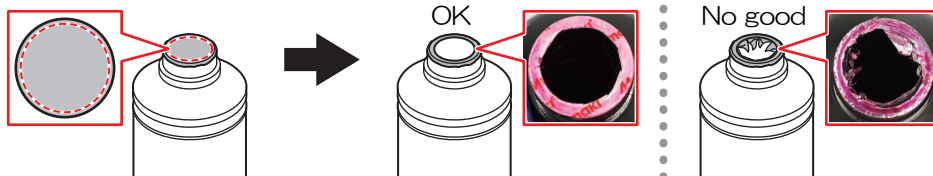
- ゆっくりと振ってください。強く振るとインクが漏れたり、インクの中に空気が入り込んでノズル詰まりになったりするおそれがあります。
- 使いかけのインクボトルの場合は、インクボトルが縦になるまで傾けてゆっくりと振ってください。

2 インクボトルのフタを外す。



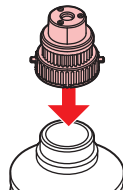
重要! インクボトルの口元にシールが付いている場合

- カッターなどを使って、シールを丸く切り取ってください。切り残しがあると、インクが漏れる原因になります。



- インクボトルの口元を傷付けないでください。傷が付いた部分から、インクが漏れるおそれがあります。
- シールの破片をインクボトル内に落とさないように注意してください。シールの破片がボトル内に入ったまま使用すると、ボトルキャップに詰まってインクが供給できなくなるおそれがあります。

3 インクボトルに専用キャップをセットする。

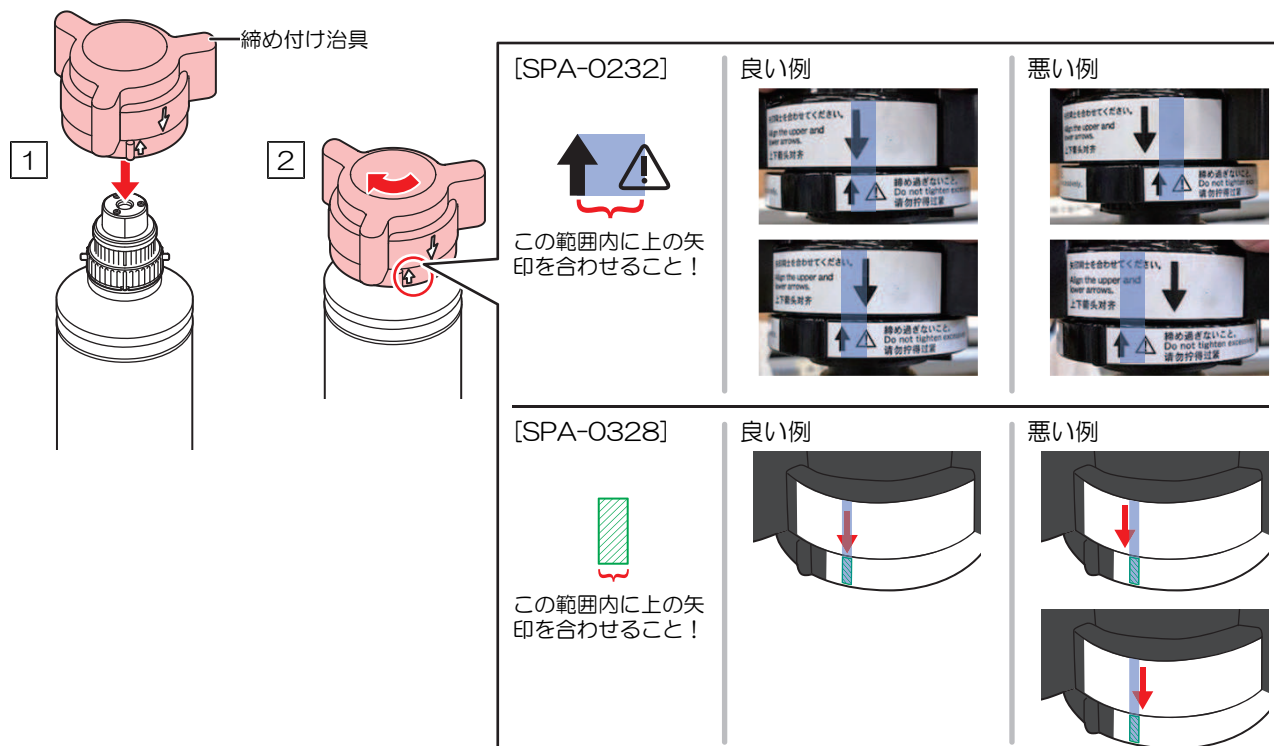


- インクボトルやボトルキャップにインクやメンテナンス液が付着しているときは、インクを拭き取ってください。ボトルキャップが空回りしてインクが漏れる原因になります。



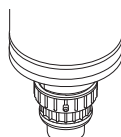
- ボトルキャップに紙タオルの欠片やホコリなどの異物が付着していないかどうかを確認してください。異物が付いたまま使い続けると、インク経路に異物が詰まってインクが漏れる原因になります。

4 締め付け治具を使って、専用キャップを締める。



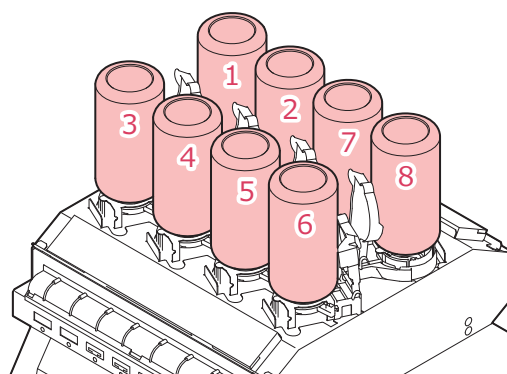
- ボトルキャップを締めすぎないでください。破損したり、空回りしたり、インクが漏れたりするおそれがあります。上記の範囲を超えた場合は、一度ボトルキャップを緩めてから、やり直してください。
- ボトルキャップを取り付けたまま、インクボトルを長時間放置しないでください。インクが硬化してしまう原因になります。

5 インクボトルを逆さにして、インクが漏れないかどうかを確認する。



● インクボトルをセットする

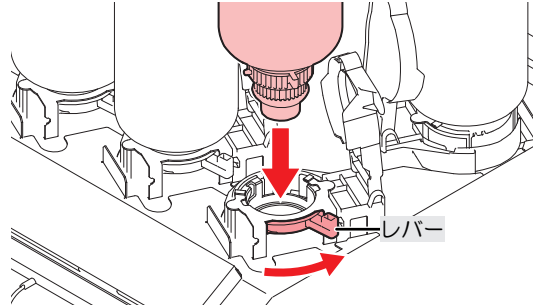
お使いになるインクセットによって、セットするインクボトルの順番が異なります。インクスロットの番号を確認してから、正しい色のインクボトルを挿し込んでください。



機種	インクセット	インク配置							
		1	2	3	4	5	6	7	8
300シリーズ	4-color	C	M	Y	K	Y	K	M	C
	4-color, W	C	C	M	M	Y	K	W	W
	4-color, W, CL	C	M	Y	K	CL	CL	W	W
	6-color, W	C	M	Y	K	Lm	Lc	W	W
150シリーズ	4-color	-	-	C	M	Y	K	-	-

1 インクボトルをセットする。

- レバーを左から右端まで回してから、インクボトルをセットしてください。



- ボトルキャップのOリングにメンテナンス液を塗布すると、インクボトルが入りやすくなります。メンテナンス液は使用中のインクに対応したものを使用してください。



2 右から左端までレバーを回して固定する。

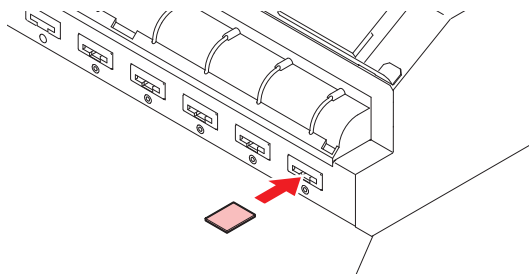


- インクボトルを絶対に回さないでください。インクが漏れるおそれがあります。



- 一度セットしたインクは使い切ってください。

3 インク供給ユニットの挿し込み口に新しいインクICチップを挿し込む。



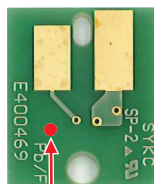


- ・ インクICチップは金属が付いている面を上に向けて挿し込んでください。方向を間違えて挿し込むと、本機が故障したり、インクICチップが破損したりするおそれがあります。



- ・ インクICチップの金属部分には触れないでください。静電気でインクICチップが破損したり、汚れや傷などによってインクICチップが読み取りエラーになる原因になります。

- ・ インクICチップについて
インクICチップのマークは、色情報を示しています。



マーク位置

インクカラー	表示マーク
シアン	● (青丸1つ)
マゼンタ	● (赤丸1つ)
イエロー	● (黄丸1つ)
ブラック	● (黒丸1つ)
ライトシアン	●● (青丸2つ)
ライトマゼンタ	●● (赤丸2つ)
ホワイト	○ (白丸1つ)
クリア	○○ (白丸2つ)



- ・ インクと一緒に梱包されているインクICチップを挿し込んでください。インクICチップには、インクカラーやインク残量、消費有効期限などの情報が書き込まれています。異なるインクICチップを挿し込んだ場合、プリントすることができません。

第2章 プリントしてみる



この章では...

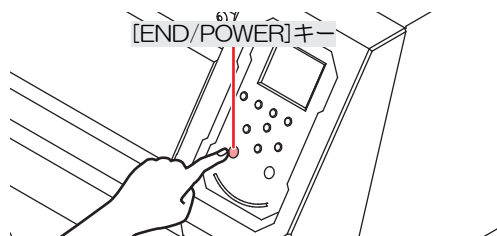
プリントの手順や設定方法について説明しています。

プリントの流れ	52	テストプリントをする	71
プリントヘッドの高さを調整する	55	テストプリントの配置方向を変更する	71
ピンチローラーの位置を調整する	56	ホワイトインクの吐出を確認する	71
1,600 mmサイズ	57	吐出不良について	72
1,300 mmサイズ	58	ヘッドクリーニングをする	73
1,070 mmサイズ	59	フィード補正をする	74
750 mmサイズ	60	フィード補正の手順	74
メディアをセットする	61	ドット位置補正をする	76
メディアについて	61	ドット位置補正の手順	76
巻き取りユニットについて	61	RIPデータを準備する	77
ロールメディアをセットする	63	プリントする	79
リーフメディアをセットする	67	原点を変更する	79
ピンチローラーの圧力と使用個数を設定する	70	プリントを開始する	79
		プリントを中止する（データクリア）	80
		メディアを裁断する	81

2.1 プリントの流れ

1. 本機の電源を入れる

☞ 「電源を入れる」 (P. 36)



2. RIP用コンピューターと本機を接続する

☞ 「USBケーブルを使う」 (P. 38)

☞ 「LANケーブルを使う」 (P. 38)

3. RIP用ソフトウェアを準備する

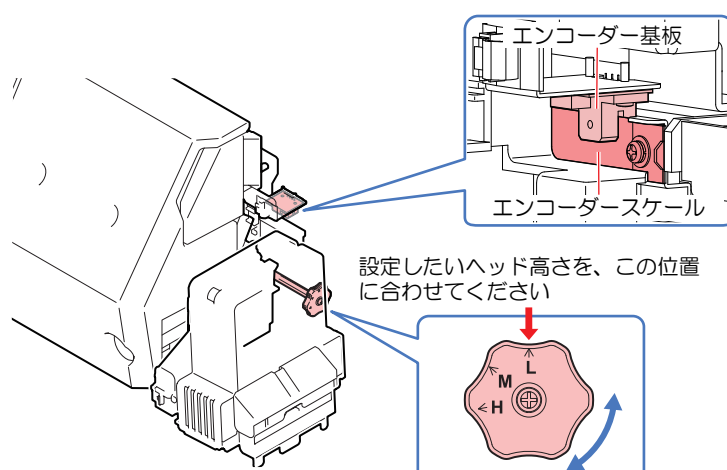
☞ 「RIP用ソフトウェアをインストールする」 (P. 41) (初回のみ)

☞ 「カラープロファイルを入手する」 (P. 41)

☞ 「RIP用ソフトウェアを準備する」 (P. 42) (初回のみ)

4. プリントヘッドの高さを調整する

高さ調整レバーは、お使いになるメディアに合わせて調整してください。☞ 「プリントヘッドの高さを調整する」 (P. 55)

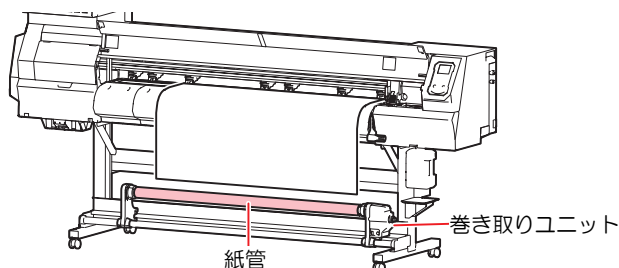


5. ピンチローラーの位置を調整する

セットするメディアの幅に合わせて、ピンチローラーの位置を調整します。グリットローラーの上になるように、ピンチローラー位置を調整します。両端のピンチローラーを、メディアの左端から10cm、右端から2cm以内の位置に合わせてください。☞「ピンチローラーの位置を調整する」(P. 56)

6. メディアをセットする

ロールメディアとリーフメディアを使用できます。☞「メディアをセットする」(P. 61)

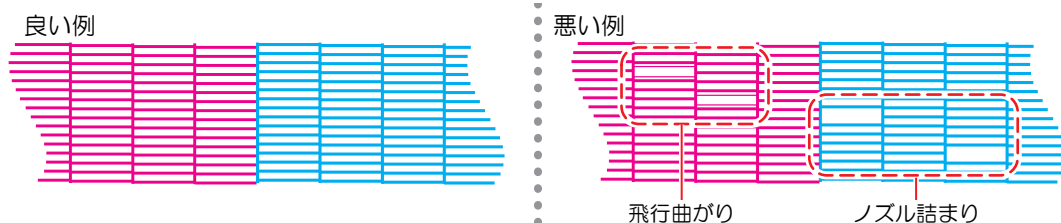


7. ピンチローラーの使用個数と圧力を調整する

メディアに適した圧力に設定してください。☞「ピンチローラーの圧力と使用個数を設定する」(P. 70)

8. プリントヘッドのノズルの状態を確認する

☞「テストプリントをする」(P. 71)

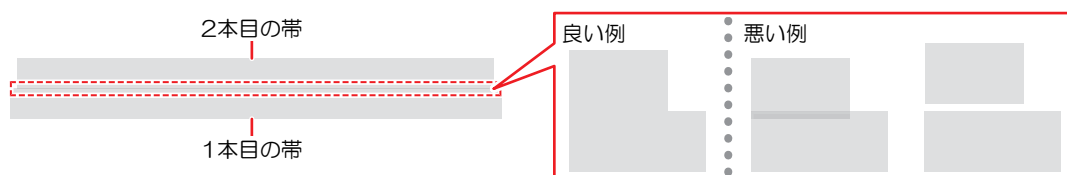


9. 不良ノズルがあったら、ヘッドをクリーニングする

ヘッドクリーニングは、4種類あります。テストプリントの結果によって使い分けてください。☞「ヘッドクリーニングをする」(P. 73)

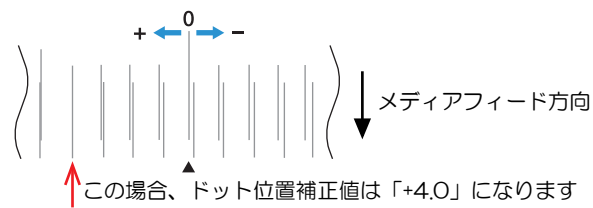
10. メディアの送り量を調整する

☞「フィード補正をする」(P. 74)



11. 双方向プリントするときは、ドット位置を調整する

☞ 「ドット位置補正をする」 (P. 76)

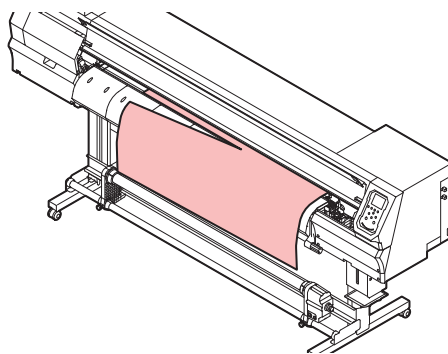


12. RIPデータをプリントする

☞ 「プリントする」 (P. 79)

13. メディアを裁断する

☞ 「メディアを裁断する」 (P. 81)



2.2 プリントヘッドの高さを調整する

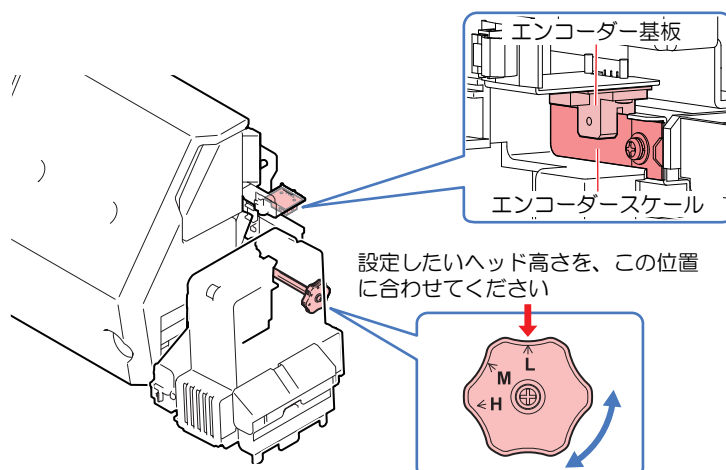
お使いになるメディアの厚みに合わせて、プリントヘッドの高さを調整してください。

レンジ	プリントヘッドとプラテンの距離
Low	2 mm (初期設定)
Middle	2.5 mm
High	3 mm



- プリントヘッドの高さを変更したあとは、必ずドット位置補正を実施してください。
「ドット位置補正をする」(P. 76)
- プリントヘッドの高さは推奨値2.0mmで使用してください。インクジェットプリンターは、プリントヘッドとメディア間のギャップが広がると、インク滴がメディアに到達できずにミスト化してしまうおそれがあります。ミスト化したインクは、プリントヘッドのノズル面やメディア、冷却用ファンのフィルターに付着します。同時にUV-LEDユニットからプリントヘッド面に対する反射光も増えてしまいます。ノズル面に付着したミスト化したインクが、反射光で硬化したり、インク粘度が高くなったり、プリント品質に影響がでたり、プリントヘッドが故障したりするおそれがあります。

- ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - メンテナンスメニューが表示されます。
- [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [ステーションメンテ]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - キャリッジがプラテン上に移動します。
- 正面カバーを開く。
- 高さ調整レバーで高さを変更する。
 - 高さ調整レバーは、設定したい高さが上になるように設定してください。正しい位置にレバーがないと、メディアジャムやミストなど、故障やプリント品質に影響がでるおそれがあります。



- 高さ調整レバーを操作している時は、エンコーダースケールやエンコーダー基板に触れないよう注意してください。

- 調整が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

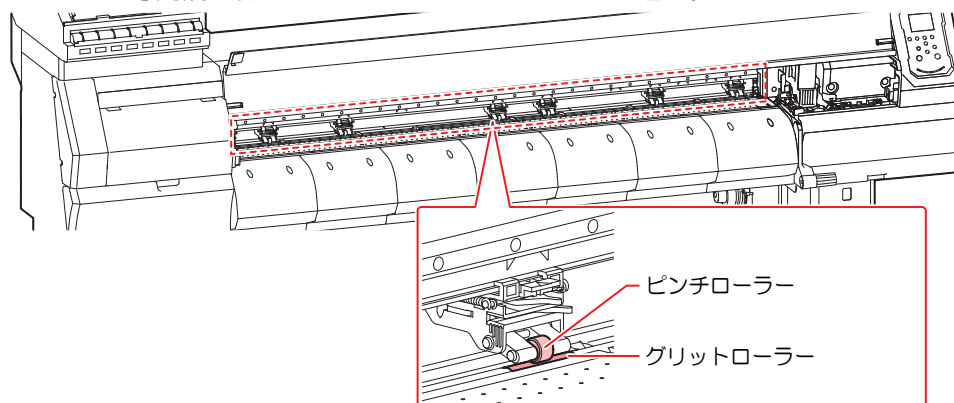
2.3 ピンチローラーの位置を調整する

お使いになるメディアの幅に合わせて、ピンチローラーの位置を調整してください。



- ピンチローラーは、必ず2つ以上使用してください。

1 メディアを等間隔で押さえられるグリットローラーを選ぶ。

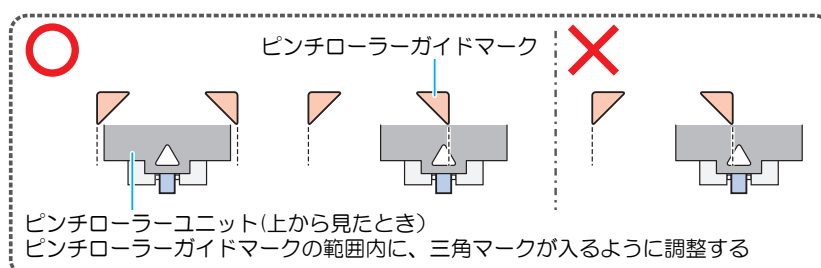


2 ピンチローラーをグリットローラーの上に移動する。

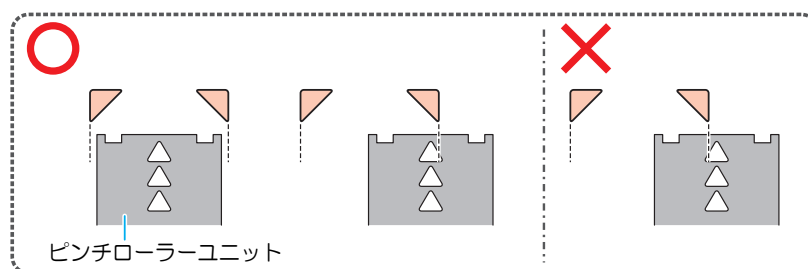


- ピンチローラーガイドマークを目安に移動させてください。

- 正面から調整するとき



- 背面から調整するとき



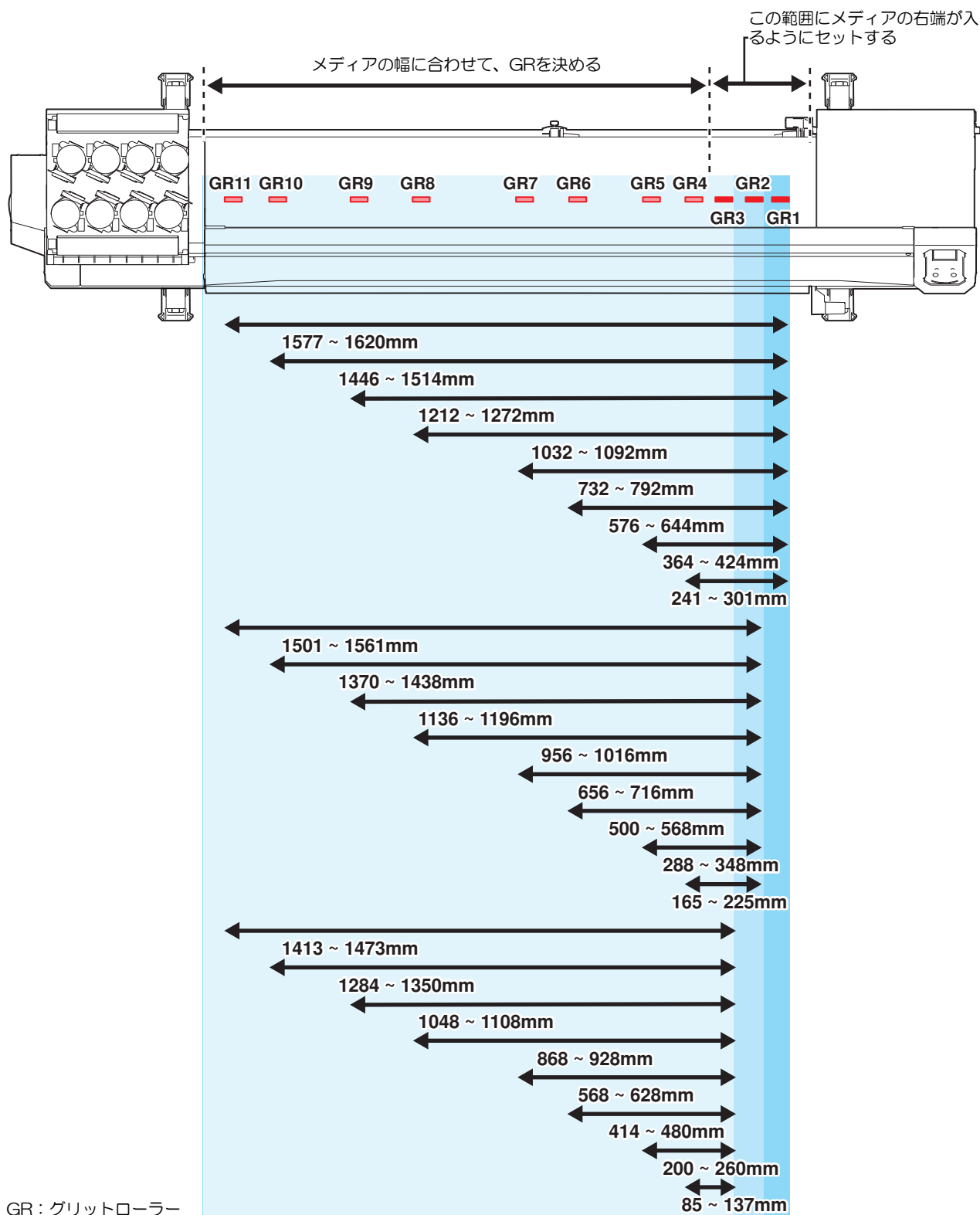
3 両端のピンチローラーを、メディアの左端から10cm、右端から2cm以内の位置に合わせる。

- それ以上離れた位置に合わせると、メディアを裁断したときに切り残しが発生してしまいます。

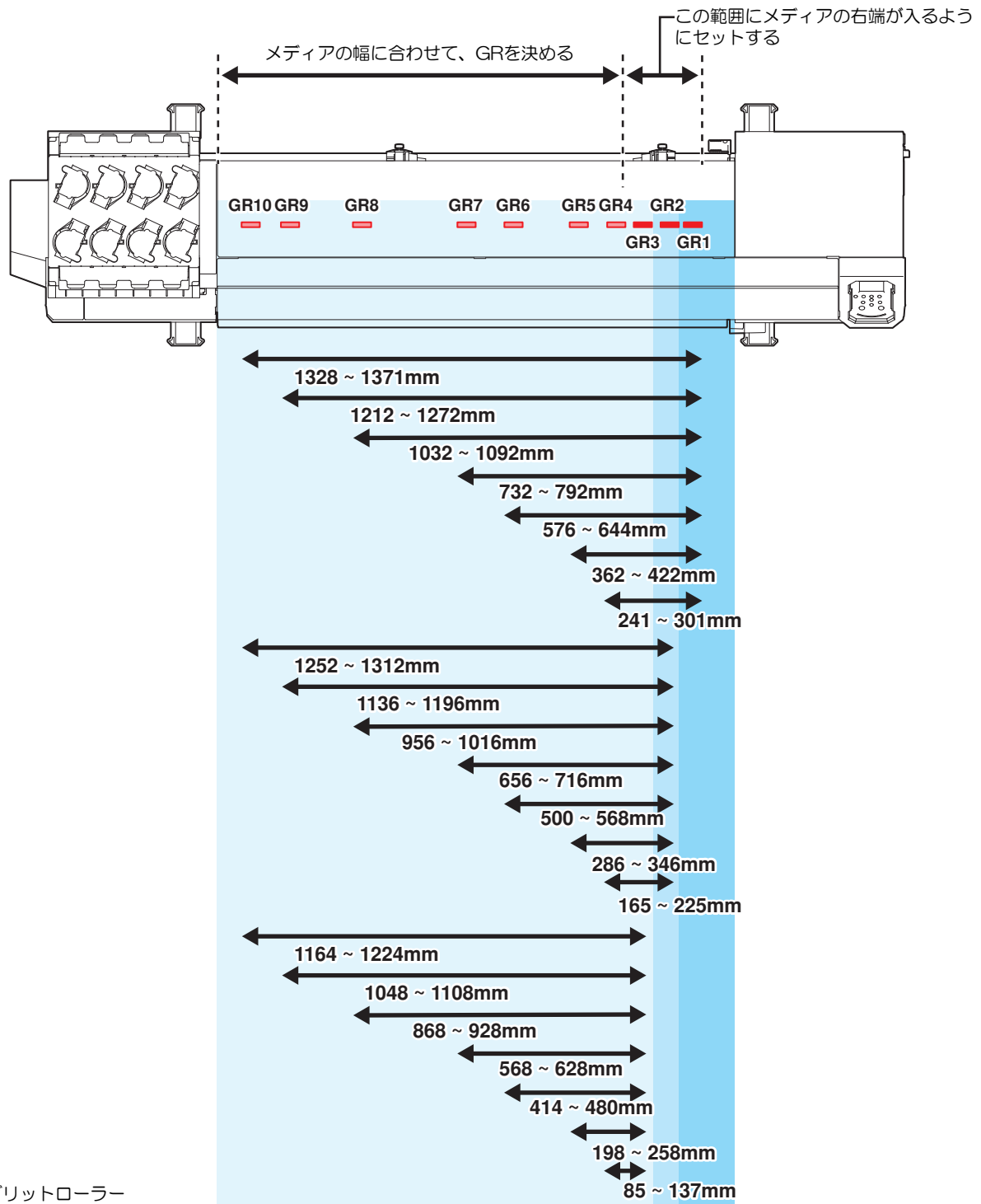
4 メディアから外れているピンチローラーを、グリットローラーから外す。

- ピンチローラーとグリットローラーが接触したままメディアをフィードさせると、ピンチローラーが摩耗してしまうおそれがあります。

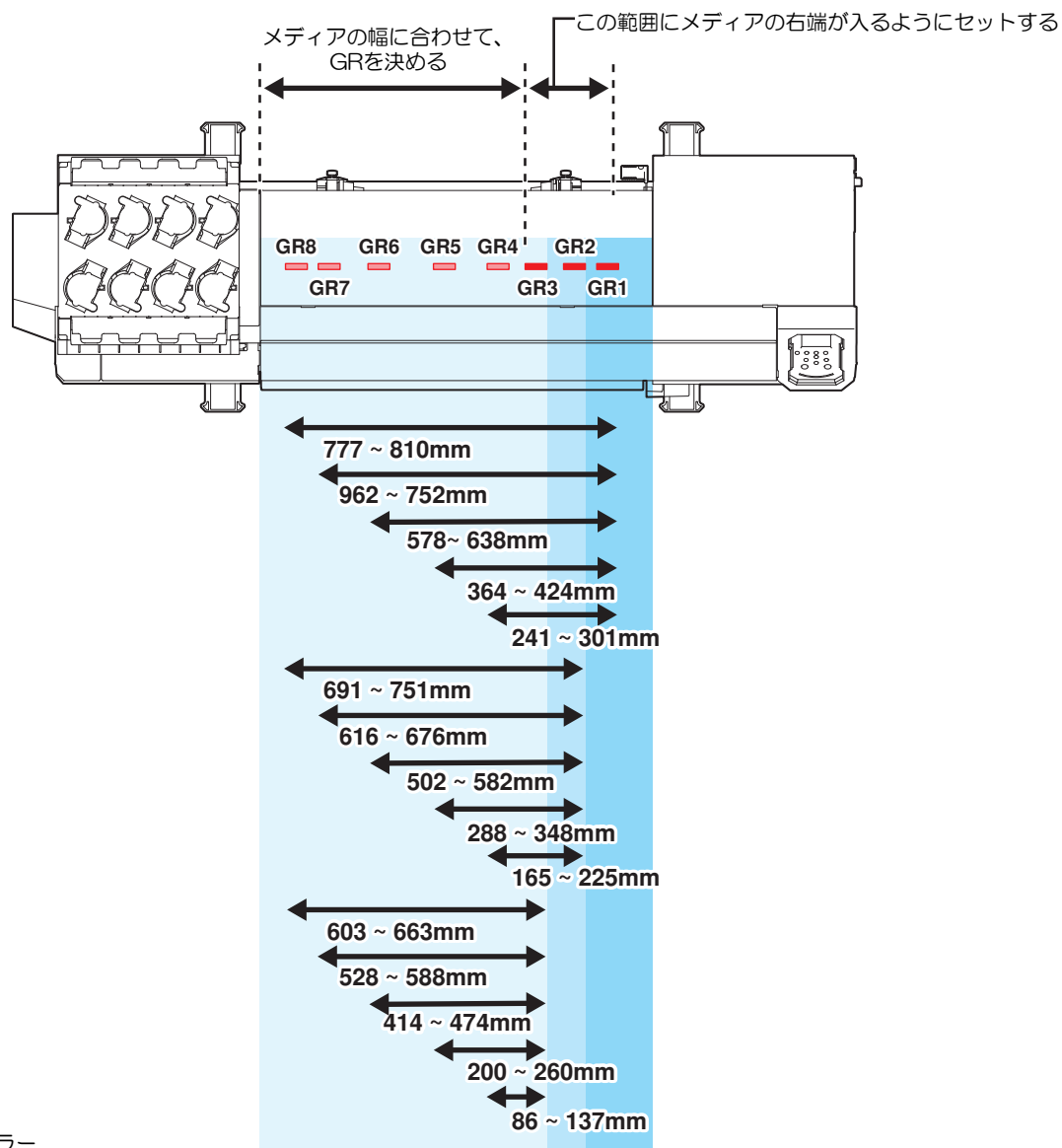
1,600 mmサイズ



1,300 mmサイズ



750 mmサイズ



GR：グリットローラー

2.4 メディアをセットする



- メディアをセットする前に、ヘッド高さを調整してください。メディアをセットしたあとにキャリッジを動作させると、プリントヘッドがメディアに接触して、破損するおそれがあります。

メディアについて

● メディアの取り扱いに関するご注意



- 高画質で安定したプリントをするために、弊社推奨のメディアをご使用ください。

⚠ 警告



- ロールメディアは、2人以上で取り付けてください。メディアの重みで腰を痛めてしまうおそれがあります。

注記



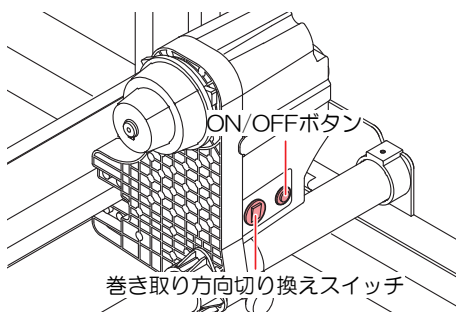
- ホコリが付着しないように保管してください。プリント品質が低下する原因になります。
- 定型サイズ紙をまるめて保管するときは、コーティング面が外側になるように保管してください。
- メディアに除電対策（イオナイザー、除電バー、ウォーターミスト加湿、アルコール系の帯電防止剤等）を実施してください。界面活性剤を含む帯電防止剤は使用しないでください。



- 本機にメディアをセットしたまま放置しないでください。メディアにホコリが付着する原因になります。また、ホコリをふき取ったメディアは使わないでください。静電気が発生して、プリント品質に影響がでるおそれがあります。
- 包装を開けてから間もないメディアを使用しないでください。メディア保管場所の温度や湿度によって、メディアが伸縮しているおそれがあります。本機と同じ室内環境下で、30分以上経過してから本機にセットしてください。
- カールしたメディアは使用しないでください。プリントヘッドが破損する原因になるだけでなく、プリント品質に影響がでるおそれがあります。
- UVインクをお使いの場合、金箔や銀箔などの光を反射するメディアは使用しないでください。メディア表面の光が反射することによって、プリントヘッドのインクが硬化してヘッドが破損するおそれがあります。保証の範囲外となりますのでご了承ください。

巻き取りユニットについて

巻き取りユニットのスイッチを使って、メディアの巻き取り方向を変更することができます。

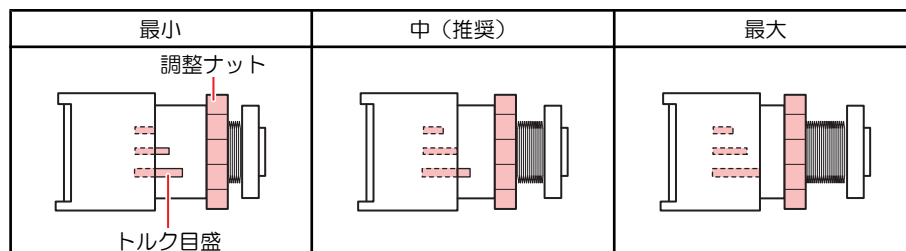


名称	概要	
方向切り換えスイッチ	上	プリント面を内側にして巻き取りたいとき。
	下	プリント面を外側にして巻き取りたいとき。
ON/OFF ボタン	ボタンを押すごとに、巻き取りユニットが回転、停止を繰り返します。ボタンを押している間だけ、巻き取りユニットが回転するように設定できます。☞「マシン設定メニュー」(P. 120)	

トルクリミッターを調節する

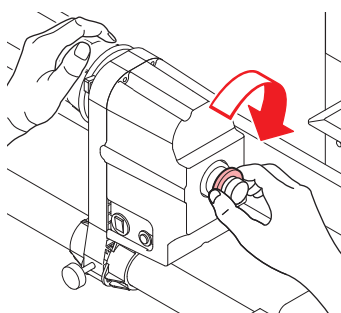
巻き取りユニットには、トルクリミッターが付いています。

トルクリミッターの調整ナットを回して、巻き取りの強さを変更できます。工場出荷時は、トルクリミッターは“中”に設定してあります。



● テンションを強くする（時計回り）

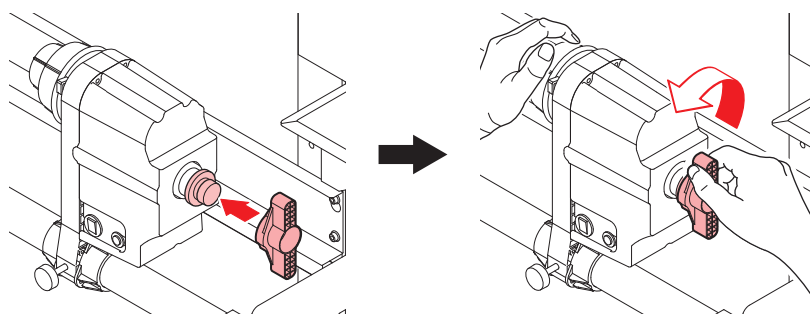
ターポリン等の重量のある厚いメディアをお使いのときにテンションを強くします。手で調整します。



- ・トルク調整ハンドルは使用しないでください。トルク調整ハンドルを使用すると強く締め過ぎる原因になります。強く締めてしまうと、巻き取りユニットが破損するおそれがあります。

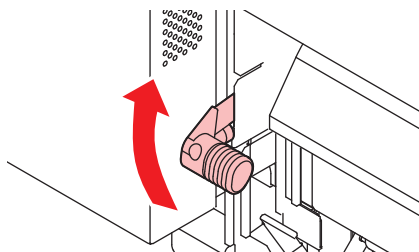
● テンションを弱くする（反時計回り）

軽量のメディアをお使いのときにテンションを弱くします。付属の“トルク調整ハンドル”を使って調整します。



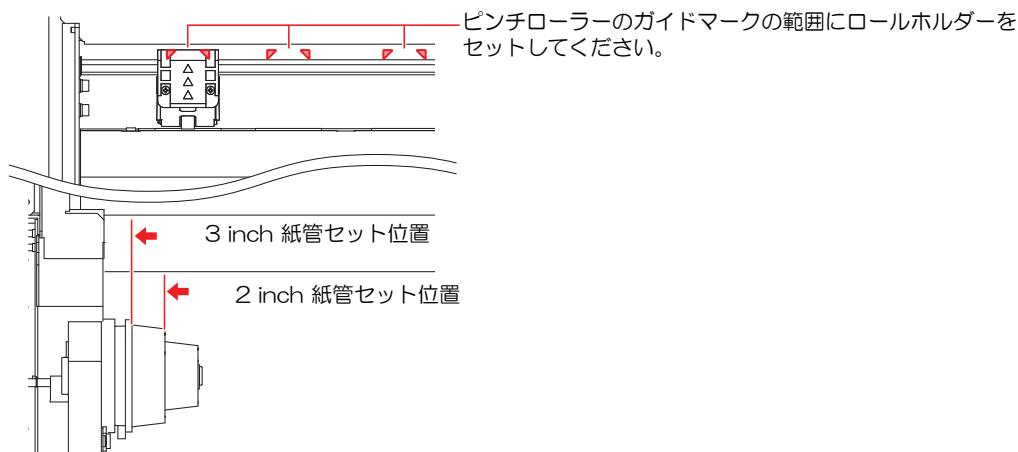
ロールメディアをセットする

1 クランプレバーを上げる。



2 背面左側のロールホルダーをロールセット位置へ移動する。

- ロールホルダーの固定ネジを緩めてから移動させます。

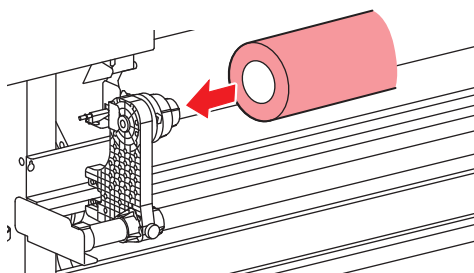


3 背面左側のロールホルダー固定ネジを締める。

4 ロールメディアを、ロールメディアハンガーに置く。

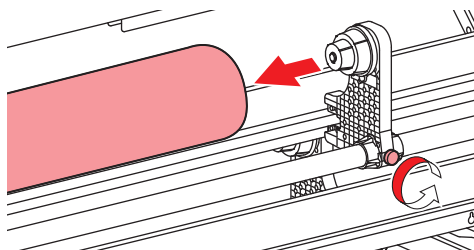
5 背面左側のロールホルダーにロールメディアの紙管を挿し込む。

- 紙管が動かなくなるまで、奥に挿し込んでください。



6 背面右側のロールホルダーを紙管に挿し込む。

- ロールホルダー固定ネジを緩めてから移動させます。



7 背面右側のロールホルダー固定ネジを締める。

8 メディアを挿し込む。

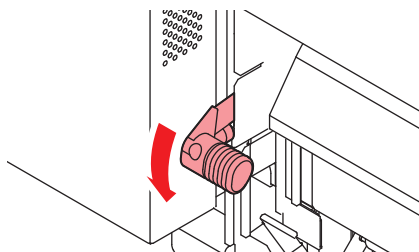
- ・ピンチローラーとグリットローラーの間に挿し込みます。



- ・メディアを斜めにすると、引っ掛かりが少なくスムーズに挿し込めます。

9 クランプレバーを下げる。

- ・ピンチローラーとグリットローラーで、メディアを保持している状態にします。



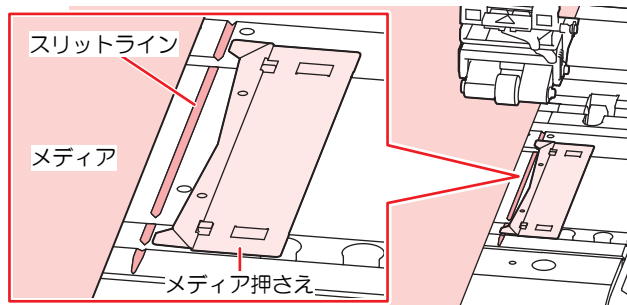
10 本機正面に移動して、正面カバーを開く。

11 クランプレバーを上げて、メディアを引き出す。

- ・メディアを後方に落とさないようにしてください。



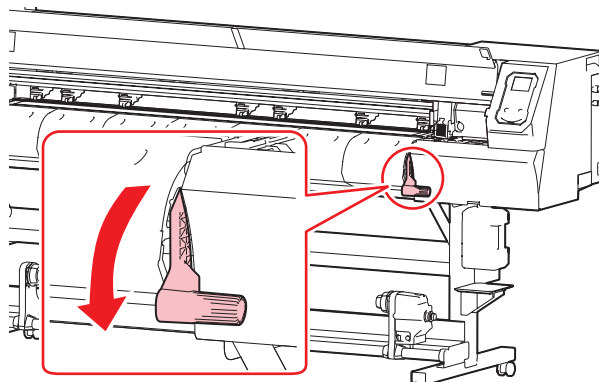
- ・プラテン右側のスリットラインがメディアに隠れないように、背面のロールホルダー位置を調整してください。メディアが斜行した場合、プリントヘッドが破損するおそれがあります。



- ・メディアの両端から5mmは、デッドスペースになります。

12 クランプレバーを下げて、ピンチローラーが等間隔になっているかどうかを確認する。

- ・ 「ピンチローラーの位置を調整する」 (P. 56)

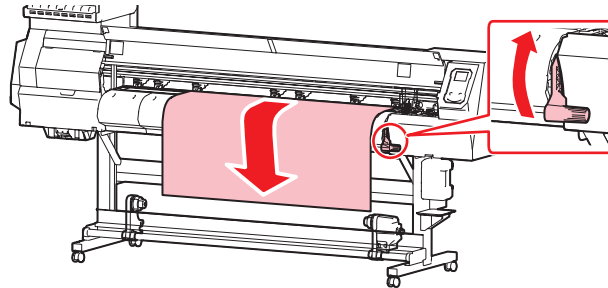




- ・ 等間隔にセットできないときは、はじめからやり直してください。

13 クランプレバーを上げる。

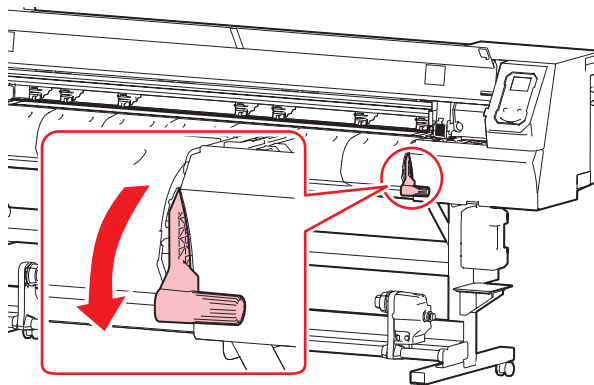
14 メディアを静かに引き出して、軽くロックのかかる位置で止める。



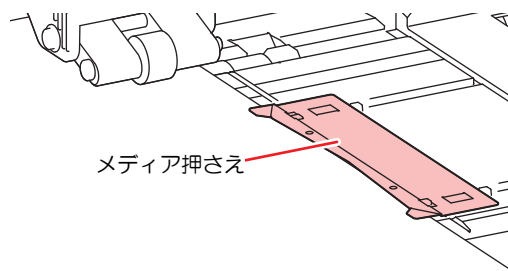
15 メディアの引き出し量を確認する。

- ・ メディア前端の数カ所を軽く引っ張り、メディアの引き出し量が均等になっていることを確認してください。

16 クランプレバーを下げる。



17 メディア押さえでメディアをはさむ。



- ・ 厚みのあるメディアにプリントするときは、メディア押さえを使用しないでください。
- ・ カットングをするときは、メディア押さえを使用しないでください。

18 ④を押して、“ロール”を選択する。

- ・ メディア幅の検出を開始します。
- ・ [マシン設定] > [メディア検出] > [検出方法]の設定が、“MANUAL”に設定されている場合、プリントする範囲を手動で決定します。
- ・ [マシン設定] > [メディア検出] > [メディア残量]の設定が、“ON”に設定されている場合、メディア長さ入力画面が表示されます。

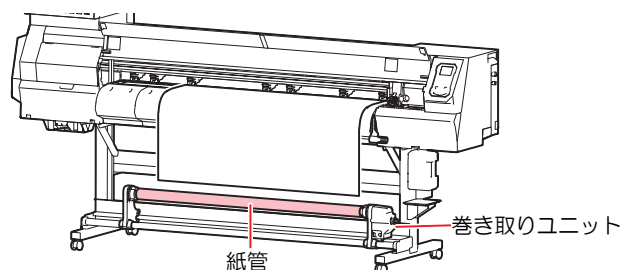


- メディアが規定の位置より右に寄っている場合、メディア幅を検出したあと、ディスプレイに“メディア イチミギスギマス”を表示してお知らせします。メディアを既定の位置にセットし直してください。

19 使用しているピンチローラーの数を入力する。

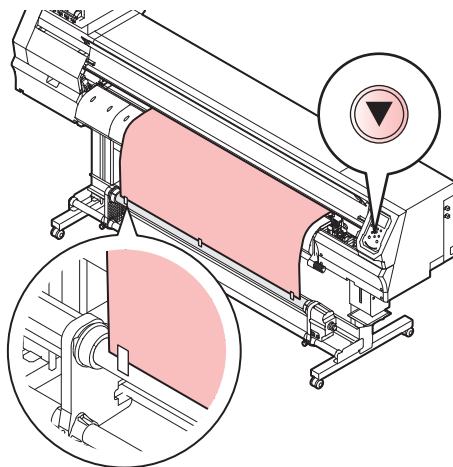
- [マシン設定] > [メディア検出] > [使用PR確認]の設定が、“OFF”に設定されている場合、ピンチローラー数入力画面は表示されません。

20 巻き取りユニットに空の紙管をセットする。

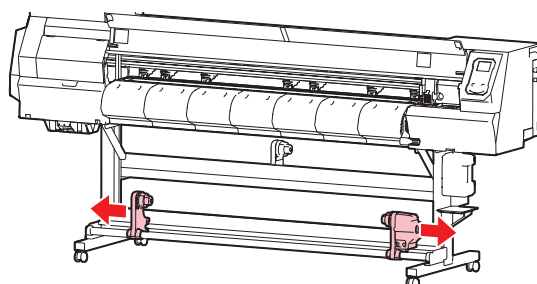


21 巻き取りユニットにメディアを固定する。

- ▼を押して、巻き取りユニットの紙管に届くまでメディアをフィードする。
 - 粘着テープでメディアの中央を固定する。
 - 同様にしてメディアの左右を固定する。
- メディア下端を左右均等に引っ張り、メディアにたるみ、シワがないことを確認してから、テープを貼ってください。



- 巻き取りユニットを使わないときは、巻き取りユニットを左右に退避させてください。メディアの前端が巻き取りユニットに触れた衝撃によって、プリント品質に影響がでるおそれがあります。

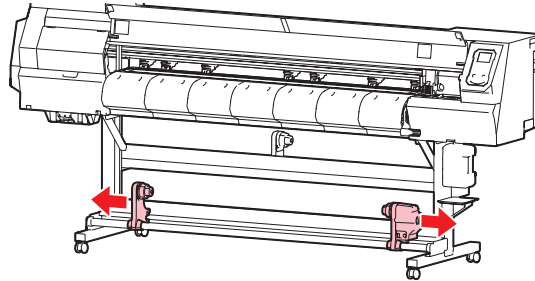


リーフメディアをセットする

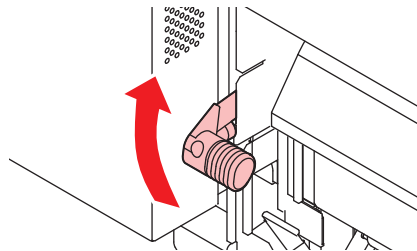
リーフメディアを使用する場合は、ロールホルダーとロールハンガーは使用しません。

1 巻き取りユニットを左右へ退避させる。

- 動作中にメディアの前端が巻き取りユニットに触れた衝撃によって、プリント品質に影響がでるおそれがあります。



2 クランプレバーを上げる。



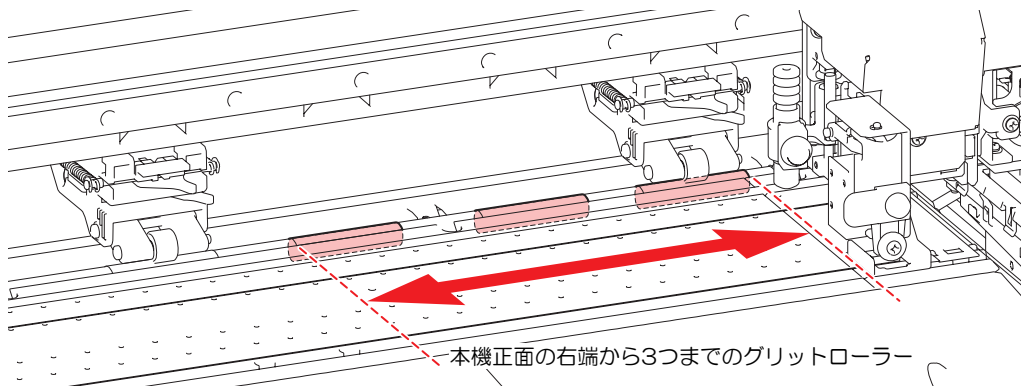
3 正面カバーを開く。

4 メディアを挿し込む。

- ピンチローラーとグリットローラーの間に挿し込みます。
-
-  • メディアを斜めにすると、引っ掛かりが少なくスムーズに挿し込めます。
-

5 メディア右端の位置を調整する。

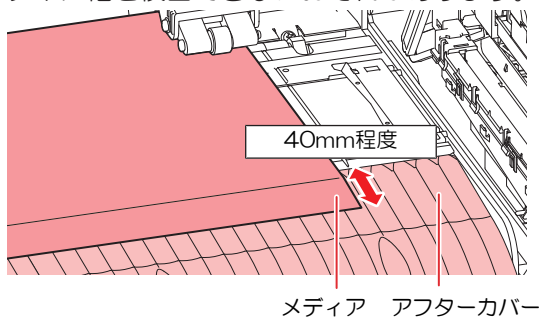
- メディアがプラテン上のスリットラインをはみ出さないように、まっすぐにセットしてください。



-  • メディアの両端から5mmは、デッドスペースになります。
-

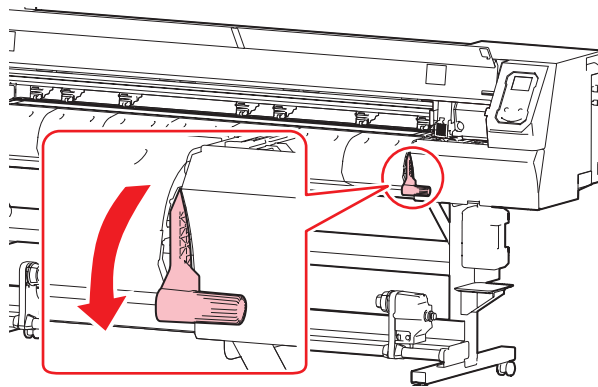
6 メディア前端の位置を調整する。

- ・ アフターカバーに40mm程度メディアがかかるようにセットしてください。40mmより短いと、メディア幅を検出できないおそれがあります。



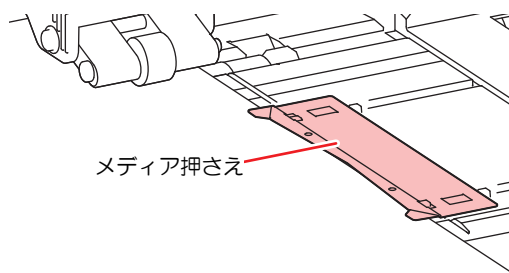
7 クランプレバーを下げて、ピンチローラーが等間隔になっているかどうかを確認する。

- ・ ピンチローラーとグリットローラーで、メディアを保持している状態にします。
- ・ 「ピンチローラーの位置を調整する」(P. 56)



- ・ 等間隔にセットできないときは、はじめからやり直してください。

8 メディア押さえでメディアをはさむ。



- ・ 厚みのあるメディアにプリントするときは、メディア押さえを使用しないでください。
- ・ カットングをするときは、メディア押さえを使用しないでください。

9 を押して、“リーフ”を選択する。

- ・ メディア幅を検出後、メディア後端の検出をします。
- ・ [マシン設定] > [メディア検出] > [検出方法]の設定が、“MANUAL”に設定されている場合、手動でプリントする範囲を設定します。



- ・ メディアが規定の位置より右に寄っている場合、メディア幅を検出したあと、ディスプレイに“メディア イチミギスギマス”を表示してお知らせします。メディアを既定の位置にセットし直してください。

10 使用しているピンチローラーの数を入力する。

- [マシン設定] > [メディア検出] > [使用PR確認]の設定が、“OFF”に設定されている場合、ピンチローラー数入力画面は表示されません。

2.5 ピンチローラーの圧力と使用個数を設定する

使用するツールやメディアに合わせて、メディアを挟む圧力や使用個数を設定します。ピンチローラー圧が適正でないと、メディアが斜行したり、メディアにピンチローラーの跡が残ってしまうおそれがあります。

1 ローカルモード画面から[PR]を選択する。



2 使用するツールやメディアに合わせて設定する。

- ・設定できる項目は、以下のとおりです。
- ・設定した値は、電源を切っても保存されています。

項目	設定値	概要
使用個数	2 ~ (サイズによる)	使用するピンチローラーの数を設定します。
プリント設定	LOW / MID / HIGH	プリントに使用する、圧力を設定します。
カット設定：両端	LOW / MID / HIGH	カッティングに使用する、ピンチローラー両端（左端/右端）の圧力を設定します。
カット設定：中間	OFF / LOW / MID / HIGH	カッティングに使用する、ピンチローラー両端以外の圧力を設定します。
引き戻し設定：両端	LOW / MID / HIGH	多層印刷に使用する、ピンチローラー両端（左端/右端）の圧力を設定します。両端以外のピンチローラーは上がって、プリント面にローラー痕が付かなくなります。 (F/W ver.2.5以降より対応) "ホワイトインク→カラー+グロス"のプリントのみ使用することができます。 詳しくは"RasterLink"のリファレンスガイド、または多層印刷ガイドをご覧ください。 https://japan.mimaki.com/download/software.html https://japan.mimaki.com/download/inkjet.html
切り替え動作実行	-	設定した内容を確認することができます。内蔵パターン（テストプリントやテストカットなど）の実行前に切り替えます。

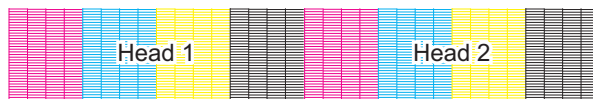


本機を使用しないときは、クランプレバーを上げてピンチローラーとグリットローラーを離してください。

- ・ピンチローラーを下げたまま放置すると、ピンチローラーが変形して、メディアを正常にフィードできなくなるおそれがあります
- ・メディアをセットしたまま放置すると、メディアがピンチローラーに押しつぶされて、ピンチローラー跡が残る原因になります。

2.6 テストプリントをする

テストパターンをプリントして、インクが正常に吐出されているかどうかを確認します。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）があった場合は、ヘッドクリーニングを実施してください。☞「ヘッドクリーニングをする」（P. 73）



事前に確認してください

- プリントヘッドの高さを調整していますか? ☞「プリントヘッドの高さを調整する」（P. 55）
- メディアをセットしていますか? ☞「メディアをセットする」（P. 61）



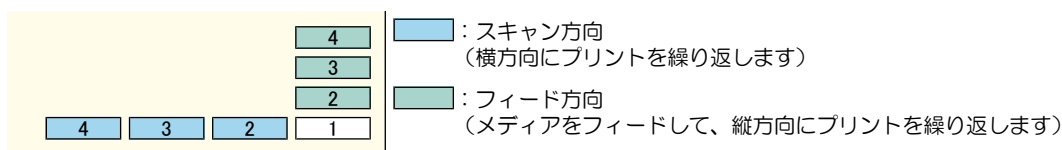
- 幅500mm以上のメディアをセットしてください。幅500mm未満のメディアをセットした場合、プリントが途切れてしまうおそれがあります。



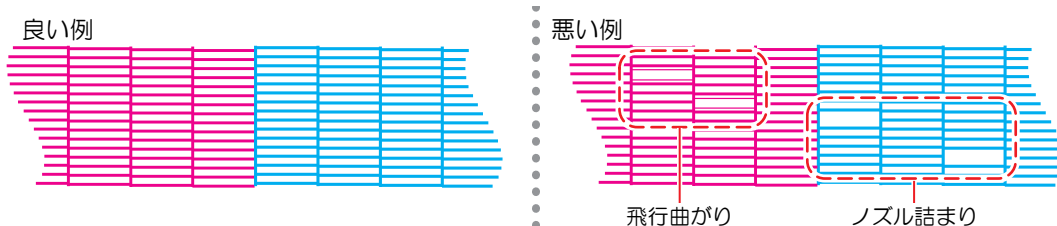
- [メンテナンス]>[ノズルリカバリ]>[テストプリント]をONに設定すると、ノズルリカバリーされてテストプリントされます。（F/W ver.2.5以降より対応）
ノズルリカバリーは登録が必要です。☞「ノズルリカバリーを登録する」（P. 118）

テストプリントの配置方向を変更する

テストプリントの配置方向を変更することができます。



- 1 ローカルモード画面から[TEST PRINT/CLEANING]>[テストプリント]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - テストプリントメニューが表示されます。
- 2 [スキャン方向]、もしくは[フィード方向]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - テストプリントを開始します。



- 3 プリント結果を確認する。

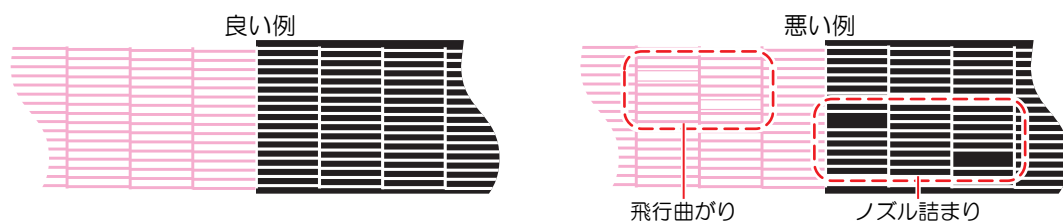
ホワイトインクの吐出を確認する

ホワイトインクを確認するときは、以下の2つの方法があります。

- 透明フィルムにプリントする。
- テストパターンの下地をブラックインクでプリントする。

● 下地をブラックインクでプリントする方法

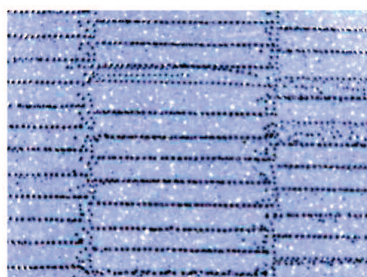
- 1 ローカルモード画面から[TEST PRINT/CLEANING] > [テストプリント]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ テストプリントメニューが表示されます。
- 2 [特色確認]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ テストプリントを開始します。
 - ・ 配置方向は、[スキャン方向]固定です。



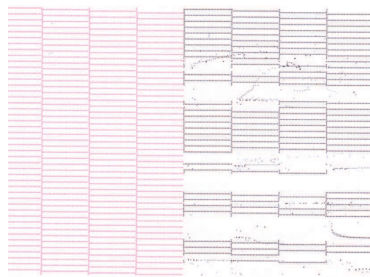
3 プリント結果を確認する。

吐出不良について

吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の代表的な例を示します。このような状態でプリントされないように、プリント前など定期的にインクが正常に吐出されているかどうかを確認してください。



飛行曲がり



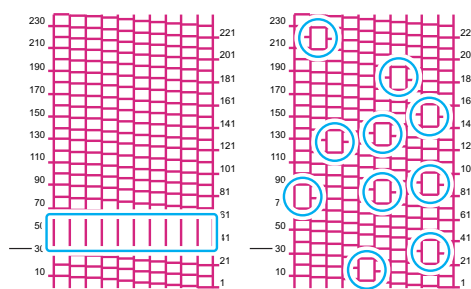
ノズル詰まり



ポタ落ち



ミスト（しぶき）



空気の混入

2.7 ヘッドクリーニングをする

ヘッドクリーニングには、以下のタイプがあります。テストプリントの結果によって使い分けてください。

項目	内容
ソフト	線の曲がり（飛行曲がり）があるとき。
ノーマル	線の抜け（ノズル詰まり）があるとき。
ハード	ソフトクリーニング、ノーマルクリーニングを実行しても吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が改善しないとき。
ウルトラ	ハードクリーニングを実行しても、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）や混色が改善しないとき



- ・ [インクニアエンド]、[インクエンド]のときは、クリーニングすることができません。新しいインクに交換してください。☞ [「インクの交換方法」](#)（P. 44）



- ・ 本機に使われているインクは温めてから吐出をしています。インクの加温制御中は、プリントやクリーニングすることはできませんのでご了承ください。

- 1 ローカルモード画面から[TEST PRINT/CLEANING] > [クリーニング]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ クリーニングメニューが表示されます。
- 2 クリーニングタイプを選択して、[ENTER]キーを押す。
- 3 クリーニングするヘッドを選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ チェックボックスをオンにしてください。チェックが入っているヘッドをクリーニングします。
- 4 再度、テストプリントを実行して、プリント結果を確認する。
 - ・ プリント結果が正常になるまで、クリーニングとテストプリントを繰り返してください。



- ・ ヘッドクリーニングで、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が改善されない場合は、以下を実施してください。
 - ☞ [「ワイパーの清掃」](#)（P. 137）
 - ☞ [「キャップゴムの清掃」](#)（P. 139）
 - ☞ [「プリントヘッドのノズル洗浄」](#)（P. 167）

2.8 フィード補正をする

メディアを替えるとメディアの重さや厚さ、巻き取りユニットの使用有無などにより、メディアのフィード量が変わってしまいます。メディアの種類に合わせて補正してください。補正値が適切でないと、画質不良（濃い縞や薄い縞が入るなど）の原因になります。

事前に確認してください

- メディアをセットしていますか?  「メディアをセットする」(P. 61)
- ロールメディアをご使用の場合、背面ロールメディアが、たるみのない状態にセットされていますか?
- 巻き取りユニットをご使用の場合、巻き取りユニットの紙管にメディアがセットされていますか?  「ロールメディアをセットする」(P. 63)

フィード補正の手順

補正パターンをプリントして補正量を入力します。ここで補正した値は、設定メニューに反映されます。



- 巻き取りユニットを使用するときは、巻き取りユニットにメディアをセットしてから調整をしてください。

1 ローカルモード画面から[ADJUST]を選択する。

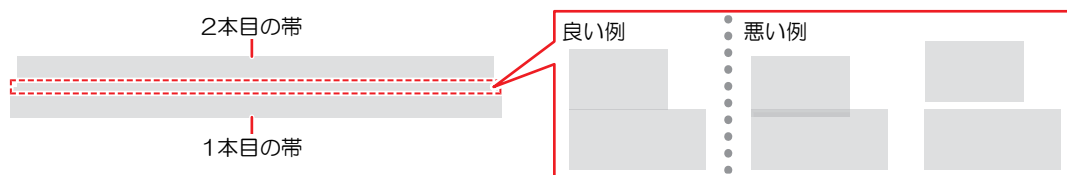


2 [フィード補正]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- 補正パターンのプリントを開始します。

3 プリント結果を確認する。

- 補正値の入力画面が表示されます。
- 2本の帯の境が均等の濃さになるように調整します。



4 補正値を入力して、[ENTER]キーを押す。

- "+" 入力：2本の帯の隙間が広がります。
- "-" 入力：2本の帯の隙間が狭くなります。
- 補正値を"30"変更するごとに、帯が約0.1mm移動します。

5 [ENTER]キーを押す。

- 再度、補正パターンをプリントして確認します。



- 調整が終了すると、プリント原点位置までメディアがフィードして、背面のロールメディアにたるみが生じます。ロールメディアを手で巻き戻して、たるみのない状態にしてください。

プリント中にフィード補正をしたいとき

リモートモードやプリント中でも、メディアの送り量の補正ができます。

- 1 リモートモード、もしくはプリント中に、[ADJUST]を選択する。
- 2 補正值を入力して、[ENTER]キーを押す。
 - 補正值：-9999～9999
 - ここで入力した値は、すぐ補正值に反映されます。

2.9 ドット位置補正をする

メディアやプリントヘッドの高さを変更すると、ドットの着弾位置が変わってしまいます。メディアの種類に合わせて補正してください。補正値が適切でないと、画質不良（線が二重、ぼやけた画像など）の原因になります。

事前に確認してください

- プリントヘッドの高さを調整していますか?  「プリントヘッドの高さを調整する」 (P. 55)
- メディアをセットしていますか?  「メディアをセットする」 (P. 61)



- 幅500mm以上のメディアをセットしてください。幅500mm未満のメディアをセットした場合、プリントが途切れてしまうおそれがあります。

ドット位置補正の手順

補正パターンをプリントして補正量を入力します。ここで補正した値は、設定メニューに反映されます。

1 ローカルモード画面から[ADJUST]を選択する。

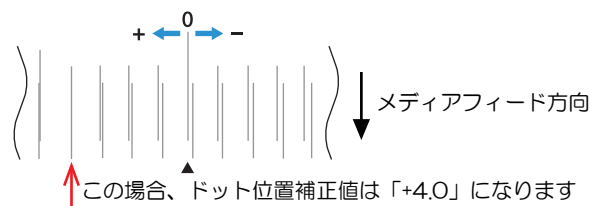


2 [ドット位置補正]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- すべての解像度の補正パターンをプリントします。

3 プリント結果を確認する。

- 補正値の入力画面が表示されます。
- 上下2本の線が1本の直線になっている位置を入力します。



4 補正値を入力して、[ENTER]キーを押す。

- 補正値：-40 ~ 40



- 補正値が-40 ~ 40の間に重なった線がない場合は、プリントヘッドの高さが適正でないことが原因と考えられます。プリントヘッドの高さを調整してください。
 「プリントヘッドの高さを調整する」 (P. 55)

5 パターン2以降も同様に補正値を入力する。

2.10 RIPデータを準備する

ここでは、弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）の説明をします。



- 任意のプリント用の画像データをご準備ください。

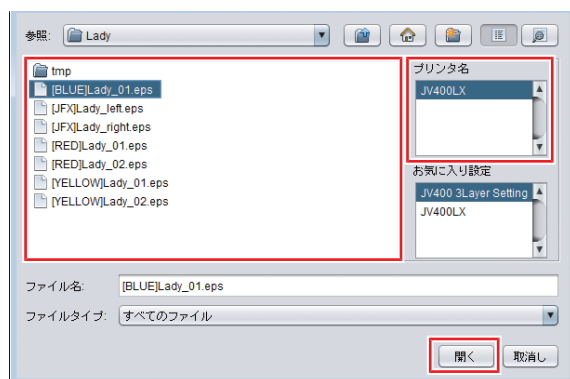
1 “RasterLink”を起動する。

- コンピューターのデスクトップ上にあるアイコンをクリックしてください。



2 プリントする画像データを選択する。

- (1) [ファイル]>[開く]を選択する。
- (2) 任意の画像データを選択して、[開く]をクリックする。
 - 複数のプリンターが登録されている場合、“プリンタ名”からUCJV300シリーズ, 150シリーズを選択します。



3 読み込まれた画像データを選択する。

- “プリンタ名”で選択した、UCJV300シリーズ, 150シリーズのタブに表示されます。



4 各種設定を確認、変更する。

- 画面右の機能アイコンから、以下を設定します。



（通常印刷）：拡大/縮小、コピーなどを設定します。



（印刷条件）：本機にセットしているメディアやインクセットに合ったカラープロファイルを選択します。



- 詳しくは、"RasterLink"のリファレンスガイドをご覧ください。<https://japan.mimaki.com/download/software.html>
-

5 画像データをプリントする。

- 画面右の機能アイコンから（実行）をクリックします。"RIP&印刷"、もしくは"RIP後印刷"を選択して、[開始]をクリックします。



- メディアを交換した場合、メディア幅を再取得する必要があります。
 - メインウィンドウで、UCJV300シリーズ, 150シリーズのタブを選択する。
 - プリンタタブの（最新のプリンタステータスを表示）をクリックする。
-

2.11 プリントする

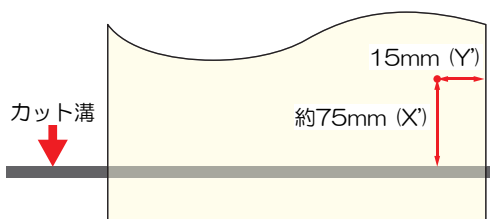
事前に確認してください

- ヘッドギャップを調整していますか?  「プリントヘッドの高さを調整する」 (P. 55)
- ピンチローラーの位置を調整していますか?  「ピンチローラーの位置を調整する」 (P. 56)
- メディアをセットしていますか?  「メディアをセットする」 (P. 61)
- ピンチローラーの圧力を調整していますか?  「ピンチローラーの圧力と使用個数を設定する」 (P. 70)
- ロールメディアをご使用の場合、背面ロールメディアが、たるみのない状態にセットされていますか?
- 巻き取りユニットをご使用の場合、巻き取りユニットの紙管にメディアがセットされていますか?  「ロールメディアをセットする」 (P. 63)

原点を変更する

プリント開始位置を変更することができます。LEDポインターで原点位置を設定します。

- プリント原点の初期値
 - フィード（縦：X'）方向：プラテンのカット溝から奥へ約75mm
 - スキャン（横：Y'）方向：メディア右端から15mm



- 1 ローカルモード画面から、を押す。
 - 原点設定画面が表示されます。
- 2 を押して、変更したい位置に原点を合わせる。
 - キャリッジが左右に動いて、メディアがフィードします。
- 3 [ENTER]キーを押す。
 - 原点が変更されます。

プリントを開始する

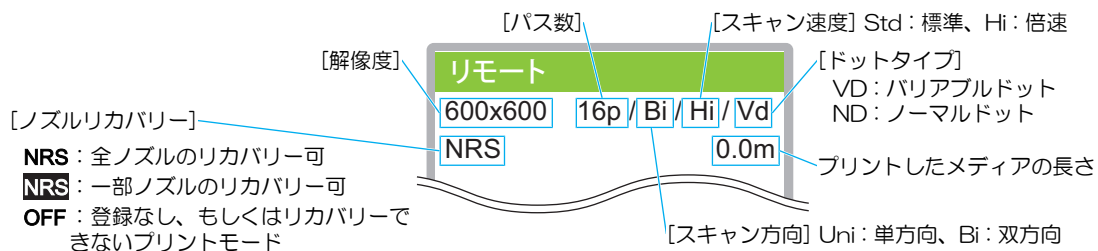
- 1 [REMOTE]を押す。
 - リモートモードになって、プリントの待機状態になります。
- 2 コンピューターから、RIPデータを送信する。
 -  「RIPデータを準備する」 (P. 77)



- エラーメッセージが表示されたときは、エラー番号を確認してから対処方法を参照してください。エラーメッセージ

3 プリントを開始する。

- ・RIPデータを受信すると、プリントが開始されます。



- ・同じ画像データをプリントしても、セットしたメディアの幅やプリント原点の位置、解像度などによって、プリントが終了するまでの時間が異なります。
- ・エラーが発生している場合、プリントが終了したあとはローカルモードになって、続けてプリントすることはできません。

プリントを一時停止する

1 プリント中に、[LOCAL]を押す。

- ・プリントが一時停止されます。
- ・コンピューターからデータを送信している場合は、コンピューター側でデータ送信を一時停止します。

2 [REMOTE]を押す。

- ・プリントが再開されます。



- ・一時停止中は、その他の機能は操作することができません。

プリントを中止する（データクリア）

1 ローカルモード画面から[DATA CLEAR]を選択する。

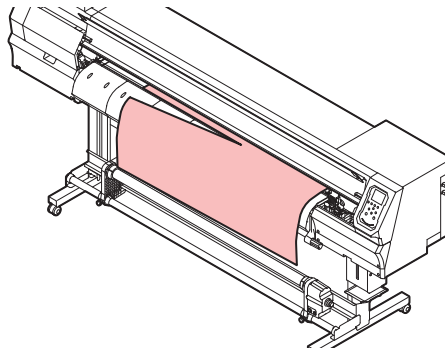


2 [ENTER]キーを押して、受信データをクリアする。

- ・受信バッファがクリアされます。

2.12 メディアを裁断する

- 1 ローカルモード画面から、**▲▼◀▶**を押す。
 - 原点設定画面が表示されます。
- 2 **▲▼**を押して、裁断したい位置までメディアをフィードする。
- 3 **[CUT]**を選択して、**[ENTER]**キーを押す。
 - メディアが裁断されます。



本機を使用しないときは、クランプレバーを上げてピンチローラーとグリットローラーを離してください。

- ピンチローラーを下げたまま放置すると、ピンチローラーが変形して、メディアを正常にフィードできなくなるおそれがあります
- メディアをセットしたまま放置すると、メディアがピンチローラーに押しつぶされて、ピンチローラー跡が残る原因になります。

第3章 カッティングしてみる



この章では...

カッティングの手順や設定方法について説明しています。

カッティングの流れ	84	カッティングデータをカットする	96
カッティングツールを取り付ける.....	86	原点を変更する	96
カッターを使う	86	カッティングを開始する	96
ペンを使う	90	カッティングを中止する（データクリア）	97
カット条件を設定する.....	94	カッターユニットを退避させる.....	97
テストカットをする	95		

3.1 カuttingの流れ

1. 本機の電源を入れる

 [「電源を入れる」 \(P. 36\)](#)

2. カuttingソフトウェアがインストールされているコンピューターと本機を接続する

 [「USBケーブルを使う」 \(P. 38\)](#)

 [「LANケーブルを使う」 \(P. 38\)](#)

3. ピンチローラーの位置を調整する

セットするメディアの幅に合わせて、ピンチローラーの位置を調整します。グリットローラーの上になるように、ピンチローラー位置を調整します。両端のピンチローラーを、メディアの左端から10cm、右端から2cm以内の位置に合わせてください。 [「ピンチローラーの位置を調整する」 \(P. 56\)](#)

4. メディアをセットする

ロールメディアとリーフメディアを使用できます。 [「メディアをセットする」 \(P. 61\)](#)

5. ピンチローラーの使用個数と圧力を調整する

メディアに適した圧力に設定してください。 [「ピンチローラーの圧力と使用個数を設定する」 \(P. 70\)](#)

6. カuttingツールを取り付ける

カッターとペン（ボールペン）を使用できます。 [「カuttingツールを取り付ける」 \(P. 86\)](#)

7. カuttingの速度や圧力などを設定する

お使いになるメディアやツールの種類に合わせて、カット速度や圧力などを登録します。カット条件の設定をする

8. 試し切りをする

試し切りをして、ツール条件の設定が適切かどうかを確認します。 [「テストカットをする」 \(P. 95\)](#)

9. カuttingデータをカットする

 「カットिंगデータをカットする」 (P. 96)

10. メディアを裁断する

 「メディアを裁断する」 (P. 81)

3.2 カットिंगツールを取り付ける

以下のツールを使用することができます。

- カッター（カットिंग専用）
メディアにプリントした画像をカットしたり、カットिंगシートを使って切り文字したりするときに使用します。
🔗 「カッターを使う」（P. 86）
- ペン（ボールペン）
トンボ調整するときなどに使用します。ボールペンの替え芯とボールペンを使用することができます。
🔗 「ペンを使う」（P. 90）

カッターを使う

カッターホルダーにカッターを取り付ける

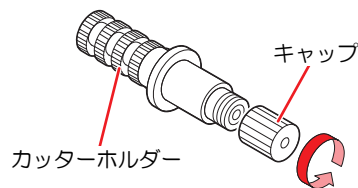
カッターを落として本機の間隙に入らないように注意してください。メディアなどの上で交換すると、カッター刃が落ちたときに拾いやすくなります。



- カッターの刃先を触らないでください。ケガをするおそれがあります。
- カットングホルダーは振らないでください。刃先が飛び出すおそれがあります。

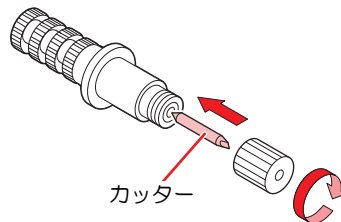
1 カッターホルダーのキャップを外す。

- 矢印方向にネジを回すと外れます。



2 カッターホルダーにカッターを挿し込む。

- ピンセットなどを使って、カッターを挿し込んでください。

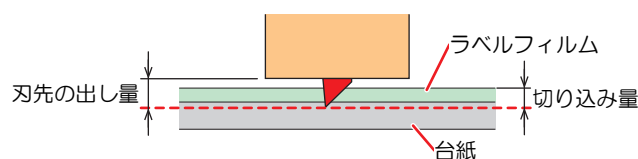


3 矢印の方向に回して、キャップを固定する。

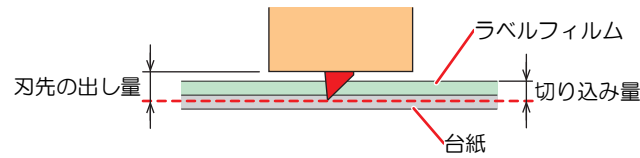
刃先の出し量を調整する

刃先の出し量（0.2～0.5mm）を調整します。

- ラベルフィルムより、台紙が厚い場合：（ラベルフィルムの厚さ+台紙の厚さ）/2程度。



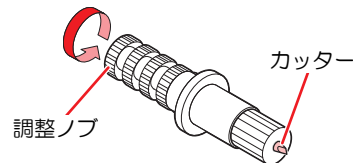
- ラベルフィルムより、台紙が薄い場合：ラベルフィルムを切り抜く程度。



- オプションを使用すると、正確に刃先の出し量を調整することができます。
品番：OPT-C0066 "刃先調整器（偏芯カッター用）"

1 調整ノブを回して、刃先の出し量を調整する。

- 図の矢印方向に調整ノブを回すと刃が出ます。（1周：0.5mm）

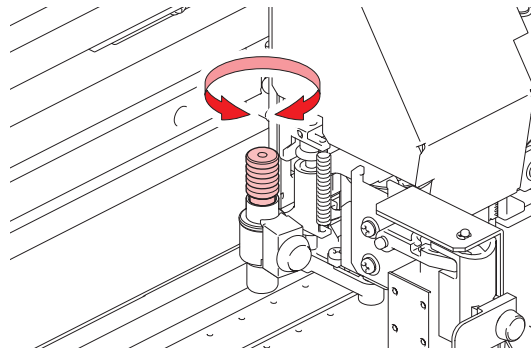


2 切れ具合を確認する。

- 台紙にカッター跡が若干付く程度に、圧力を調整してください。刃先を出しすぎると、本機を傷付けるおそれがあります。
☞ 「カット条件を設定する」 (P. 94)
☞ 「テストカットをする」 (P. 95)



- ご購入時に添付されていたカッターホルダーは、ツールホルダーに取り付けたまま、刃先の出し量を調整できます。（調整ノブ1周：0.5mm）



カッターホルダーを取り付ける

1 ローカルモード画面から[MENU] > [カットティング]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- カットティングメニューが表示されます。

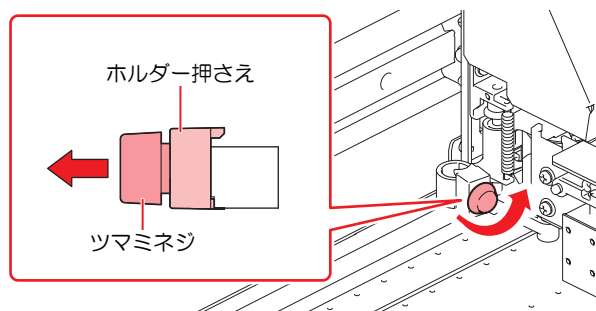
2 [ツール交換]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- カッターユニットが、メンテナンススペースに移動します。

3 メンテナンスカバーを開く。

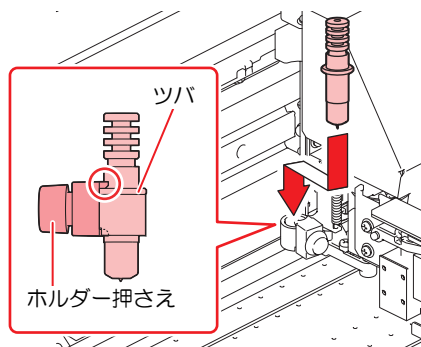
- 手動でカッターユニットを移動できます。交換しやすい位置にゆっくり移動させてから、取り付けてください。

4 ツマミネジを回して、ホルダー押さえを緩める。



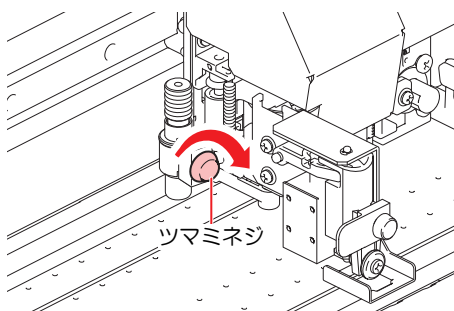
5 カッターホルダーをツールホルダーに挿し込む。

- (1) カッターホルダーのツバを押し当てる。
- (2) カッターホルダーのツバを挟む。



6 カッターホルダーを固定する。

- ・ ツマミネジを回して、ホルダー押さえを固定する。
- ・ 固定が緩いと、品質が低下するおそれがあります。

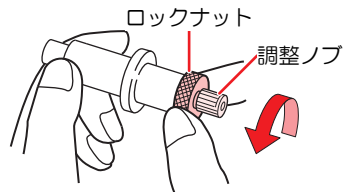


7 取り付けが終了したあとに、[ENTER]キーを押す。

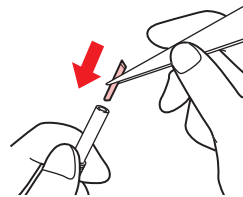
8 メンテナンスカバーを閉じる。

サプライ品のカッターホルダー（SPA-0001）を使う

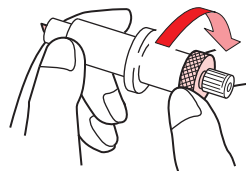
- 1 カッターホルダーのロックナットを緩めて、調整ノブを抜く。
 - ・ 矢印方向にネジを回すと緩みます。



- 2 調整ノブにカッターを挿し込む。
 - ・ ピンセットなどを使って、カッターを挿し込んでください。

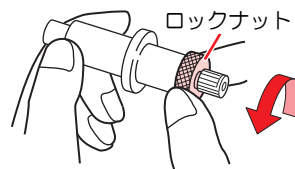


- 3 矢印の方向に回して、ロックナットを固定する。

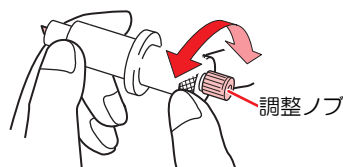


刃先の出し量を調整する

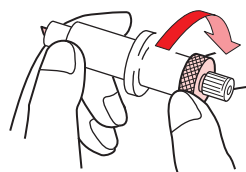
- 1 カッターホルダーのロックナットを緩める。



- 2 調整ノブを回して、刃先の出し量を調整する。



- 3 矢印の方向に回して、ロックナットを固定する。

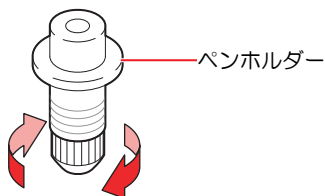


ペンを使う

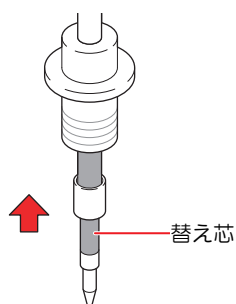
ペンホルダーに替え芯を取り付ける

替え芯の種類によって、画質が変わることがあります。
推奨品：SXR-5（三菱鉛筆株式会社）

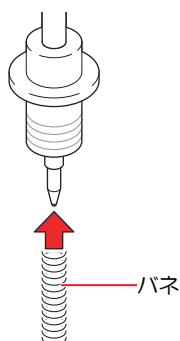
- 1 ペンホルダーのキャップを外す。
 - ・ 矢印方向にネジを回すと外れます。



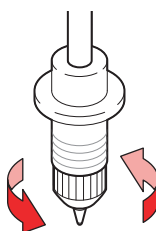
- 2 ペンホルダーに替え芯を挿し込む。
 - ・ ペンホルダーに突き当たるまで、替え芯を挿し込みます。



- 3 替え芯にバネを挿し込む。



- 4 矢印の方向に回して、キャップを固定する。



ペンアダプターにボールペンを取り付ける

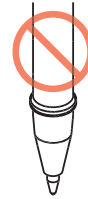
ペンアダプターを使用する場合は、直径8～9mmのペンをご使用ください。ボールペンの種類によって、画質が変わることがあります。
推奨品：K105-GA（ぺんてる株式会社）



- 以下のようなボールペンは使用しないでください。ボールペンの種類によって、ボールペンが傾いてしまうおそれがあります。



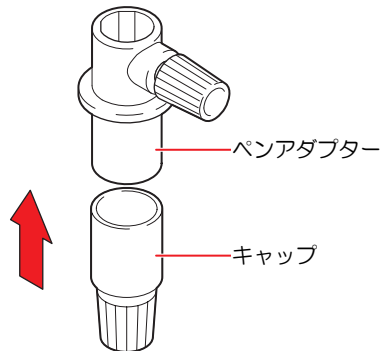
軸の太さが途中で変わるペン



軸に突起や段差のあるペン

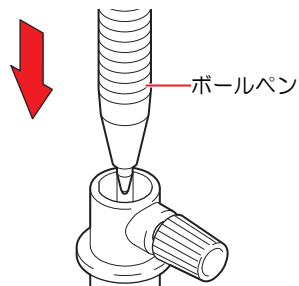
1 ペンアダプターにキャップを付ける。

- キャップはペン先の高さを調整するために使用します。



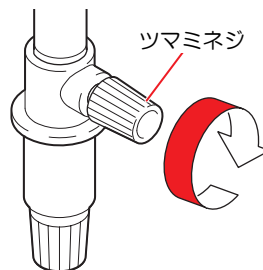
2 ペンアダプターにボールペンを挿し込む。

- キャップに突き当たるまで、ペン先を挿し込みます。

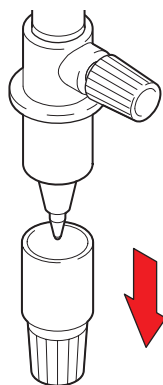


3 矢印の方向に回して、ペン先を固定する。

- ツマミネジを締めすぎないように注意してください。ボールペンが割れてしまうおそれがあります。

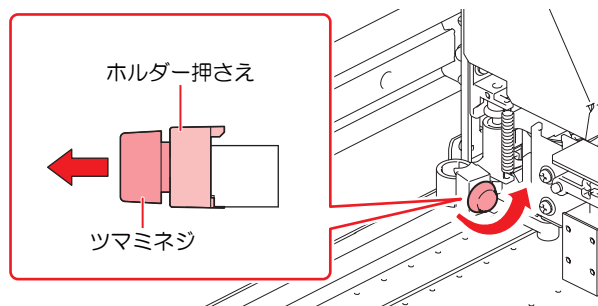


4 キャップを外す。



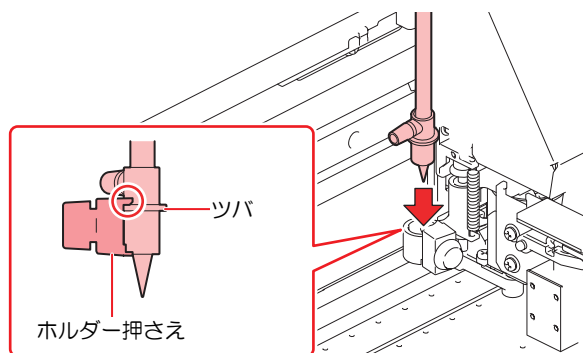
ペンを取り付ける

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [カutting]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ カuttingメニューが表示されます。
- 2 [ツール交換]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ カッターユニットが、メンテナンススペースに移動します。
- 3 メンテナンスカバーを開く。
 - ・ 手動でカッターユニットを移動できます。交換しやすい位置にゆっくり移動させてから、取り付けてください。
- 4 ツマミネジを回して、ホルダー押さえを緩める。



5 ペンホルダー、もしくはペンアダプターをツールホルダーに挿し込む。

- (1) ツールホルダーにペンホルダー、もしくはペンアダプターのツバを押し当てる。
 - ・ ペンアダプターの場合、ツマミネジが邪魔にならない方向にセットしてください。
- (2) ホルダー押さえでペンホルダー、もしくはペンアダプターのツバを挟む。



- 6 ペンホルダー、もしくはペンアダプターを固定する。
 - ・ ツマミネジを回して、ホルダー押さえを固定する。
 - ・ 固定が緩いと、品質低下の原因になります。
- 7 取り付けが終了したあとに、[ENTER]キーを押す。
- 8 メンテナンスカバーを閉じる。

3.3 カット条件を設定する

お使いになるメディアやツールの種類に合わせて、カット速度や圧力などを登録することができます。

1 ローカルモード画面から[TOOL]を選択する。



2 条件を設定する。

- ・ 設定できる項目は、以下のとおりです。
- ・ 設定した値は、電源を切っても保存されています。

項目	設定値	概要
TOOL	CUT1 ~ 7 / PEN	・ ツール条件は以下の通りに切り替わります。
速度	1 ~ 20cm/s	・ カットング、もしくはペン書きするときの速度を設定します。
圧力	ツール：10 ~ 450g PEN：10 ~ 150g	・ カットング、もしくはペン書きするときの圧力を設定します。 ・ ハーフカットするときにも、圧力設定が必要です。
オフセット ^{*1}	0.00 ~ 2.50mm	・ カッターホルダーの中心から、刃先までの距離を設定します。
ハーフカット ^{*1}	ON / OFF	・ 台紙を切り抜かずに点線でカットします。 ・ ハーフカットの設定をONにすると、以下の3項目が表示されます。以下の3項目とカット条件下の圧力を設定してください。
ハーフカット圧力	0 ~ 300g	・ 切り残す部分の圧力を設定します。
切り残り長さ	0.1 ~ 5.0mm	・ 切り残す長さを設定します。
切り抜き長さ	5 ~ 150mm	・ 切り抜く長さを設定します。

1. PENを選択しているときは、設定できません。

3.4 テストカットをする

試し切りをして、ツール条件の設定が適切かどうかを確認します。

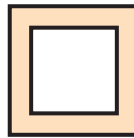
磨耗などによってカッター刃の切れ味が悪くなってきたときは、圧力を上げてカットすることができます。これは、あくまで暫定的な措置です。品質を維持する上でも、カッター刃の交換を推奨いたします。

1 ローカルモード画面から[TEST CUT]を選択する。



2 [テスト カット]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- テストカットが開始されます。



- テストカットの結果を確認して、カット条件を変更してください。

症状	原因	対処
切れていない部分がある	• 速度が速すぎて、刃先が浮き上がっている。	• [速度]を遅くする 「カット条件を設定する」 (P. 94) • ツールホルダーのツマミを締める 「カッターホルダーを取り付ける」 (P. 87)
メディアの台紙が切れている	• 圧力が高い • 刃先の出し量が多い	• [圧力]を弱くする 「カット条件を設定する」 (P. 94) • 刃先の出し量を少なく調節する 「刃先の出し量を調整する」 (P. 86)
角が丸い	• カッターホルダーの中心から、刃先までの距離が合っていない	• お使いのカッターに合わせて、[オフセット]の値を調節する 「カット条件を設定する」 (P. 94)
角がめくれている	以下の2点以上の項目が該当している • 刃先の出し量が多い • 圧力が高い • [MENU] > [カutting] > [設定サブメニュー] > [補正圧オフセット] の値が多い	• 刃先の出し量を少なく調節する 「刃先の出し量を調整する」 (P. 86) • [圧力]を弱くする 「カット条件を設定する」 (P. 94) • [補正圧オフセット]の値を少なく調節する 「カuttingメニュー」 (P. 127)

3.5 カuttingデータのカットする

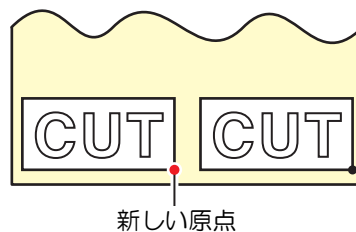
事前に確認してください

- ヘッドギャップを調整していますか?  「プリントヘッドの高さを調整する」(P. 55)
- ピンチローラーの位置を調整していますか?  「ピンチローラーの位置を調整する」(P. 56)
- メディアをセットしていますか?  「メディアをセットする」(P. 61)
- ピンチローラーを設定していますか?  「ピンチローラーの圧力と使用個数を設定する」(P. 70)

原点を変更する

カutting開始位置を変更することができます。LEDポインターで原点位置を設定します。ここで設定した原点は、お使いのカuttingソフトウェアの原点となります。

同じデータをカuttingする場合は、原点を変更してください。変更しなかった場合は、前回と同じ位置からカuttingを開始します。



- 1 ローカルモード画面から▲▼◀▶を押す。
 - 原点設定画面が表示されます。
- 2 ▲▼◀▶を押して、変更したい位置に原点を合わせる。
 - キャリッジが左右に動き、メディアがフィードします。
- 3 [ENTER]キーを押す。
 - 原点が変更されます。
 - ディスプレイに、設定されたツール条件が表示されます。

カuttingを開始する

- 1 [REMOTE]を押す。
 - リモートモードになって、カuttingの待機状態になります。
- 2 コンピューターから、カuttingデータを送信する。



- 詳しくは、お使いのカutting用ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

- 3 カuttingを開始する。
 - カuttingデータを受信すると、カuttingが開始されます。
 - ディスプレイに、データの残容量が表示されます。



- 万が一、カutting途中でメディアが外れてしまった場合は、速やかに電源を切ってください。メディアが外れたままカuttingを続けると、本機を傷つけるおそれがあります。

カッティングを一時停止する

1 カッティング中に、[LOCAL]を押す。

- ・ カッティングが一時停止されます。
- ・ コンピューターからデータを送信している場合は、コンピューター側でデータ送信を一時停止します。

2 [REMOTE]を押す。

- ・ カッティングが再開されます。



- ・ 一時停止中は、その他の機能は実行することができません。

カッティングを中止する（データクリア）

1 ローカルモード画面から[DATA CLEAR]を選択する。



2 [ENTER]キーを押して、受信データをクリアする。

- ・ 受信バッファはクリアされずに保存されています。

カッターユニットを退避させる

カッティング、もしくはペン作図が終了したとき、カッターユニットはプラテン上に残っています。カッティング結果の確認や、新しいメディアをセットするときは、カッターユニットをプラテン上から退避させてください。

1 ローカルモード画面から[TEST CUT]を選択する。



2 [カッター移動/ 退避]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・ カッターユニットが、左端のメンテナンススペースへ移動します。
- ・ 連結ユニットがキャリッジに接続されている場合は、連結ユニットをカッターユニットに接続してから原点位置に移動します。（カッターユニット移動）

第4章 トンボ付きデータをカッティング してみる



この章では...

トンボの作成条件や基本の情報について説明しています。

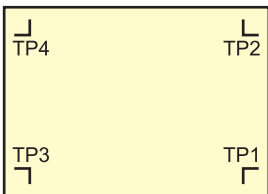
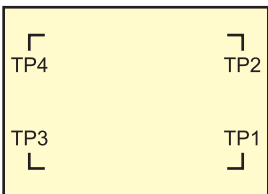
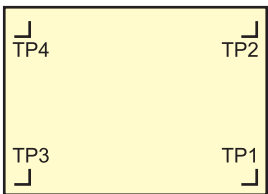
トンボ付きデータのカッティングの流れ.....	100	トンボ検出の条件を設定する.....	107
トンボを作成する.....	102	トンボの原点位置を検出する.....	108
トンボについて.....	102	IDカットの流れ.....	109
トンボのサイズ.....	103		
トンボとトンボの間隔.....	104		
トンボの読み取り範囲.....	105		
トンボ周辺のプリント禁止エリア.....	106		
プリント&カットの複合動作について.....	106		

4.1 トンボ付きデータのカッティングの流れ

1. トンボ付きデータを作成する

🔗 「トンボを作成する」 (P. 102)

本機では以下の3種類のトンボを検出することができます。

タイプ1	タイプ2	余白なしトンボ
		

2. トンボ付きプリントデータをプリントする

🔗 「プリントの流れ」 (P. 52)

3. カッティングの準備をする

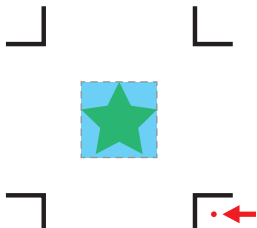
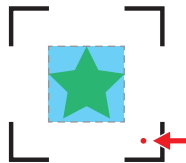
🔗 「カッティングの流れ」 (P. 84) (手順4～8)

4. プリントしたトンボの情報を登録する

🔗 「トンボ検出の条件を設定する」 (P. 107)

5. トンボの原点を検出する

🔗 「トンボの原点位置を検出する」 (P. 108)

(トンボ形状) タイプ1	(トンボ形状) タイプ2
	

6. データをカットする

 「カッティングデータをカットする」 (P. 96)

7. メディアを裁断する

 「メディアを裁断する」 (P. 81)

4.2 トンボを作成する

画像データに"トンボ"を付けてプリントしておけば、精度の高い品質でカッティングすることができます。トンボには、いくつかの制限事項がありますので、以下の内容をよくご覧になってトンボを作成してください。



- ・ 本機は、裁ち落としトンボを使用できません。

トンボについて

本機では、以下の3種類のトンボを使用することができます。

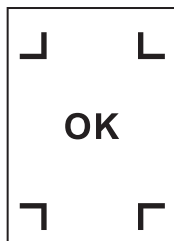
タイプ1	タイプ2	余白なしトンボ



- ・ 台形補正をする場合、トンボ4（TP4）を使用します。トンボ4を読み飛ばすこともできますが、カッティングの精度が低くなります。
台形補正：メディア左右端のフィード量の差を補正する

メディアとトンボの色

メディアは白地、トンボの色は黒を推奨します。それ以外の色の場合、トンボを検出できないおそれがあります。



トンボのにじみ

トンボは、にじみがないようにプリントしてください。トンボがにじんでいると、トンボ原点の誤検出やトンボを検出できないおそれがあります。



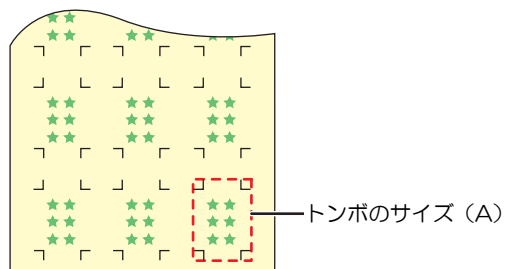
OK



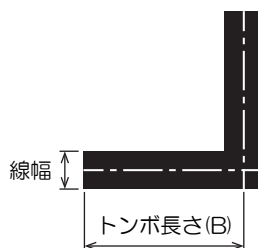
NG

トンボのサイズ

推奨するトンボのサイズ（A）は、トンボを含めてA4（210mm x 297mm）～A3 サイズ（297mm x 420mm）です。それ以上の大きさの場合、メディアがのフィードに問題（メディアの蛇行など）が生じた場合、トンボを検出できないおそれがあります。



トンボの長さと言幅の目安



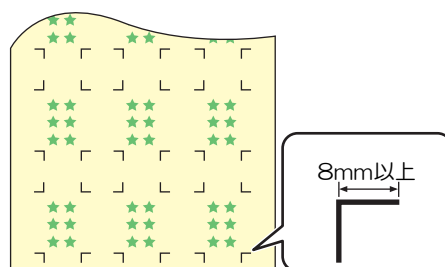
推奨するトンボの長さと言幅は、以下のとおりです。以下の範囲から外れた場合、トンボを検出できないおそれがあります。

トンボのサイズ（A）	トンボ長さ（B）	線幅
～200 mm	5 mm	0.5 mm
201～500 mm	8 mm	
501～1,000 mm	15 mm	
1,001～2,000 mm	25 mm	
2,001 mm～	35 mm	

- ・ 弊社RIP用ソフトウェアの機能"トンボの周りを塗りつぶす"を設定した場合、トンボ長さ（B）は10mm以上にしてください。

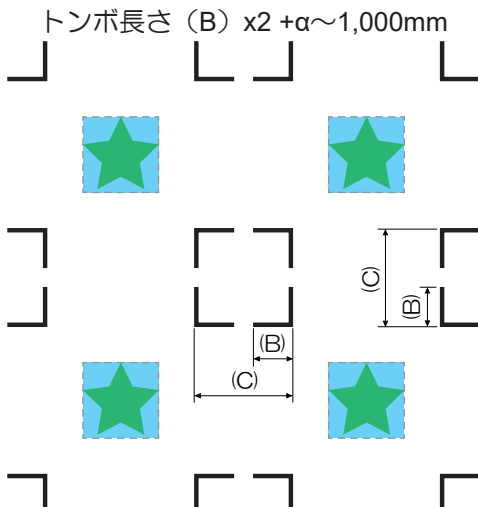
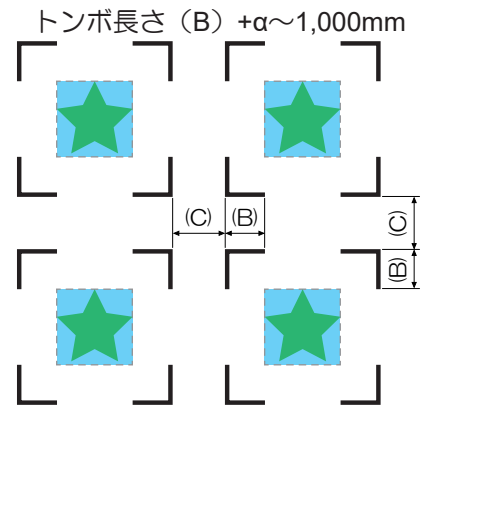
連続してトンボを配置するとき

トンボの長さ（B）を8mm以上にしてください。8mm未満のトンボを連続して読み取った場合、トンボを検出できないおそれがあります。



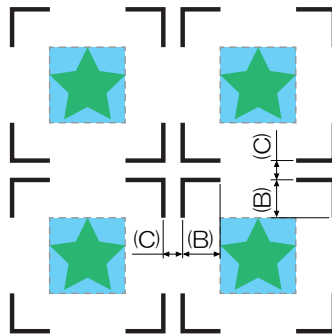
トンボとトンボの間隔

トンボとトンボの間隔 (C) は、以下のとおりです。

(トンボ形状) タイプ1	(トンボ形状) タイプ2
トンボ長さ (B) $\times 2 + \alpha \sim 1,000\text{mm}$ 	トンボ長さ (B) $+ \alpha \sim 1,000\text{mm}$ 

● トンボ原点誤検出の例

- 以下の図はトンボとトンボの間隔 (C) が狭いので、トンボを検出できないおそれがあります。



トンボの読み取り範囲

トンボを検出することができる範囲は、以下のとおりです。余白が少ない場合、メディア端をトンボと間違えてトンボを検出するおそれがあります。

弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）を使ってデータをコピーする場合は、メディア後端から210mm以上あけてください。

(トンボ形状) タイプ1	(トンボ形状) タイプ2
110(or 210)mm 50~3,000mm 50mm以上 20mm以上 5mm以上 5mm以上 [Rear] [Front] ■: プリント禁止エリア ■: カットエリア ■: メディア	110(or 210)mm +(トンボ長さ(B)/2)以上 3,000mm以内 50mm以上 20mm +(トンボ長さ(B)/2)以上 5mm以上 5mm以上 [Rear] [Front] ■: プリント禁止エリア ■: カットエリア ■: メディア

IDカットの場合

トンボを検出することができる範囲は、以下のとおりです。余白が少ない場合、メディア端をトンボと間違えてトンボを検出するおそれがあります。

弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）を使ってデータをコピーする場合は、メディア後端から210mm以上あけてください。

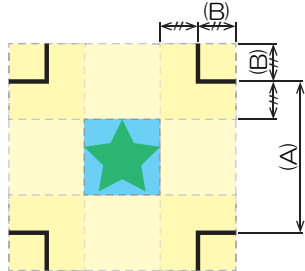
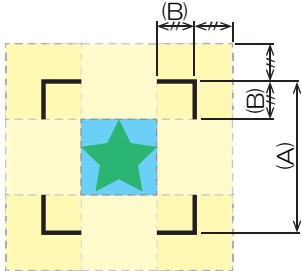
(トンボ形状) タイプ1	(トンボ形状) タイプ2
110(or 210)mm 70~3,000mm 70mm以上 110mm以上 15mm以上 15mm以上 [Rear] [Front] ■: プリント禁止エリア ■: カットエリア ■: メディア	110(or 210)mm +(トンボ長さ(B)/2)以上 3,000mm以内 70mm以上 110mm +(トンボ長さ(B)/2)以上 15mm以上 15mm以上 [Rear] [Front] ■: プリント禁止エリア ■: カットエリア ■: メディア



詳しくは、IDカットガイドをご覧ください。 <https://japan.mimaki.com/download/software.html>

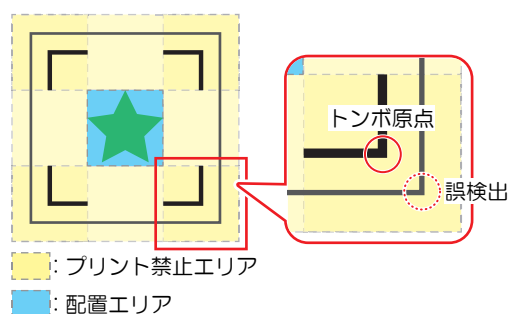
トンボ周辺のプリント禁止エリア

トンボ周辺はプリントしないでください。トンボ原点の誤検出やトンボを検出できないおそれがあります。

(トンボ形状) タイプ1	(トンボ形状) タイプ2
 : プリント禁止エリア : 配置エリア	 : プリント禁止エリア : 配置エリア

● トンボ原点誤検出の例

- 以下の図はプリント禁止エリアにプリントされているので、トンボではない場所を検出してしまうおそれがあります。



プリント&カットの複合動作について

弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink、FineCut）を使って、「プリント&カット」をする場合は、以下の項目にご注意ください。

1. 本機で設定したトンボサイズとトンボ形状は無効になります。ソフトウェア側の指示にしたがいます。
2. トンボ付きのデータで、「プリント&カット」をすることを推奨します。プリントデータの大きさによって、カッティング精度が低下するおそれがあります。
3. トンボがないデータでも、巻き取りユニットを使って「プリント&カット」することはできますが、カッティング精度が低下するおそれがあります。

4.3 トンボ検出の条件を設定する

プリントしたトンボの条件を登録します。

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [カッティング]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ カッティングメニューが表示されます。

- 2 [トンボ検出]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ トンボ検出メニューが表示されます。



・ 以下の方法でも、トンボ検出メニューを表示させることができます。

- (1) ローカルモード画面から[TEST CUT]を選択する。
 - (2) [トンボ検出設定]を選択して、[ENTER]キーを押す。
-

- 3 項目を選択して、設定する。
 - ・  「カッティングメニュー」 (P. 127)

4.4 トンボの原点位置を検出する

- 1 ローカルモード画面から[TEST CUT]を選択する。



- 2 [トンボ原点検出]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・ トンボ検出モードになります。
- ・ カッティングユニットがプラテン上に移動します。



- ・ トンボ検出モードにならない場合は、[TEST CUT] > [トンボ検出設定] > [トンボ検出]を"ON"に設定してください。

- 3 ▲▼◀▶を押して、LEDポインターの光点をトンボの中心に移動する。

(トンボ形状) タイプ1	(トンボ形状) タイプ2

- 4 [ENTER]キーを押す。

- ・ トンボの検出を開始します。

4.5 IDカットの流れ

1. IDカットデータ付きデータを作成する



• 詳しくは、IDカットガイドをご覧ください。<https://japan.mimaki.com/download/software.html>

2. IDカットデータ付きプリントデータをプリントする

 「プリントの流れ」 (P. 52)

3. カッティングの準備をする

 「カッティングの流れ」 (P. 84) (手順4～8)

4. プリントしたトンボの情報を登録する

 「トンボ検出の条件を設定する」 (P. 107)

5. トンボの原点を検出する

 「トンボの原点位置を検出する」 (P. 108)

6. データをカットする

 「カッティングデータをカットする」 (P. 96)

7. メディアを裁断する

 「メディアを裁断する」 (P. 81)

第 5 章 各種設定



この章では...

[MENU]の各種機能について説明しています。

設定メニュー	112	マシン設定メニュー	120
Temporaryの使い方	114	イベントメール機能の設定	122
設定タイプ名称の変更方法	115	ノズルチェックメニュー	125
LTモード	116	情報メニュー	126
メンテナンスメニュー	117	カッティングメニュー	127
ノズルリカバリーを登録する	118	直前のデータをコピーする	130
		切り残しをなくす	130

5.1 設定メニュー

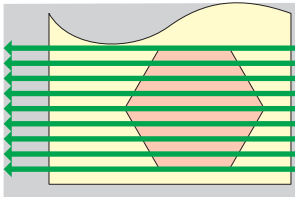
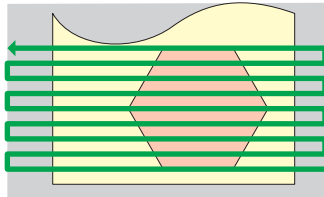
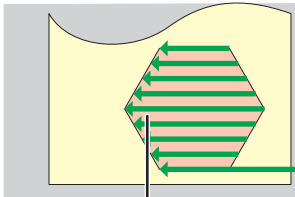
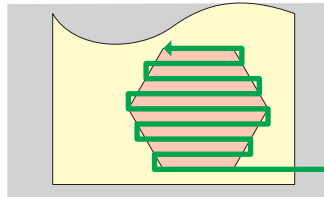
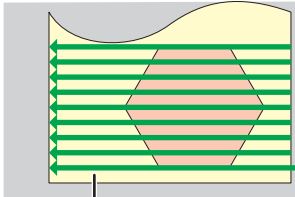
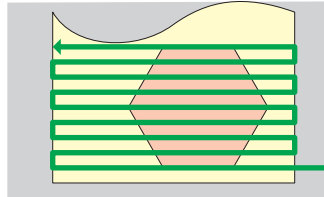
お使いになるメディアに合わせて、プリント条件（設定1～4、Temporary）を個別に登録しておくことができます。一度だけ違う条件でプリントしたい場合は、"Temporary"を選択してください。"Temporary"の条件は保存されません。

● メニュー一覧

本機の設定と接続しているコンピュータの設定、どちらを優先させるかどうかを決めることができます。各メニューを"ホスト"に設定すると、コンピュータの設定が優先されます。本機の設定を優先させたいときは、"ホスト"以外に設定してください。



- RIP用ソフトウェアの指定方法は、RIP用ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

項目	設定値		内容
	*1	*2	
フィード補正	-9999 ~ <u>0</u> ~ 9999	-	メディアの送り量を補正します。 ・ パターンをプリントして、補正量を入力します。
ドット位置補正	-40.0 ~ <u>0</u> ~ 40.0	-	双方向プリントのドット着弾位置を補正します。 ・ パターンをプリントして、補正量を入力します。
ロジカルシーク	<u>ホスト</u> / OFF / ON / メディア幅	OFF	キャリッジの可動範囲を設定します。 ・ OFF：マシンサイズ領域 単方向プリント  双方向プリント  キャリッジの動き ・ ON：プリントデータ領域 単方向プリント  双方向プリント  プリントデータ キャリッジの動き ・ メディア幅：メディアサイズ領域 (F/W ver.2.8以降より対応) 単方向プリント  双方向プリント  メディア キャリッジの動き
重ね塗り	<u>ホスト</u> / 1 ~ 9 回	1	重ね塗りの回数を設定します。
乾燥時間	-	-	インクを乾燥させる時間を設定します。

項目		設定値		内容
		*1	*2	
	スキャン	ホスト / 0.0 ~ 9.9 sec	0	キャリッジがスキャンするごとに、キャリッジを停止させる時間を設定します。 弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）は、“スキャン毎の乾燥時間”と表示しています。
	プリントエンド	ホスト / 0 ~ 120 min	0	プリントしたあとの停止時間を設定します。設定した時間を超えると次のデータをプリントします。 弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）は、プリントエンドの指定ができません。本機を“ホスト”に設定すると、時間は“0分”になります。
マージン / 左 マージン / 右		ホスト / -10 ~ 85 mm	0mm	メディア左右の標準余白（15mm）からオフセットする値を設定します。 - メディア押さえを使用する場合、左右のマージンを-5mm以上に設定してください。メディア押さえの上にプリントをするおそれがあります。 - 弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）は、マージンの指定ができません。本機を“ホスト”に設定すると、左右のマージンはオフセット値が“0mm”になります。
吸着ファン		ホスト / 弱 / 標準 / 強	強	メディアを吸着する強さを設定します。 メディアの浮きによるメディアジャムやプリントヘッド破損を防止できます。
フィード速度		ホスト / 10 ~ 100 ~ 200 %	100	メディアの送り速度を設定します。 - プリント条件によっては、速度が変わらない設定値があります。 100%以上に設定した場合、プリント終了までの時間は短くなりますが、十分な乾燥時間が得られないため、画質に影響するおそれがあります。
オートクリーニング		-	-	自動的にヘッドクリーニングを開始させる条件を設定します。 吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）などの症状が発生した場合などに設定します。
	設定	ファイル / 距離 / 時間 / OFF	-	設定した条件の設定値を超えたら、プリント終了後にヘッドクリーニングを開始します。
	間隔	-	-	-
	(ファイル)	1 ~ 1000	-	ファイル数を選択したときの間隔を設定します。
	(距離)	0.1 ~ 100.0 m	-	プリント長さを選択したときの間隔を設定します。
	(時間)	10 ~ 120 min	-	プリント時間を選択したときの間隔を設定します。
	タイプ	ノーマル / ソフト / ハード	-	ヘッドクリーニングのタイプを設定します。
クリーニング後チェック		ON / OFF	-	ヘッドクリーニング終了後にノズルチェックをさせるかどうかを設定します。
定期ワイピング		3 ~ 255 min / OFF	-	自動的にプリントヘッドのワイピングを開始させる時間を設定します。プリントした時間が設定値を超えたら、プリント中でもプリントヘッドをワイピングします インク滴が落ちるなどの症状が発生した場合などに設定します。
UVモード		ON / OFF / 印刷無し	ON	UV-LEDの照射するかどうかを設定します。 ON：UV-LEDを照射します。

項目		設定値		内容
		*1	*2	
				• OFF：UV-LEDを照射しません。 • 印刷なし：プリントせずに、UV-LEDを照射します（通常は使用しません）。
UV光量調整		-50 ~ <u>0</u> ~ 50 %	-	あらかじめ設定されているUVランプの光量を変更することができます。（F/W ver.2.8以降より対応） • マイナス方向：硬化を弱くしたいとき。 • プラス方向：硬化を強くしたいとき。 *プリントしたあとに、性能（ベタつき、臭気など）を確認してください。
MAPS4		-	-	MAPS：Mimaki Advanced Pass System • パスの境界を分散させて、パス間の送り縞を目立ちにくくさせる機能です。 • MAPSを変更すると、色の変化がみられることがあります。また、画像によっては効果が得られないことがあります。
	MAPS4	<u>AUTO</u> / MANUAL	-	通常は"AUTO" で使用してください。"MANUAL"に設定すると、以下の項目が表示されます。
	スムージングレベル	0 ~ 100 %	-	スムージングレベルを上げると、縞が目立ちにくくなります。
	速度	50 ~ 100 %	-	速度を下げると、縞が目立ちにくくなります。ただし、プリント速度が遅くなります。
	拡張	ON / OFF	-	"ON"に設定すると、縞が目立ちにくくなります。ただし、粒状感が増すおそれがあります。
イオナイザ		ON / OFF	-	イオナイザー（オプション）の設定します。詳しくは、"イオナイザ取扱説明書"をご覧ください。 • オプションを接続しているときに表示されます。
LTモード		ON / OFF	OFF	インクの柔軟性が必要なときに設定します。ただし条件があります。☞ 「LTモード」（P. 116） *プリントしたあとに、性能（ベタつき、臭気など）を確認してください。
設定リセット		-	-	設定した内容を初期化します。

*1. お買い上げ時は下線の値に設定されています。

*2. RIP用 ソフトウェア（ホスト） から設定できない、もしくは本機を優先設定しているときに使用される値です。

Temporaryの使い方

"Temporary"は、一度だけ違う条件でプリントしたい場合に設定します。登録済みの"設定1～4"の一部を変更して使いたいときや、"Temporary"のプリント条件を"設定1～4"に登録することもできます。



- "Temporary"で設定した内容は、電源を再起動すると初期化され、"設定1"が選ばれた状態になります。

● "Temporary"に"設定1～4"の内容をコピーする

"設定1～4"の登録内容の一部を変更して使用することができます。

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [設定]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ 設定タイプが表示されます。
 - 2 [Temporary]を選択する。
 - ・ 設定メニューが表示されます。☞ 「設定メニュー」 (P. 112)
 - 3 [設定リセット]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - 4 [コピー]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ コピー元の選択画面が表示されます。
 - 5 コピー元（設定1～4）を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ コピー確認画面が表示されます。
 - 6 [ENTER]キーを押す。
 - ・ コピー元の設定内容が、“Temporary”にコピーされます。
- ”設定1～4”に“Temporary”の内容をコピーする
- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [設定]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ 設定タイプが表示されます。
 - 2 [Temporary]を選択する。
 - ・ 設定メニューが表示されます。☞ 「設定メニュー」 (P. 112)
 - 3 [設定保存]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ 保存先選択画面が表示されます。
 - 4 保存先（設定1～4）を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ 保存確認画面が表示されます。
 - 5 [ENTER]キーを押す。
 - ・ “Temporary”の設定内容が、保存先にコピーされます。

設定タイプ名称の変更方法

設定タイプの名称を変更することができます。登録できる文字は、英数字および記号が使用することができます。

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [設定]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ 設定タイプが表示されます。
- 2 設定1～4を選択して、[FUNC2]キーを押す。
 - ・ 名称変更画面が表示されます。
- 3 お好きな名称を入力して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ 設定タイプの名称が変更されます。

LTモード

LTモードが有効になる条件は、以下のとおりです。

インク種類	インクセット	解像度	パス数	メディア
LUS-170, ELS-170	4色	300×900	6パス	塩ビ
				ターポリン
		600×600	8パス	塩ビ
				ターポリン
	6色	300×900	12パス	塩ビ
				ターポリン
		600×600	16パス	塩ビ
				ターポリン

5.2 メンテナンスメニュー

メンテナンスにお使いいただくメニューです。そのほかにクリーニングやノズル洗浄をしてもノズル詰まりが直らないときに使用するノズルリカバリ機能を設定することができます。

● メニュー一覧

項目		設定値 ^{*1}	内容
ステーションメンテ		-	キャリッジを移動させて、ステーションやプリントヘッド周辺のメンテナンスをします。
	キャリッジアウト	-	
	ステーションメンテ	-	キャップやワイパー、NCUなどステーション周辺を清掃します。  「ワイパーの清掃」 (P. 137)  「キャップゴムの清掃」 (P. 139)  「NCUの清掃」 (P. 140)
	ヘッドメンテナンス	-	プリントヘッド周辺を清掃します。  「キャリッジ底面の清掃」 (P. 141)  「メディアセンサーの清掃」 (P. 144)  「ミストフィルターの清掃」 (P. 142)  「ミストフィルターの交換」 (P. 152)
	ノズル洗浄	-	プリントヘッドのノズル面をメンテナンス液で浸して、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）を復旧します。  「プリントヘッドのノズル洗浄」 (P. 167)
ポンプチューブ洗浄		-	吸引ポンプチューブ（キャップ下）を洗浄します。  「インク排出経路の洗浄」 (P. 143)
保管洗浄		-	本機を長期間使わないときに実施します。ノズル洗浄と排路洗浄をして、本機を快適な状態に保ちます。  「長期間使用しないときは」 (P. 147)
ワイパー交換		-	ワイパーの交換をするときに使用します。ワイパー交換をすると、本機で管理されていたワイパー使用回数が初期化されます。  「ワイパーの交換」 (P. 150)
ノズルリカバリ		-	ノズル洗浄などメンテナンスしても吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が直らない場合、他のノズルを使用してプリントさせることができます。
	プリント	-	パターンをプリントして、ノズルの状態を確認、登録します。  「ノズルリカバリーを登録する」 (P. 118)
	登録	-	パターンをプリントせずに、ノズルを登録します。
	リセット	-	設定した内容を初期化します。
	テストプリント	ON / OFF	テストプリントにノズルリカバリーをしてプリントをするかどうかを設定します。（F/W ver.2.5以降より対応）
オートメンテナンス		-	各種メンテナンスを自動で実行するように設定できます。各メンテナンスを実行する間隔を設定してください。 ・ワーニングメッセージ"廃インクタンク交換"が表示されていると、オートメンテナンス機能が実行できません。 「廃インクタンクの交換」 (P. 159) ・オートメンテナンス機能とは別に、"スリープ負圧かけ直し"機能がスリープモードで実行されます。"スリープ負圧かけ直し"機能とは、スリープしているときに、ヘッド内の負圧を保持するた

項目		設定値 ^{*1}	内容
			めに定期的に負圧をかけています。はじめの1時間は15分間隔、それ以降は30分間隔で、「スリープ負圧かけ直し」機能を実行しています。（F/W ver.2.8以降より対応）
	リフレッシュ	0.5 ~ <u>4.0</u> h	リフレッシュをする間隔を設定します。 ・ プリントヘッドのノズルから、少量のインクを吐出します。ノズル詰まりを防止する効果があります。
	クリーニング間隔	1 ~ <u>12</u> h	ヘッドクリーニングをする間隔を設定します。 ・ プリントヘッドをクリーニングします。ノズル詰まりを防止する効果があります。
	クリーニングタイプ	ノーマル / <u>ソフト</u> / ハード	ヘッドクリーニングをするときのクリーニングタイプを設定します。
インク充填		-	インクを充填して、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）を解消します。
廃インクタンク交換		-	廃インクタンクの使用カウントを初期化、もしくは補正します。  「 廃インクタンクの交換 」（P. 159）
オーバーフローメンテ		-	エラー「インクオーバーフロー」が表示されたときに実行します。 ・ サブタンク内の過剰なインクを排出して、インクオーバーフローを解消します。 ・ 1回で解消されないときは、繰り返し実行してください。3回繰り返しても解消されない場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
空気抜き		-	インクが混色してしまったときや、空気の混入によるノズル詰まりが発生したときに使用します。キャリッジの手前に付いているポートから、プリントヘッド内のインクや空気を抜き出します。  「 インクが混色した 」（P. 169）

*1. お買い上げ時は下線の値に設定されています。

ノズルリカバリーを登録する

ノズル洗浄などメンテナンスしても吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が直らない場合、他のノズルを使ってプリントさせることができます。



- ・ ノズルリカバリーを1ノズル列あたり10個まで登録できます。ノズルリカバリーを設定しても、プリント時間は変わりません。



- ・ 幅500mm以上のメディアをセットしてください。幅500mm未満のメディアをセットした場合、プリントが途切れてしまうおそれがあります。

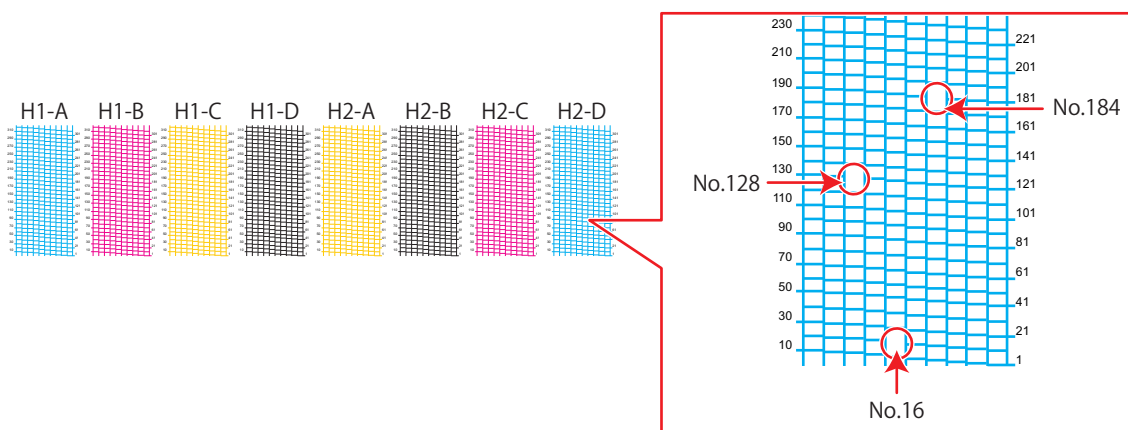
1 メディアをセットする。

2 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・ メンテナンスメニューが表示されます。

3 [ノズルリカバリ]>[プリント]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・ ノズルリカバリパターンをプリントします。
- ・ プリントが終了したあとに、登録ノズル選択画面が表示されます。



- ・ 6色インクセットの場合、"H1-B"と"H1-D"はプリントされません。

4 ノズルリカバリをしたい”ヘッド番号-ノズル列番号”を選択して、[ENTER]キーを押す。

The screenshot shows the '登録ノズル選択' screen with a list of nozzle selections. The 'ヘッド番号' (Head Number) is 'Head1' and the 'ノズル列番号' (Nozzle Column Number) is 'A'. The list includes Head1 A, Head1 B, Head1 C, Head1 D, and Head2 A. Navigation buttons '<<' and '>>' are at the bottom.

5 ノズルリカバリをしたい”ノズル番号”を入力して、[ENTER]キーを押す。

- ・ 登録先の番号を選択してから、"ノズル番号"を入力します。
- ・ ノズルリカバリが設定されます。

The screenshot shows the 'Head2-D' screen with a list of nozzle numbers. The '登録先番号: 1~10' (Registered Number: 1~10) is 'No.1' and the 'ノズル番号' (Nozzle Number) is '16'. The list includes No.1, No.2, No.3, No.4, and No.5. Navigation buttons '<<' and '>>' are at the bottom.

6 登録が終了したあとに、[ENTER]キーを押す。



- ・ [メンテナンス]>[ノズルリカバリ]>[テストプリント]をONに設定すると、ノズルリカバリされてテストプリントされます。(FW ver.2.5以降より対応) 「テストプリントをする」(P. 71)

5.3 マシン設定メニュー

本機を快適にお使いいただくために各種オペレーションを設定することができます。

● メニュー一覧

項目	設定値 ^{*1}	内容
オートパワーオフ	しない / 10 ~ 30 ~ 600min	自動で電源を切る時間を設定します。
巻取ユニット	-	巻き取りユニットの動作を設定できます。
巻取ユニット	ON / OFF	巻き取りユニットを使わない場合は、OFFにしてください。
巻取スイッチ	継続 / 一時	ローカルモードで、巻き取りユニットのON / OFFボタンの動作を設定します。 - 継続：ボタンを押すごとに、巻き取りユニットが回転、停止を繰り返します。 - 一時：ボタンを押している間だけ、巻き取りユニットが回転します。スイッチを放すと、回転が止まります。
メディア残量	ON / OFF	リモートモードでロールメディア残量を表示、プリントすることができます。リーフメディアの場合は、プリント長が表示されます。 - ON：メディア幅検出後に、入力画面が表示されます。▲ ▼を押して、メディアの長さを設定します。 “原点設定”画面で[FUNC3]キーを押すと、日付とメディア残量をプリントすることができます。 - OFF：メディア残量は表示されません。
メディア検出	-	メディア幅の検出方法を設定します。
検出方法	AUTO / MANUAL	- AUTO：センサーを使って、メディアの幅を自動で検出します。 - MANUAL：▲ ▼を押して、メディアの幅を手動で決定します。 - 黒いカッティングシートなど、センサーで検出できないメディアを使用する場合、“MANUAL”に設定してください。
使用PR確認	ON / OFF	メディア幅検出後、使用するピンチローラー数を入力する画面を表示させるかどうかを設定します。 - ON：入力画面を表示します。 - OFF：“ホスト”の指示を優先します。本機でピンチローラー圧の設定をする場合は“OFF”にしてください。  「ピンチローラーの圧力と使用個数を設定する」 (P. 70)
LANGUAGE	English / 日本語 / 中文 / Turkce	表示言語を設定します。
時刻設定	-20h ~ 0 ~ +4h	現在の日付と時刻を設定します。（日本時間基準） -20 ~ +4 時間の間で設定できます。
単位 / 温度	°C / °F	温度の表示単位（摂氏/華氏）を設定します。
単位 / 長さ	mm / inch	長さ、面積の表示単位を設定します。 “inch”に設定しても、“mm”単位で表示している項目もあります。
キーブザー	ON / OFF	キーを押したときのブザー音を設定します。 “OFF”に設定しても、エラー / 警告 / 動作完了等のブザー音を消すことはできません。
確認フィード	ON / OFF	テストプリントなどのプリント結果を確認するために、メディアを前方向にフィードさせるかどうかを設定します。

項目		設定値 ^{*1}	内容
余白フィード方式		間欠 / 連続	画像データに含まれる余白部分のフィード方式を変更します。 ・ 間欠：バス分割単位での間欠フィード動作する。 ・ 連続：データがない部分を一度にフィードする。
ネットワーク		-	ネットワークのアドレスを設定します。設定を有効にするには、本機の再起動が必要です。
	IPアドレス確認	-	本機が使用中のIPアドレスが表示されます。 ・ IPアドレスが確定するまで、時間がかかります。IPアドレスが未確定の場合、"0.0.0.0"と表示されます。
	MACアドレス確認	-	本機が使用中のMACアドレスが表示されます。
	DHCP	ON / <u>OFF</u>	"ON"の場合、DHCPサーバーより与えられたIPアドレスが使用されます。
	AutoIP	ON / <u>OFF</u>	"ON"の場合、AutoIPプロトコルにより使用するIPアドレスが決定されます。ただし、DHCPが"ON"の場合は、DHCPが優先されます。
	IPアドレス	-	本機が使用するIPアドレスを設定します。 ・ [DHCP]、[AutoIP] が両方とも"OFF"の場合に設定することができます。
	デフォルト ゲートウェイ	-	本機が使用するデフォルトゲートウェイを設定します。 ・ [DHCP]、[AutoIP] が両方とも"OFF"の場合に設定することができます。
	DNS アドレス	-	本機が使用するDNSサーバーのアドレスを設定します。 ・ [DHCP]、[AutoIP] が両方とも"OFF"の場合に設定することができます。
	サブネット マスク	-	本機が使用するサブネットマスクの桁数を設定します。 ・ [DHCP]、[AutoIP] が両方とも"OFF"の場合に設定することができます。
イベントメール		-	イベント（プリントの開始や終了、中断など）が発生したときに、設定したメールアドレスにメールを送信させることができます。設定を有効にするには、本機の再起動が必要です。🔗 「イベントメール機能の設定」 （P. 122）
	メール送信	ON / <u>OFF</u>	イベントメールを送信するかどうかを設定します。
	送信イベント選択	-	
	プリント開始	ON / <u>OFF</u>	プリント開始時にメールを送信するかどうかを設定します。
	プリント終了	ON / <u>OFF</u>	プリント終了時にメールを送信するかどうかを設定します。
	プロット開始	ON / <u>OFF</u>	カット開始時にメールを送信するかどうかを設定します。
	プロット終了	ON / <u>OFF</u>	カット終了時にメールを送信するかどうかを設定します。
	エラー	ON / <u>OFF</u>	エラー発生時にメールを送信するかどうかを設定します。
	ワーニング	ON / <u>OFF</u>	ワーニング発生時にメールを送信するかどうかを設定します。
	その他	ON / <u>OFF</u>	上記以外のイベント発生時にメールを送信するかどうかを設定します。
	メールアドレス	-	送信先メールアドレス（英数字、記号、96文字以内）を設定します。
	件名	-	件名に記載する文字（英数字、記号、8文字以内）を設定します。
	サーバー設定	-	

項目		設定値 ^{*1}	内容
	SMTPアドレス	-	SMTPサーバーを設定します。
	SMTPポートNo.	-	SMTPのポート番号を設定します。
	送信元メールアドレス	-	送信元メールアドレス（英数字、記号、64文字以内）を設定します。 ・サーバーのアカウントに対応したメールアドレスを設定すると、メールを送信させることができます。
	認証方式	OFF / POP before SMTP / SMTP 認証	SMTP サーバーの認証方式を設定します。
	ユーザー名	-	認証に使用するユーザー名を設定します（英数字、記号、30 文字以内）。 ・[認証方式]が"OFF"以外を選択したときに設定することができます。
	パスワード	-	認証に使用するパスワードを設定します（英数字、記号、15 文字以内）。 ・[認証方式]が"OFF"以外を選択したときに設定することができます。
	POP3アドレス	-	POPサーバーを設定します。 ・[認証方式]が"POP before SMTP"の場合に設定することができます。
	APOP	-	APOPのON / OFFを設定します。 ・[認証方式]が"POP before SMTP"の場合に設定することができます。
テストメール送信		-	テストメールを送信します。  「テストメール送信」 (P. 123)
リセット		-	設定した内容を初期化します。

*1. お買い上げ時は下線の値に設定されています。

イベントメール機能の設定

イベント（プリントの開始や終了、中断など）が発生したときに、設定したメールアドレスにメールを送信することができます。



- ・SSL（Secure Socket Layer）暗号化通信には対応していません。



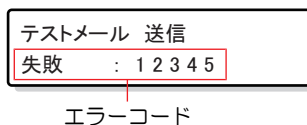
- ・イベントメール機能を使用するには、LANケーブルを接続してください。
 [「LANケーブルを使う」](#) (P. 38)

免責事項

- ・メール通知、その他インターネットの通信費用は、お客様負担となります。
- ・インターネット環境や機器の不具合などの要因により、イベントメールが届かないことがあります。不達や遅延などにおいて発生した損害について、当社では責任を負いかねます。

テストメール送信

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [マシン設定]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・マシン設定メニューが表示されます。
- 2 [イベントメール] > [テストメール送信]を選択して、[ENTER]キーを押す。
- 3 [ENTER]キーを押す。
 - ・送信結果が表示されます。
 - ・テストメールの送信に失敗した場合、エラーコードが表示されます。エラーコード一覧表を参照して、対処してください。



- ・送信が完了してもメールが届かないことがあります。メールを受信する端末側で、迷惑メールフィルターなど設定していないかどうかを確認してください。
- ・サーバーの設定等については、ネットワーク管理者、またはプロバイダーにご相談ください。

- 4 テストが終了したあとに、[ENTER]キーを押す。

● エラーコード一覧

エラーコード	予想される原因	対処方法
10	ネットワークの接続エラーです。	・本機がネットワークに接続されているかどうかを確認してください。 ・本機のIPアドレスを確認してください。 ・本機がDNSを利用できる環境であるかどうかを確認してください。
20	有効なメールアドレスがありません。	・正しいメールアドレスを入力してください。
11003 11004	POPサーバーが見つかりません。もしくはDNSサーバーにアクセスできません。	・POPサーバーのアドレスを確認してください。 ・本機がDNSを利用できる環境であるかどうかを確認してください。
11021	POPサーバーに接続できません。	・POPサーバーの設定を確認してください。 ・ファイアウォールの設定を確認してください。
12010	POPサーバーからエラーが返答されました。	・POPサーバーの設定を確認してください。
13000	POP認証に失敗しました。	・ユーザー名とパスワードを確認してください。 ・APOPの設定を確認してください。 ・認証方式を確認してください。
10013 10014	SMTPサーバーが見つかりません。もしくはDNSサーバーにアクセスできません。	・SMTPサーバーのアドレスを確認してください。 ・本機がDNSを利用できる環境であるかどうかを確認してください。
10021	SMTPサーバーに接続できません。	・SMTPサーバーの設定を確認してください。 ・SMTPポート番号を確認してください。 ・ファイアウォールの設定を確認してください。

エラーコード	予想される原因	対処方法
10*** 11*** 20*** 21***	SMTPサーバーからエラーが返答されました。もしくは応答がありません。	- SMTPサーバーの設定を確認してください。 - SSL通信が必須のサーバーとは通信できません。 - プロトコルフィルターの設定を確認してください。
12***	無効な送信元メールアドレスです。	サーバーのアカウントに対応したメールアドレスを設定してください。
13***	メールの宛先が見つかりません。もしくは無効なメールアドレスです。	- メールアドレスを確認してください。 - メールアドレスに間違いがあっても、本エラーが検出できない場合があります。 - サーバーのアカウントに対応したメールアドレスを設定してください。
22000 22008	SMTP認証エラー。	認証方式を確認してください。
23*** 24*** 25***	SMTP認証に失敗しました。	ユーザー名とパスワードを確認してください。

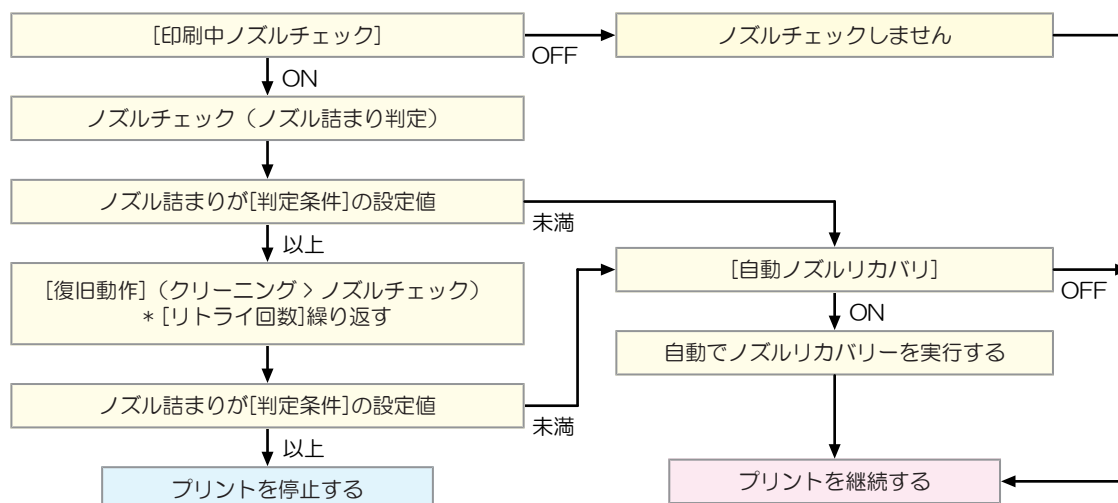
1. ***はメールサーバーから返答されたエラーコード



- エラーが解消されない場合、時間をおいてから試してください。

5.4 ノズルチェックメニュー

プリント前にノズル詰まりがあるかどうかをチェックします。ノズル詰まりがあった場合、自動でメンテナンス機能を実行させるかどうかを設定します。



● メニュー一覧

項目	設定値 ^{*1}	内容
印刷中チェック	ON / OFF	プリント開始前に自動でノズル詰まり検出動作を実行します。
チェック間隔	-	ノズル詰まり検出動作のタイミングを設定します。
距離	0.1 ~ <u>30.0</u> ~ 50.0m	設定した距離に達したあとに、次のプリントが開始されるタイミングでノズル詰まり検出動作を実行します。
ファイル	1 ~ <u>30</u> ~ 100 ファイル	設定した数のファイルをプリントしたあとに、次のプリントが開始されるタイミングでノズル詰まり検出動作を実行します。
復旧動作	-	"ノズル詰まり"と判定された場合、復旧動作（クリーニング>ノズルチェック）を実行します。
クリーニング	<u>ソフト</u> / ノーマル / ハード	クリーニングタイプを設定します。
リトライ回数	<u>0</u> ~ 3回	指定回数分、復旧動作（クリーニング>ノズルチェック）を実行します。
自動ノズルリカバリ	ON / OFF	"ノズル詰まり"と判定された場合、自動でノズルリカバリを実行します。手動で設定したいときは、以下を参照してください。 ☞ 「ノズルリカバリを登録する」 (P. 118)
判定条件 ^{*2}	OFF / <u>1</u> ~ 64 ノズル	"ノズル詰まり"と判定するノズル数を設定します。1 ノズル列あたり16ノズルまで設定することができます。 連続プリント中に"ノズル詰まり"と判定された場合、次のプリントは開始されません。

*1. お買い上げ時は下線の値に設定されています。

*2. ノズルリカバリが適用されないプリント条件があります。



- ノズルチェックを実行中にエラーが発生した場合、次のプリントを自動で停止して、[印刷中チェック]が"OFF"に変更されます。エラーを解消したら、[印刷中チェック]を手動で"ON"に設定してください。

5.5 情報メニュー

本機の各種情報を確認することができます。

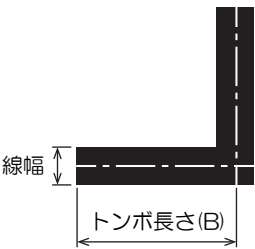
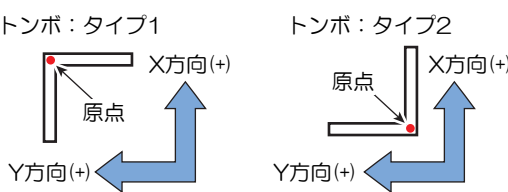
● メニュー一覧

項目		内容
使用状況	ワイピング	ワイピングした回数が表示されます。 ・表示中に[FUNC2]キーを押すと、使用回数を初期化することができます。
	廃インクタンク	廃インクタンクに溜まっている廃インク量の目安（%）が表示されます。 ・表示中に[FUNC1]キーを押すと、廃インク量を初期化することができます。
	プリント長	累積されたプリント長が表示されます。
	プリント面積	累積されたプリント面積が表示されます。
	使用時間	累積された電源オンの時間が表示されます。
	UVランプ	累積されたUVランプ照射時間が表示されます。
バージョン		本機のファームウェア、その他のバージョンが表示されます。
インク交換レポート		インクの履歴をプリントします。
エラー履歴		エラー、ワーニングの履歴が表示されます。 ・発生順に発生日時とエラー、ワーニング情報をキー操作で切り替えて表示します。
リスト		本機の情報をプリントすることができます。

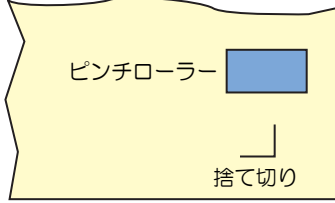
5.6 カッティングメニュー

カッティング機能に関する各種オペレーションを設定することができます。

● メニュー一覧

項目	設定値 ^{*1}	内容
トンボ検出	-	プリントしたトンボの条件を入力します。
検出	ON / OFF	トンボ付きデータをカットする場合は、ONに設定します。
形状	タイプ1 / タイプ2 / 余白なしトンボ	3種類のトンボの形状から選択します。 ☞ 「トンボについて」 (P. 102)
サイズ	5 ~ 40 mm	トンボ1辺の長さ (B) を設定します。  ☞ 「トンボの長さと言幅の目安」 (P. 103)
Xオフセット	-5.00 ~ 5.00 mm	トンボ原点の位置を変更します。カットが同一方向にずれてしまう場合は、原点の位置を変更してください。  • "エラーC37 トンボ原点" が表示された場合、以下を参照してレイアウトを変更してください。 ☞ 「トンボの読み取り範囲」 (P. 105)
Yオフセット	-5.00 ~ 5.00 mm	
トンボ検出ENDキー起動	ON / OFF	ローカルモード画面で[END]キーを押すと、カッターユニットがブラテン上に移動して、トンボ検出ができるようになります。
センサー感度	1 ~ 7	トンボセンサーの感度を変更します。通常は、"4"でお使いください。 • トンボが検出できないとき：感度を上げる。 • トンボを誤検出してしまうとき：感度を下げる。
塗り潰しトンボ	ON / OFF	弊社RIP用ソフトウェアの機能"トンボ周りを塗りつぶす"を設定した場合、"ON"に設定してください。
検出エリア	-	自動でトンボを検出するエリアを設定します。

項目		設定値 ^{*1}	内容
	スキャン方向	DEFAULT / 0cm ~ 装置幅	自動で検出するスキャン方向の範囲を設定します。 ・ [DEFAULT]に設定すると、メディア幅の半分を検出します。
	フィード方向	10 ~ 50cm	自動で検出するフィード（メディア送り）方向の範囲を設定します。
	Xオフセット	0 ~ 100cm	次のトンボの自動検出開始位置を設定します。
カットモード		標準 / 高速 / 高品位	カッティングの品質を設定します。 - 標準：通常は、“標準”でお使いください。 - 高速：短時間でカッティングできます。重いメディアの使用には適していません - 高品位：カッティング品質を優先して、速度が20cm / sに制限されます。以下のようなデータをカッティングする場合は、“高品位”を選択してください。 10mm以下の文字 - 鋭角部分が多いデータ - 微細なデータ（ただし、データによっては、カットラインがギザギザになってしまうおそれがあります。その場合は“高速”に変更すると、滑らかなカットラインにすることができます）
コピー		-	本機の受信バッファに保存されているデータを指定数カットさせることができます。 「直前のデータをコピーする」 (P. 130)
	コピー数	1 ~ 999	コピーする枚数を入力します。
	間隔	0 ~ 30 mm	カットするデータの間隔を選択します。
ツール交換		-	ツールを交換するときに選択します。 「カッティングツールを取り付ける」 (P. 86)
設定サブメニュー		-	カッティングに使う便利な機能です。
	アップスピード	-	
	アップスピードX	AUTO / 5 ~ 30 cm / s	ツールが上がっているときのメディアとキャリッジの移動速度を設定します。 スピードを遅く設定すると、フィード方向のメディアずれを軽減できます。
	アップスピードY	AUTO / 5 ~ 30	ツールが上がっているときのメディアとキャリッジの移動速度を設定します。
	捨て切り	ON / OFF	メディア検出後や、ツールタイプが変更されたときなどに、メディアを切って刃先が一定方向に向くようにします（カッターユニットから左右のメディア端に近い方のピンチローラの手前で捨て切りをします）。

項目		設定値 ^{*1}	内容
			 メディアを傷つけないときや抜き文字をカットするときは、OFFに設定してください。テストカットをすると刃先方向を合わせることができます。🔗「テストカットをする」(P. 95) ツール条件に"PEN"を選択しているときは、実行されません。
シート設定		普通 / 重い	セットするメディアの重さを設定します。
補正圧オフセット		-9 ~ 0 ~ 9	角をカットしたときに、メディアがめくれないように圧力（5g程度）を下げてカットしています。そのため刃先がスムーズに回転できずに角に切り残しが発生することがあります。角に切り残しがある場合は、角をカットするときの圧力を調整します。
吸着ファン		弱 / 標準 / 強 / OFF	カッティング中のメディアを吸着する強さを設定します。通常は"弱"で使用してください。
オーバーカット		OFF / 0.1~1.0mm	開始点と終了点をオーバーラップさせて、メディアの切り残しをなくします。 🔗「 切り残しをなくす 」(P. 130)
コーナーカット		ON / OFF	開始点と終了点以外のコーナーもオーバーカットをします。 🔗「 切り残しをなくす 」(P. 130)
カーブモード		FAST / SLOW	カットラインがよれてしまった場合、"SLOW"に設定します。よれを防止することができますが、カッティング速度は低下します。
設定リセット		-	設定した内容を初期化します。
メンテナンス		-	
トンボセンサー		-	
センサーチェック		-	トンボセンサーの反応を確認します。 🔗「 トンボセンサーの位置を調整する 」(P. 173)
ポインタオフセット		-	トンボセンサーとライトポインタの位置関係があていないとき、ライトポインタの位置を補正します。 🔗「 LEDポインタの位置を補正する 」(P. 174)
サンプルカット		-	正常にデータをカットできない場合など、本機に保存されているサンプルをカットして、異常の原因を調べます。 🔗「 カッティングができない原因を調査する 」(P. 175)
オートメディアカット		-	一定の長さにメディアを複数枚カットします。
カット間隔		10 ~ 10,000 mm	カットしたい長さを設定します。
先端カット合わせ		0 ~ 500 mm	メディアの前端が斜めにカットされている場合などに、メディアの前端を切り落とすことができます。カットしたい長さを設定します。
回数		1 ~ 9,999 回	カットしたいメディアの枚数を設定します。
スケール補正		-	
Y600dpi		-	トンボなし"プリント&カット"をする場合のメディア右側と左側でのスキャン方向のズレを補正します。

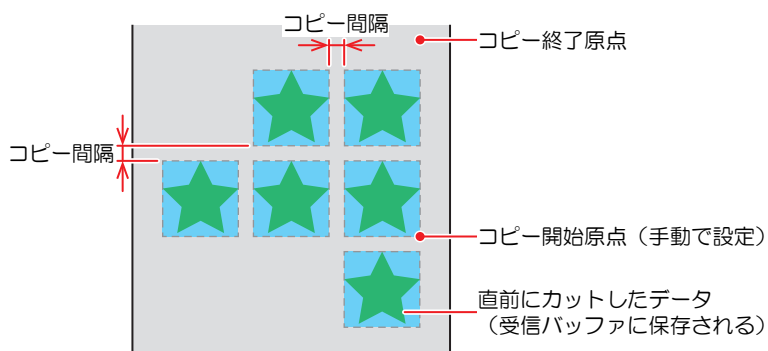
項目		設定値 ^{*1}	内容
	Y1200dpi	-	

*1. お買い上げ時は下線の値に設定されています。

直前のデータをコピーする

本機の受信バッファに保存されているデータを指定数（最大999枚）カットすることができます。

- 受信バッファには、直前にカッティングされたデータが1つ保存されています。新しいデータを受信すると、それまで保存されていたデータに上書きされます。
- コピー機能を実行する前に、原点を再設定してください。原点を再設定しないと、直前のデータに重なってカットされます。



- 分割カットデータは、分割せずに指定した枚数分カットします。



- 弊社カッティング用ソフト"FineCut"をお使いの場合は、"ヘッド送り方向の原点を更新する"のチェックを外してください（初期値はオフ）。チェックを入れると、直前のデータに重なってカットされます。
- コンピューターからカットデータを送信するときは、5秒以上経過してから次のデータを送信してください。5秒以内に次のデータを送信すると、2つのデータがコピーされてしまうおそれがあります。

切り残しをなくす

開始点と終了点をオーバーラップさせて、メディアの切り残しをなくすことができます。たわみやすいメディアなどで設定してください。設定値を大きくしすぎると、成果物までカットしてしまいますので、テストカットをして確認しながら、設定値を変更してください。

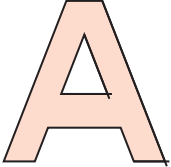
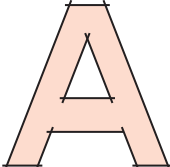
● オーバーカット

カッティング開始点の手前から設定値分カットします。終了点では設定値分オーバーカットします。

オーバーカット：OFF			オーバーカット：0.1～1.0mm		

● コーナーカット

オーバーカットに設定値を入力すると、コーナーカットが表示されます。開始点と終了点以外のコーナーもオーバーカットします。

コーナーカット：OFF	コーナーカット：ON
	

第6章 メンテナンス



この章では...

本機の精度を保ちながら末永くお使いいただけるように、使用頻度に応じて定期的にお手入れをしてください。

メンテナンスに関する注意事項をよくお読みになってから、お手入れをしてください。

メンテナンスに関するご注意.....	134	消耗品の交換.....	150
メンテナンスの方法.....	135	ワイパーの交換.....	150
メンテナンス項目とタイミング.....	135	キャップ吸収材の交換.....	151
インクのメンテナンス.....	137	ミストフィルターの交換.....	152
ワイパーの清掃.....	137	LEDガラスの交換.....	153
キャップゴムの清掃.....	139	排気ファンフィルターの交換.....	154
NCUの清掃.....	140	ピンチローラーの交換.....	155
キャリッジ底面の清掃.....	141	メディア押さえの交換.....	156
ミストフィルターの清掃.....	142	メディア裁断カッターの交換.....	158
インク排出経路の洗浄.....	143	廃インクタンクの交換.....	159
メディアセンサーの清掃.....	144	カッティング用カッター.....	162
メディア押さえの清掃.....	145	ペンラインの交換.....	162
ジャムセンサーの清掃.....	145	インクボトルキャップの交換.....	163
プラテンの清掃.....	146		
カバー（外装）の清掃.....	147		
長期間使用しないときは.....	147		

6.1 メンテナンスに関するご注意



- 定期的に交換しなければならない部品がありますので、保守契約をしていただくことをお勧めします。また品質不良や事故を未然に防ぐために、定期的にメンテナンスしたり、消耗品を交換したりしてください。

⚠ 警告



- 定期的に清掃してください。本機を長年使用していると、電気部品にゴミやホコリがたまってしまう。漏電による本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- エアブローなどエア吹き付けによる清掃はしないでください。飛散したゴミやホコリが電気部品に侵入して、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。もしくは、掃除機などで吸い取ってください。



- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

⚠ 注意



- UV-LEDユニットは非常に高温になります。LEDが消灯して十分温度が下がるまで、手を触れないように注意してください。



- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。



- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。



注記



- プリントヘッドのノズル面には、絶対に触れないでください。また、水やアルコールを付着させないでください。本機の故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- ヘッドの周辺やキャリッジの周辺を清掃するときは、綿棒を使わないでください。綿棒の繊維がヘッドノズル面に付着すると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- カバーにインクやメンテナンス液を付着させないでください。カバーの表面が変質したり、変形したりする原因になります。
- ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。部品が変質したり、変形したりする原因になります。
- キャリッジを手動で移動しないでください。キャリッジを移動したいときは、メニューからキャリッジアウトを実行してください。

6.2 メンテナンスの方法

メンテナンス項目とタイミング

UCJV300,150

タイミング	項目
1日の作業が終わったとき	ワイパーとワイパーブラケットを清掃してください。☞「ワイパーの清掃」(P. 137)
	ワイパークリーナーを清掃してください。☞「ワイパーの清掃」(P. 137)
	キャップゴムを清掃してください。☞「キャップゴムの清掃」(P. 139)
	NCUを清掃してください。☞「NCUの清掃」(P. 140)
	UV-LEDランプの底面を清掃してください。☞「キャリッジ底面の清掃」(P. 141)
	キャリッジの底面を清掃してください。☞「キャリッジ底面の清掃」(P. 141)
	ミストフィルター1 紙タオルなどで押さえて、インクを吸い取ってください。☞「ミストフィルターの清掃」(P. 142)
	メディアセンサーを清掃してください。☞「メディアセンサーの清掃」(P. 144)
	メディア押さえを清掃してください。☞「メディア押さえの清掃」(P. 145)
	ジャムセンサーを清掃してください。☞「ジャムセンサーの清掃」(P. 145)
1週間の作業が終わったとき	ワイパーのインク受けのインク吸収材 紙タオルなどで押さえて、インクを吸い取ってください。☞「ワイパーの清掃」(P. 137)
	ミストフィルター2 紙タオルなどで押さえて、インクを吸い取ってください。☞「ミストフィルターの清掃」(P. 142)
	インク排出の経路を清掃してください。☞「インク排出経路の洗浄」(P. 143)
	プラテンを清掃してください。☞「プラテンの清掃」(P. 146)
	カバー（外装）を清掃してください。☞「カバー（外装）の清掃」(P. 147)
	廃インクタンクの廃インク量を確認してください。
汚れが目立つとき	排気ファンフィルターを交換してください。☞「排気ファンフィルターの交換」(P. 154)
	排気ファンBOXを交換してください。
1週間以上使わないとき	ワイパーの清掃、キャップの清掃、インク排出経路の洗浄をしてください。清掃が終了した後は、主電源は切らずに保管してください。☞「長期間使用しないときは」(P. 147)
定期的に	インクボトルを振ってください。☞「インクのメンテナンス」(P. 137)
	インクボトルのキャップを交換してください。☞「インクボトルキャップの交換」(P. 163)

メンテナンスに必要な道具

消耗品は、販売店、またはお近くの弊社営業所にてお買い求めください。消耗品は、弊社ウェブサイト（<https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html>）にてご覧になれます。



- 消耗品を子供が立ち入るおそれのある場所に保管しないでください。
-

インクのメンテナンス

インクに含まれている成分が沈降すると、インクの濃度が不均等になってしまうおそれがあります。安定してプリントしていただくために、定期的にインクボトルを振っていただくことをお勧めします。

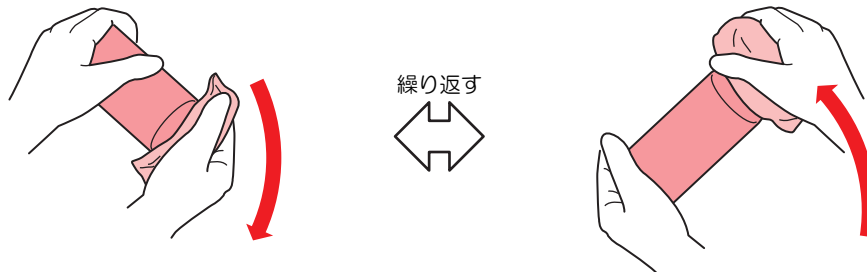
UVインク：1か月に1回程度。

ホワイトインク：1日に1回程度。

● インクボトルを振る

1 インクボトルを20回以上ゆっくりと左右に振る。

- インクボトルのフタをしっかりと締めて、推奨の不織布でインクボトルのフタを押さえて、インクを流すように左右に振ってください。



- ゆっくりと振ってください。強く振るとインクが漏れたり、インクの中に空気が入り込んでノズル詰まりになったりするおそれがあります。
- 使いかけのインクボトルの場合は、インクボトルが縦になるまで傾けてゆっくりと振ってください。

ワイパーの清掃

ワイパーは、プリントヘッドのノズル面に付着したインクを拭き取っています。汚れたまま使い続けると、固まったインクやホコリの付着したワイパーがノズル面を傷つけて、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）のおそれがあります。



- クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

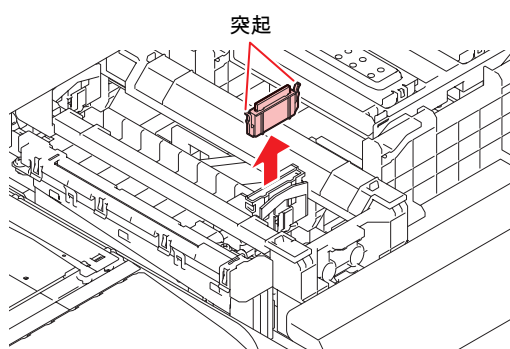
2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [ステーションメンテ]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- キャリッジがプラテン上に移動します。

3 正面カバーを開く。

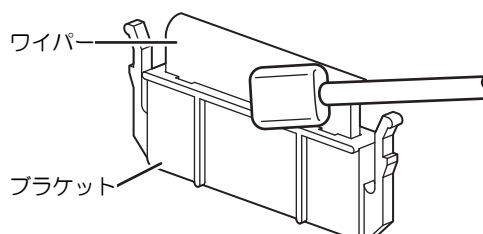
4 ワイパーを外す。

- ワイパーブラケットの両端の突起を持って引き抜きます。



5 ワイパーとブラケットを清掃する。

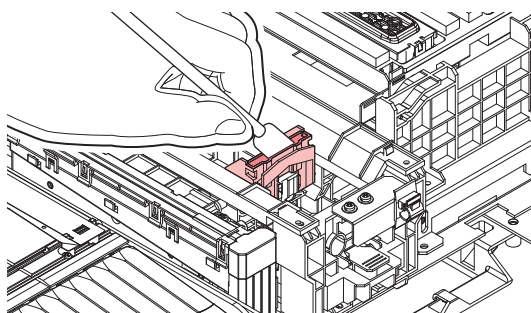
- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



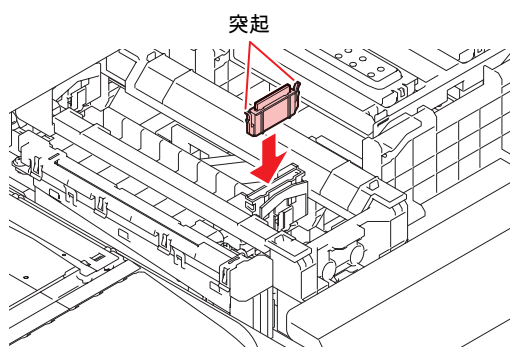
- ワイパーの汚れや反りが激しいときは、新しいワイパーに交換してください。🔗 [「ワイパーの交換」 \(P. 150\)](#)

6 ワイパースライダーを清掃する。

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。

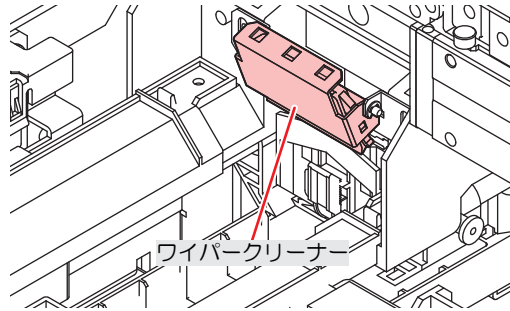


7 ワイパーを元の位置にセットする。



8 ワイパークリーナーを清掃する。

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



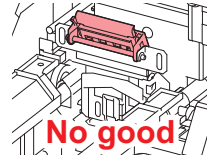
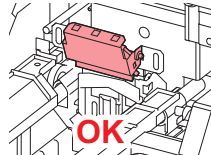
- ワイパークリーナーのワイパーは、表面だけ清掃します。裏面の清掃は必要ありません。



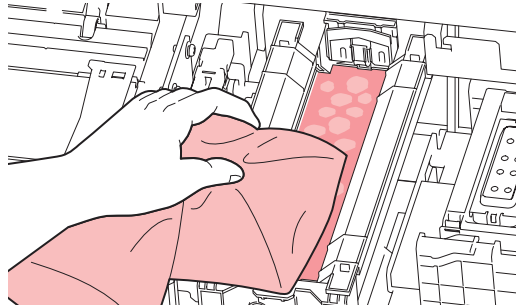
- ワイパークリーナーは、ブラケットから取り外さないでください。



- 清掃が終了したあとに、ワイパークリーナーが上を向いていないことを確認してください。



- 1週間に1回、紙タオルなどを使い、インク受けの中のインクを吸い取ってください。インクが溢れるおそれがあります。



- 吸収材ケースの中の吸収材は、取り外さないでください。インクが溢れるおそれがあります。

9 清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

キャップゴムの清掃

キャップは、プリントヘッドのノズル面を乾燥から守る役割があります。汚れたまま使い続けると、インクの吸引が正常にできなくなって、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）のおそれがあります。



- クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

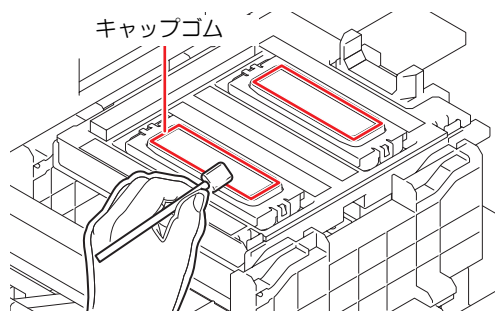
- メンテナンスメニューが表示されます。

- 2** [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [ステーションメンテ]を選択して、[ENTER]キーを押す。
- ・キャリッジがプラテン上に移動します。

- 3** 正面カバーを開く。

- 4** キャップゴムを清掃する。

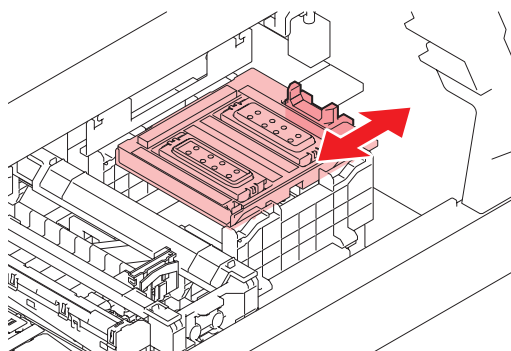
- ・メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



- 5** 清掃が終わったら、キャップスライダーの傾きを確認する。



- ・キャップスライダーが傾いている場合、スライダースブロックを左右へ動かして、傾きを直してください。



- 6** 正面カバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

NCUの清掃

NCUは、プリントヘッドのノズルから吐出インク滴をセンサーで監視しています。汚れたまま使い続けると、ノズルチェック機能が正常に動作しないおそれがあります。



- ・クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

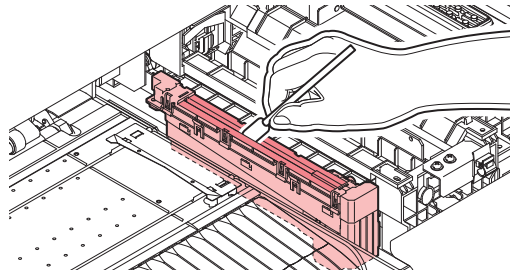
- 1** ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
- ・メンテナンスメニューが表示されます。

- 2** [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [ステーションメンテ]を選択して、[ENTER]キーを押す。
- ・キャリッジがプラテン上に移動します。

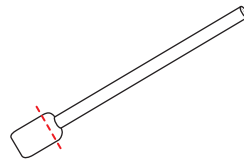
- 3** 正面カバーを開く。

4 NCUを清掃する。

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



- クリーンスティックは、イラストの位置まで挿し込んでください。



5 清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

キャリッジ底面の清掃

キャリッジ底面は、ワイパーで拭き取ったインクが付着しています。汚れたまま使い続けると、固まったインクや付着したホコリがメディアをこすり付けて、成果物を汚してしまう原因になります。

また、プリントヘッドは非常に微細なメカニズムを採用しております。お手入れの際には十分な注意が必要です。



- クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

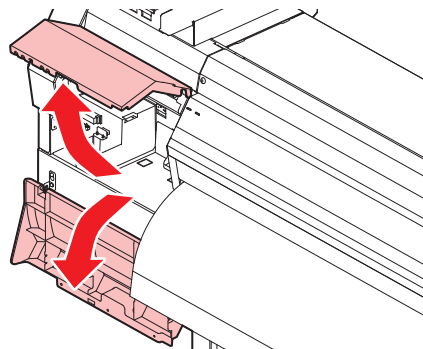
1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [ヘッドメンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

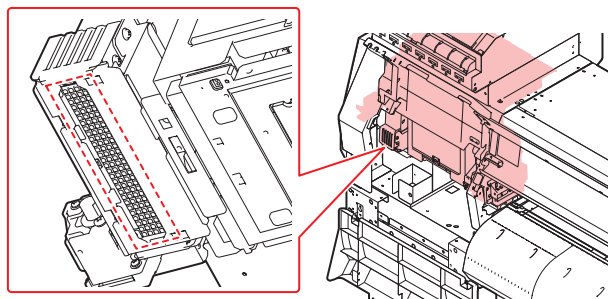
- キャリッジがメンテナンススペースに移動します。

3 メンテナンスカバーを開く。



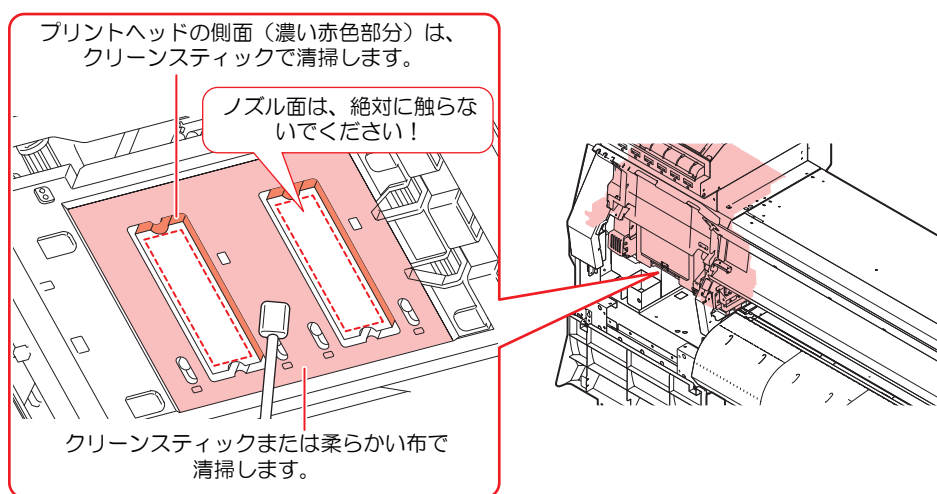
4 UV-LEDランプを清掃する。

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



5 プリントヘッド周辺を清掃する。

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。

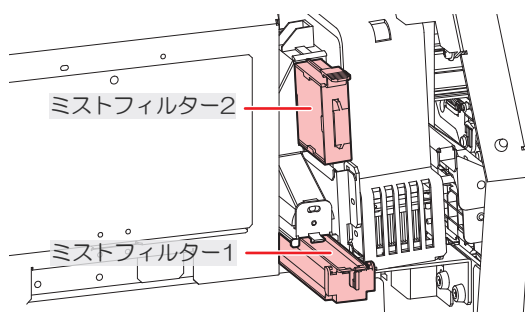


- プリントヘッドのノズル面には、絶対に触れないでください。

6 清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

ミストフィルターの清掃

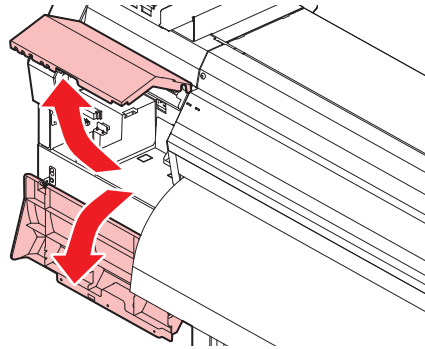
ミストフィルターは、プリントヘッドからインク滴を吐出した際に発生するミストを吸収しています。汚れたまま使い続けると、成果物を汚してしまう原因になります。



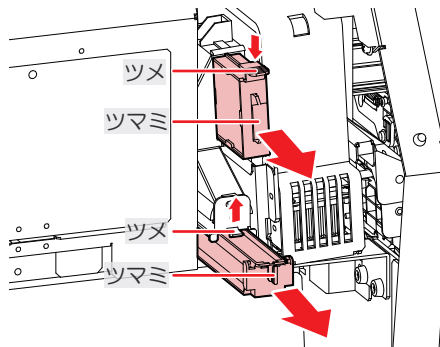
1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

- 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [ヘッドメンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ キャリッジがメンテナンススペースに移動します。
- 3 メンテナンスカバーを開く。



- 4 ミストフィルターを外す。
 - ・ ツメを矢印の方向に押しながら、ツマミを手前に引いて外します。

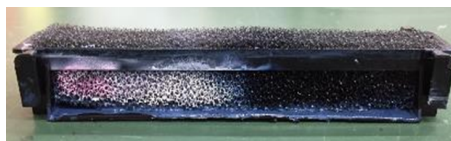


- 5 フィルターを清掃する。
 - ・ フィルターを外して、紙タオルなどで押さえて汚れを落とします。
 - ・ フィルターケースに付着した汚れを拭き取ります。



- ・ フィルターについたインクが液状化するなど、汚れがひどい場合は、フィルターを交換してください。

☞ 「ミストフィルターの交換」 (P. 152)

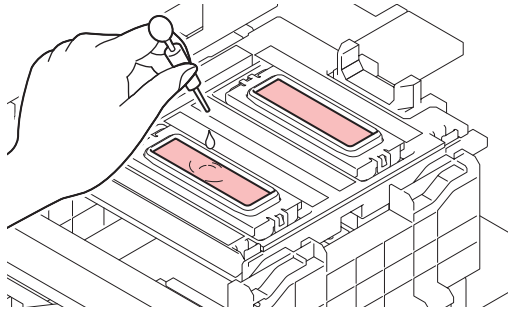


- 6 ミストフィルターを元の位置にセットする。
- 7 清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

インク排出経路の洗浄

キャップ下のインク排出経路のインク詰まりを防止するため、定期的にインク排路の洗浄をしてください。

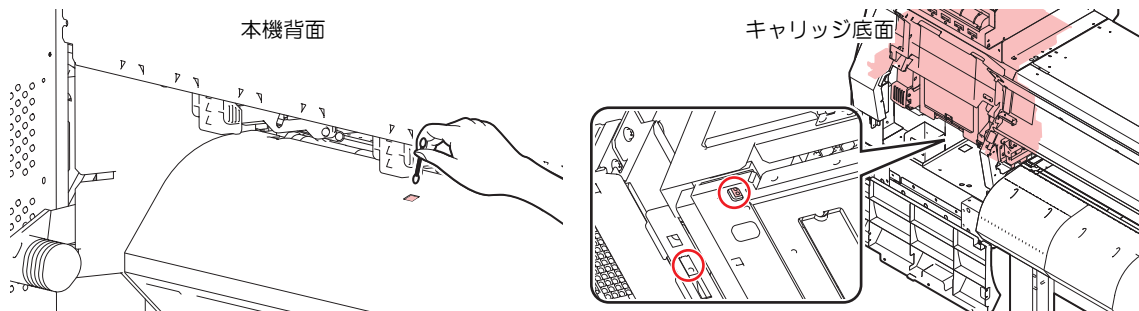
- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [ポンプチューブ洗浄]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ キャリッジがプラテン上に移動します。
 - ・ ディスプレイに"洗浄液を満たす 終了 次へ [ENT]"と表示されます。
- 3 正面カバーを開く。
- 4 キャップいっぱいメンテナンス液を満たす。
 - ・ スポイトにメンテナンス液をとって、キャップからあふれる寸前までメンテナンス液を満たしてください。



- 5 正面カバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。
 - ・ ポンプチューブ（キャップ下のインク排出経路）の洗浄を開始します。

メディアセンサーの清掃

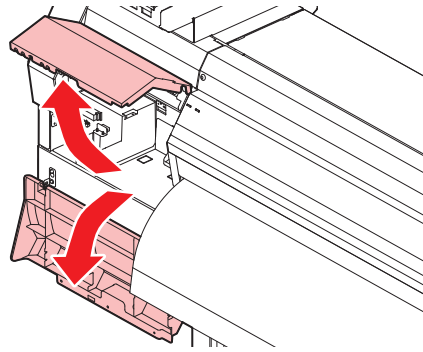
背面側のリアカバーとキャリッジ底面に、メディアセンサーが付いています。センサーにホコリやゴミがたまると、メディアの誤検出の原因になります。綿棒や柔らかい布で取り除いてください。



● キャリッジ底面のセンサーを清掃するときは

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [ヘッドメンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ キャリッジがメンテナンススペースに移動します。

3 メンテナンスカバーを開く。



4 メディアセンサーを清掃する。

5 清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

メディア押さえの清掃

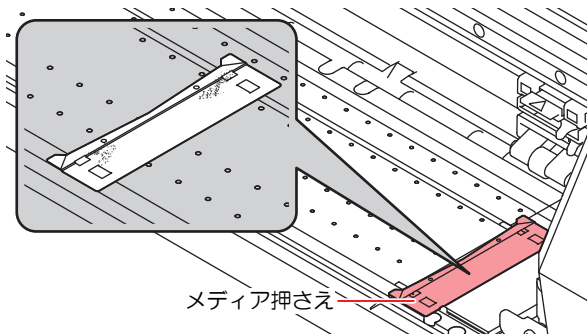


- ・ 主電源を切って電源ケーブルを抜いてからメンテナンスをしてください。



- ・ 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

汚れたまま使い続けると、メディアが正しくフィードできなくなります。また、固まったインクや付着したホコリがヘッドノズル面をこすり付け、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- ・ 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

ジャムセンサーの清掃

キャリッジ右側のUV-LEDユニット側面に、ジャムセンサーユニットが付いています。センサーユニットにインク汚れやホコリがたまると、メディアジャムの原因になります。紙タオル等で清掃してください。

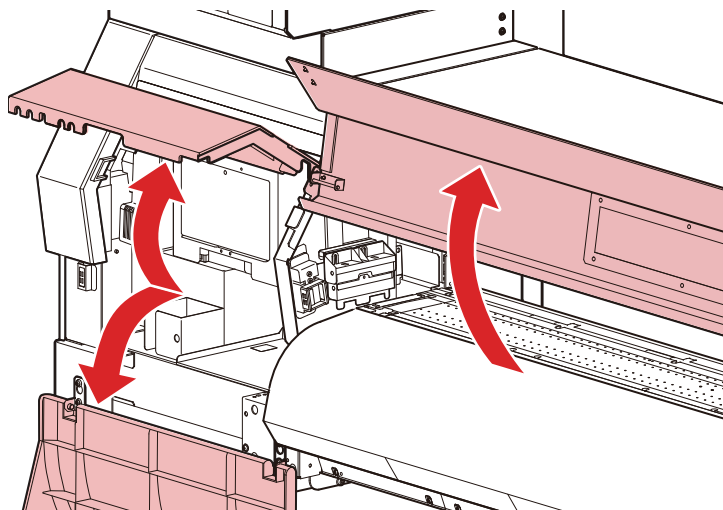
1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・ メンテナンスメニューが表示されます。

2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [ヘッドメンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

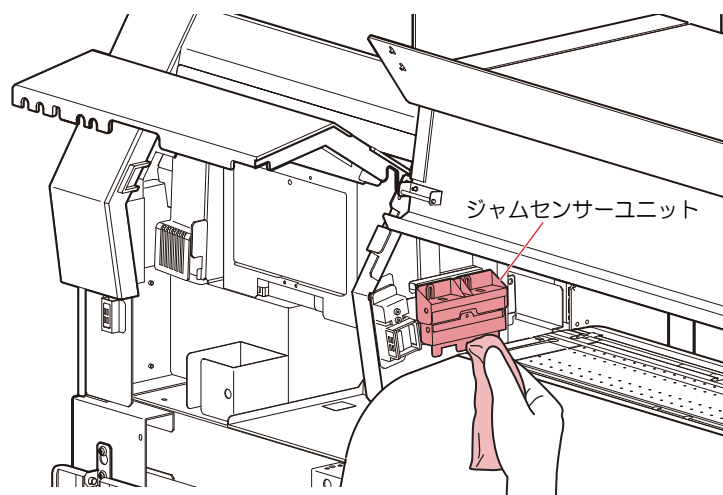
- ・ キャリッジがメンテナンススペースに移動します。

3 正面カバーとメンテナンスカバーを開く。



4 ジャムセンサーユニットを清掃する。

- ジャムセンサー下部を重点的に、正面カバー側とメンテナンスカバー側の両方から清掃してください。
- メンテナンス液を含ませた紙タオルで、付着したインクやホコリを拭き取ります。清掃後は、メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



5 清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

プラテンの清掃

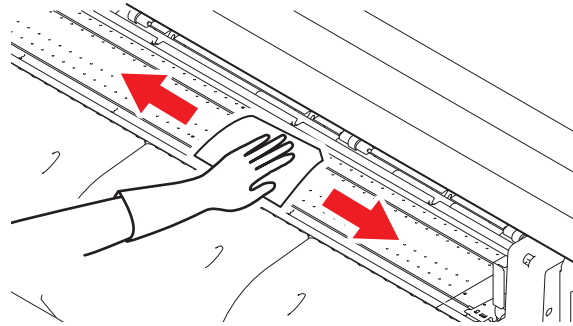


- 主電源を切って電源ケーブルを抜いてからメンテナンスをしてください。



- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

汚れたまま使い続けると、メディアが正しくフィードできなくなります。また、固まったインクや付着したホコリがヘッドノズル面をこすり付け、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- メディア押さえをスライドする溝やメディアを裁断する溝は、ゴミがたまりやすい場所です。丁寧にゴミを取り除いてください。

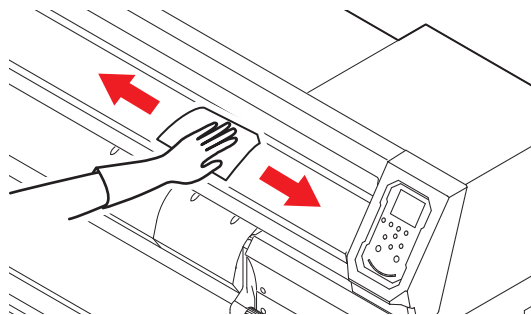


- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

カバー（外装）の清掃



- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。



- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

長期間使用しないときは

1週間以上使用しないときは、以下の内容にしたがって清掃してください。

事前に確認してください

[ニアエンド]、[インクエンド]は表示していませんか？

- 洗浄動作の際に、メンテナンス液やインクを吸引します。このとき、エラーが発生していると洗浄ができません。新しいインクに交換してください。

1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 [ステーションメンテ] > [保管洗浄]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- キャリッジがプラテン上に移動します。

3 正面カバーを開く。

4 ワイパーとブラケットを清掃する。

-  「ワイパーの清掃」 (P. 137)

5 清掃が終わったら、[ENTER]キーを押す。

- ディスプレイに”キャップクリーニング 終了 次へ [ENT]”と表示されます。

6 キャップゴムを清掃する。

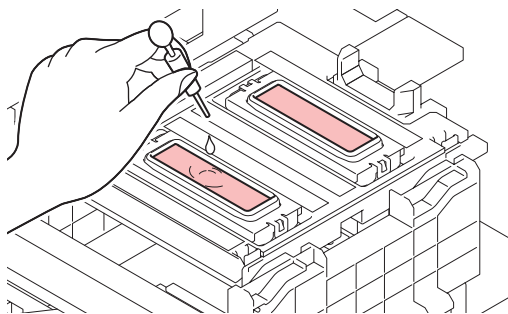
-  「キャップゴムの清掃」 (P. 139)

7 清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

- ディスプレイに”洗浄液を満たす 終了 次へ [ENT]”と表示されます。

8 キャップいっぱいメンテナンス液を満たす。

- スポイトにメンテナンス液をとって、キャップからあふれる寸前までメンテナンス液を満たしてください。

**9** を押して、放置時間を入力する。(FW バージョン3.2以降より対応)

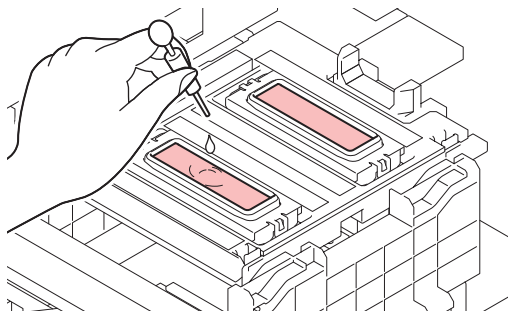
- 放置時間の推奨時間は1分です。

10 正面カバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

- プリントノズルの洗浄を開始します。ディスプレイに経過時間が表示されます。
- プリントノズルの洗浄が終了すると、自動的にクリーニングを実行します。
- ディスプレイに”洗浄液を満たす 終了 次へ [ENT]”と表示されます。

11 正面カバーを開く。**12** キャップいっぱいメンテナンス液を満たす。

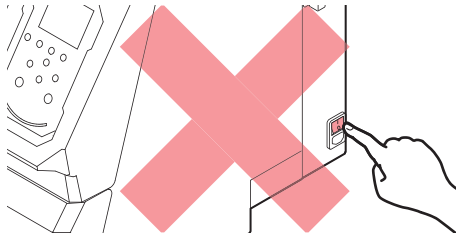
- スポイトにメンテナンス液をとって、キャップからあふれる寸前までメンテナンス液を満たしてください。

**13** 正面カバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

- ポンプチューブ（キャップ下のインク排出経路）の洗浄を開始します。



- 主電源を切らないでください。主電源を切っていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- プラテン上にメディアをセットしたまま放置しないでください。メディアが波打つ原因になります。



本機を使用しないときは、クランプレバーを上げてピンチローラーとグリットローラーを離してください。

- ピンチローラーを下げたまま放置すると、ピンチローラーが変形して、メディアを正常にフィードできなくなるおそれがあります
- メディアをセットしたまま放置すると、メディアがピンチローラーに押しつぶされて、ピンチローラー跡が残る原因になります。



- ディスプレイに「廃インクタンク確認」が表示されたら、以下を実施してください。
 「[廃インクタンクの交換](#)」（P. 159）

6.3 消耗品の交換

消耗品は、販売店、またはお近くの弊社営業所にてお買い求めください。消耗品は、弊社ウェブサイト (<https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html>) にてご覧になれます。



- ・ 消耗品を子供が立ち入るおそれのある場所に保管しないでください。

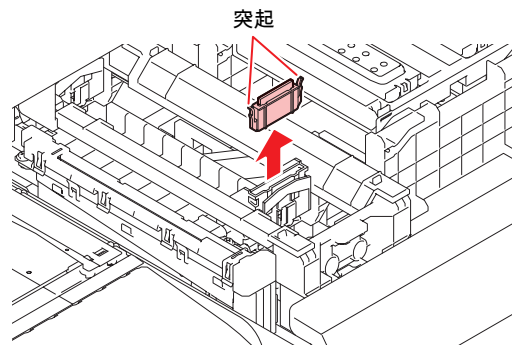


- ・ 消耗品を廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

ワイパーの交換

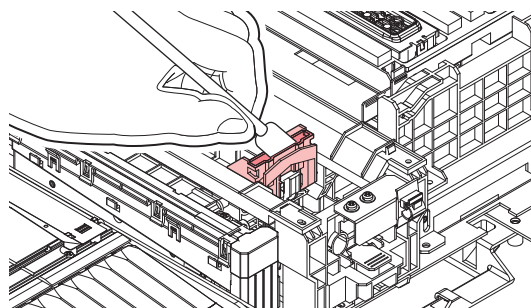
本機はワイピング回数をカウントしています。規定値になるとディスプレイに"ワイパー交換"が表示されます。ワイパーの汚れや反りが激しいときは、新しいワイパーに交換してください。

- 1 ディスプレイに"ワイパー交換"が表示される。
- 2 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ メンテナンスメニューが表示されます。
- 3 [ステーションメンテ] > [ワイパー交換]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ キャリッジがプラテン上に移動します。
- 4 正面カバーを開く。
- 5 ワイパーを外す。
 - ・ ワイパーブラケットの両端の突起を持って引き抜きます。

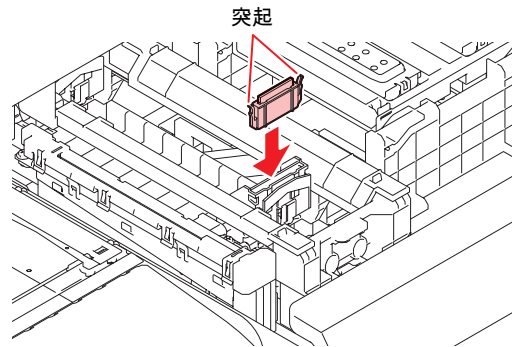


- 6 ワイパーライダーを清掃する。

- ・ メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



7 新しいワイパーをセットする。



8 交換が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

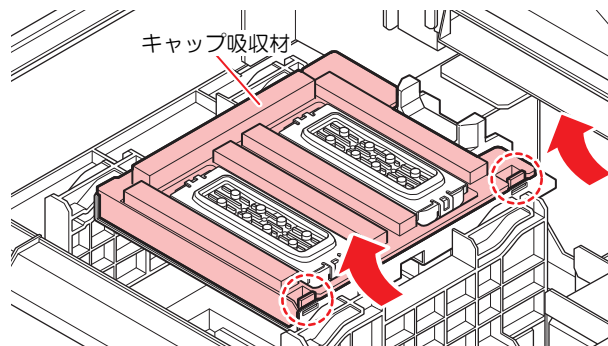
- ・ ワイパーの使用回数が初期化されます。

キャップ吸収材の交換

本機は使用回数をカウントしています。規定値になるとディスプレイに"キャップ吸収材交換"が表示されます。(F/W ver.2.5以降より対応)

キャップ吸収材の汚れが激しいときや、メディアにボタ落ちなどがみられる場合も、新しいキャップ吸収材に交換してください。

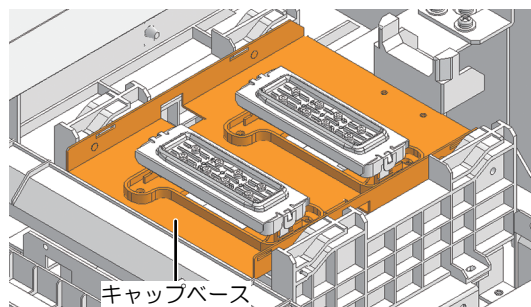
- 1 ディスプレイにメッセージ"キャップ吸収材交換"が表示される。
- 2 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ メンテナンスメニューが表示されます。
- 3 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [ステーションメンテ]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ キャリッジがプラテン上に移動します。
 - ・ キャップ吸収材の使用回数が初期化されます。
- 4 主電源を切る。
- 5 正面カバーを開く。
- 6 キャップ吸収材を外す。
 - ・ 手前のツメを押し上げて外します。





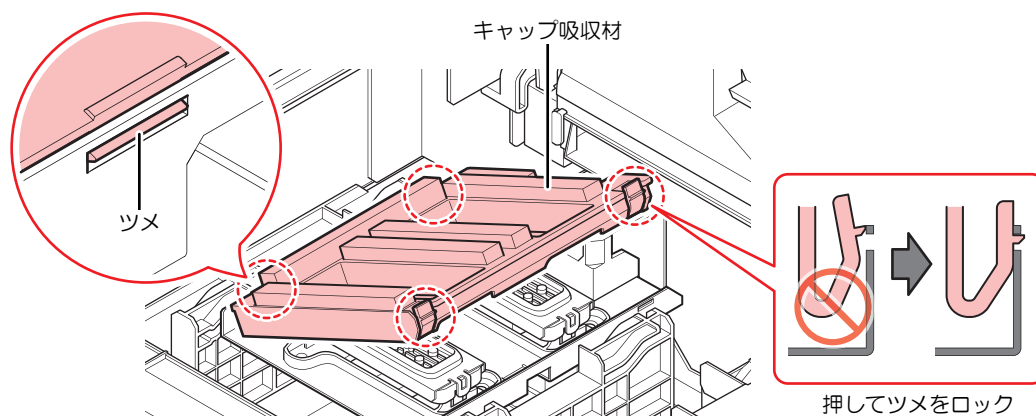
- ・ キャップ吸収材を外したときに、インクが垂れないように注意してください。

7 キャリッジベースを清掃する。



8 新しいキャップ吸収材をセットする。

- ・ Cスライダーの奥側のスリットにキャップ吸収材のツメを挿し込んでから、手前のツメをはめ込んでください。



9 交換が終わったら、ワイパーを手動で奥に戻す。

10 正面カバーを閉めて、電源を入れる。

- ・ キャリッジがステーションに戻ることを確認してください。

ミストフィルターの交換

ミストフィルターの状態を確認して、汚れが激しいときは交換してください。

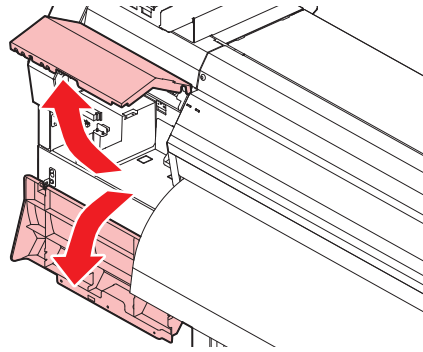
1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・ メンテナンスメニューが表示されます。

2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [ヘッドメンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

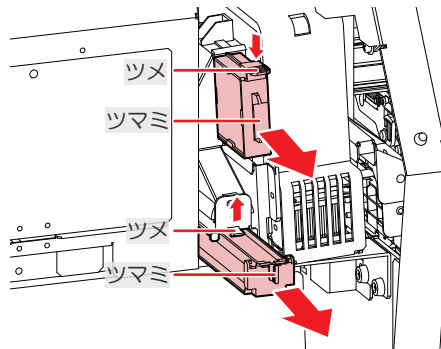
- ・ キャリッジがメンテナンススペースに移動します。

3 メンテナンスカバーを開く。



4 ミストフィルターBOXを外す。

- ・ ツメを矢印の方向に押しながら、矢印の方向にスライドさせて外します。



5 新しいミストフィルターに交換する。

6 ミストフィルターBOXをセットする。

- ・ カチッと音がするまで挿し込んで、ツメが固定されたことを確認してください。

7 交換が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

LEDガラスの交換

インクが硬化して汚れているときは、新しいLEDガラスに交換してください。

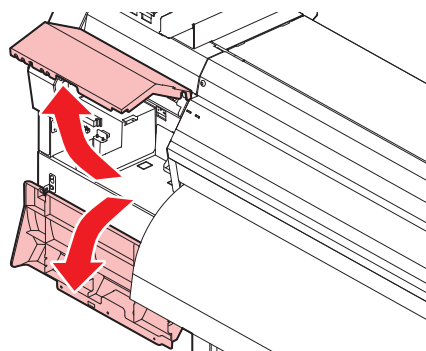
1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・ メンテナンスメニューが表示されます。

2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [ヘッドメンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

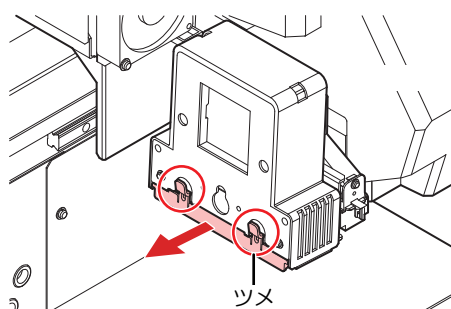
- ・ キャリッジがメンテナンススペースに移動します。

3 メンテナンスカバーを開く。



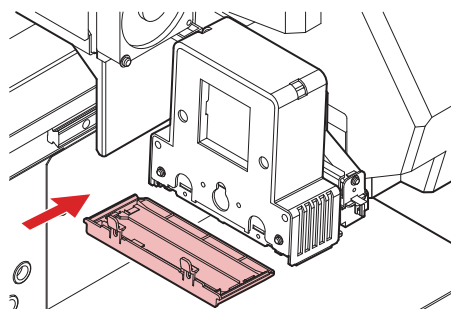
4 LEDガラスを外す。

- ツメを外してから、矢印の方向にスライドさせて外します。
- ツメを外すときに、力を入れすぎないようにご注意ください。ツメが折れてしまうおそれがあります。



5 新しいLEDガラスをセットする。

- カチッと音がするまで挿し込み、ツメが固定されたことを確認してください。



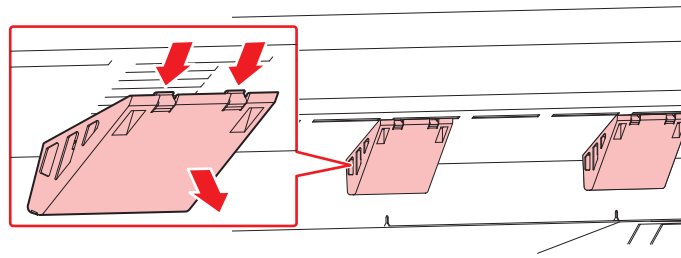
6 交換が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

排気ファンフィルターの交換

排気ファンフィルターの状態を確認して、汚れが激しいときは交換してください。

1 排気ファンBOXを外す。

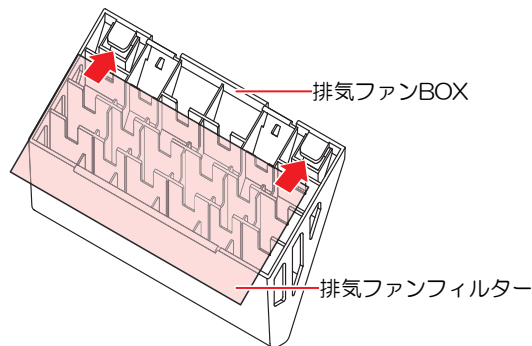
- 手前のツメを押して外します。



- 排気ファンBOXの汚れが激しいときは、新しい排気ファンBOXに交換してください。

2 排気ファンBOXに新しい排気ファンフィルターをセットする。

- 排気ファンBOXのツメのすき間に排気ファンフィルターを挿し込みます。

**3 排気ファンBOXをセットする。**

- 本機のスリットに排気ファンBOXのツメを挿し込んでから、手前のツメをはめ込んでください。

ピンチローラーの交換

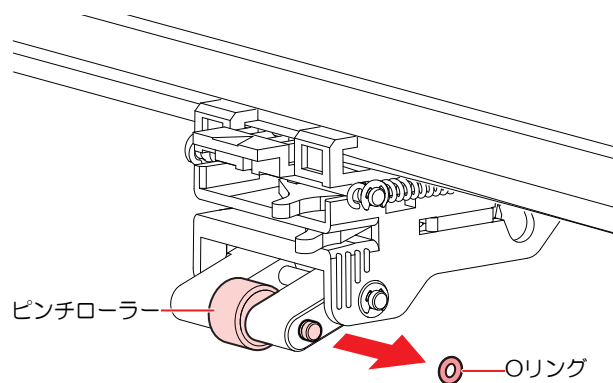
ピンチローラーに摩耗や汚れがみられる場合は、新しいピンチローラーに交換してください。



- 主電源を切って電源ケーブルを抜いてから交換してください。

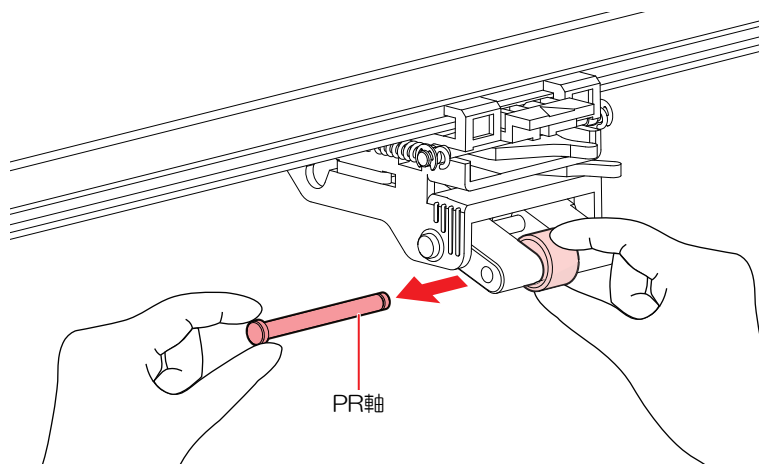
1 正面カバーを開く。**2 クランプレバーを上げる。**

3 ピンチローラを固定しているOリングを外す。



・ 部品が小さいので、すき間に落下させないように注意してください。

4 PR軸を外す。



5 新しいピンチローラをセットして、Oリングで固定する。

6 正面カバーを閉める。

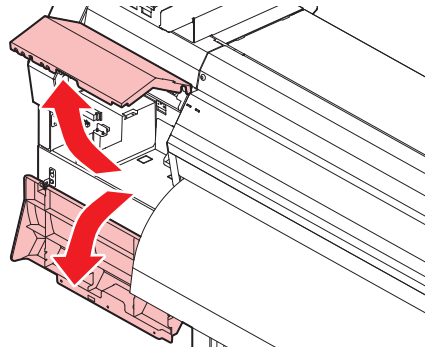
メディア押さえの交換

メディア押さえが変形して、キャリッジやプリントヘッドに接触する場合は、新しいメディア押さえに交換してください。

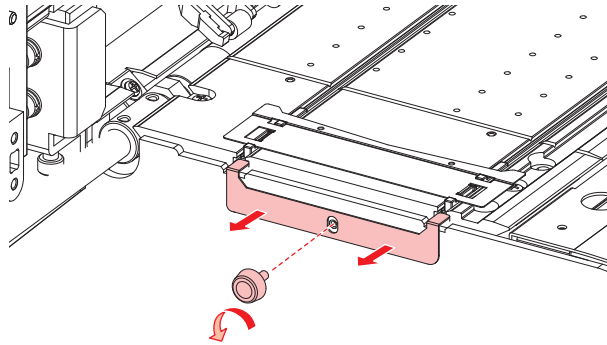


・ 主電源を切って電源ケーブルを抜いてから交換してください。

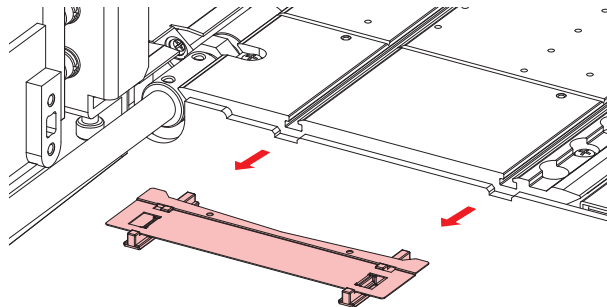
1 メンテナンスカバーを開く。



2 側面のネジを外して、メディア押さえストッパーを外す。

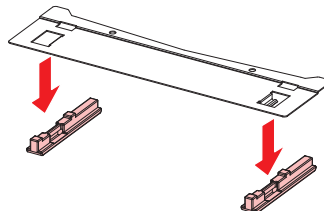


3 メディア押さえを外す。



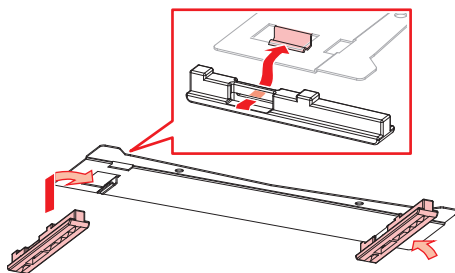
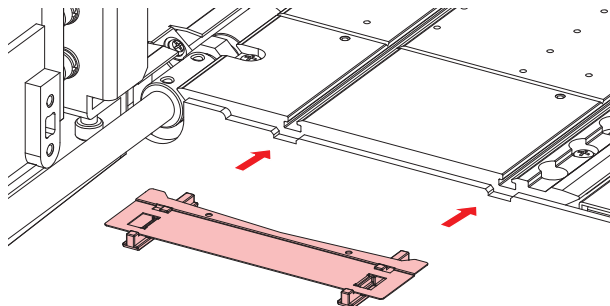
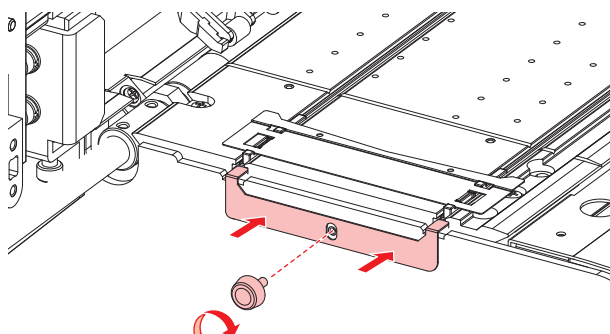
4 メディア押さえから、スライダーを外す。

- ・ 外したスライダーは紛失しないように注意してください。



5 新しいメディア押さえに、スライダーをセットする。

- メディア押さえの突起にスライダーの穴を引っ掛けます。

**6** プラテンに新しいメディア押さえをセットする。**7** メディア押さえストッパーをネジで固定する。**8** メンテナンスカバーを閉める。**メディア裁断カッターの交換**

刃先が欠けたり切れ味が悪くなってきたら、新しいカッターに交換してください。



- カッターの刃先を触らないでください。ケガをするおそれがあります。

1 ローカルモード画面から[MENU] > [カッティング]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- カッティングメニューが表示されます。

2 [ツール交換]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- カッターユニットがプラテン上に移動します。

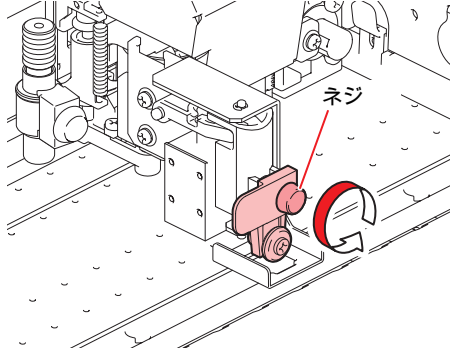
3 正面カバーを開く。



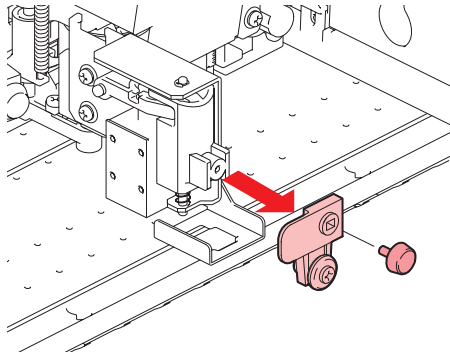
- ・ カッターユニットを手動で移動できます。交換しやすい位置にゆっくり移動させてください。

4 メディア裁断カッターを交換する。

- (1) カッターのネジを緩める。



- (2) カッターを外す。



- (3) 新しいカッターをセットする。

- (4) ネジを締めて固定する。

5 交換が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

廃インクタンクの交換

ヘッドクリーニングなどで使用したインクは、本機右下にある廃インクタンクにたまります。

本機はインクの排出量をカウントして、規定値になるとディスプレイに「廃インクタンク確認」が表示されます。廃インクタンクを交換する目安としてお使いください。



- ・ 2Lタンクの容量が80%（1.6L）が規定値です。
- ・ 廃インクを廃棄せずに使い続けると、廃インクタンクから廃インクがあふれ出るおそれがあります。1週間に1回を目安に、廃インクタンクの液量を目視でご確認頂くことをお勧めいたします。



- ・ インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。

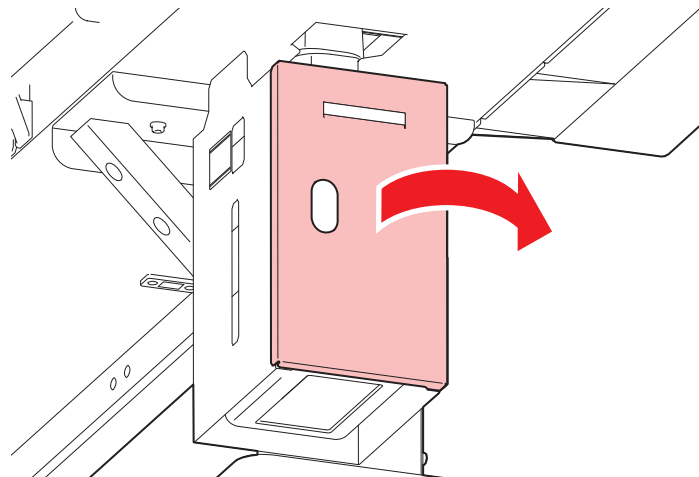


メッセージ“廃インクタンク確認”が表示されたら

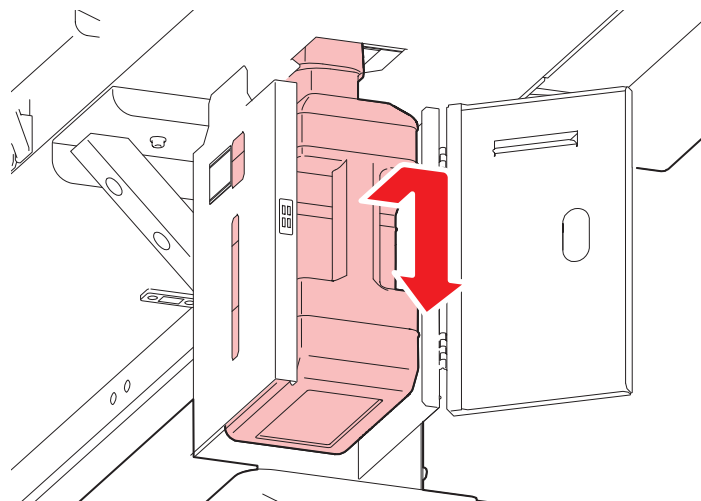
- 1 ディスプレイに“廃インクタンク確認”が表示される。
- 2 廃インクタンクの中の廃インク量を確認する。
 - ・ 実際の量と誤差がある場合は、次の手順に進んでください。
 - ・ 実際の量と誤差がなく、廃インクタンクを交換（廃棄処分）する場合は、 「[廃インクタンクを交換する](#)」 (P. 160) を実施してください。
- 3 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ メンテナンスメニューが表示されます。
- 4 [廃インクタンク交換]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ ディスプレイに“廃インクタンク交換 level: 80%(1.6L)”と表示されます。
- 5  を押して、レベルを調整する。
- 6 調整が終わったら、[ENTER]キーを押す。

廃インクタンクを交換する

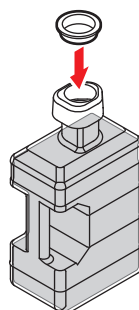
- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [廃インクタンク交換]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ ディスプレイに“廃インクタンク交換 level: 80%(1.6L)”と表示されます。
- 3 廃インクタンクのカバーを開く。



4 廃インクタンクの取っ手を持ち、スライドさせて外す。

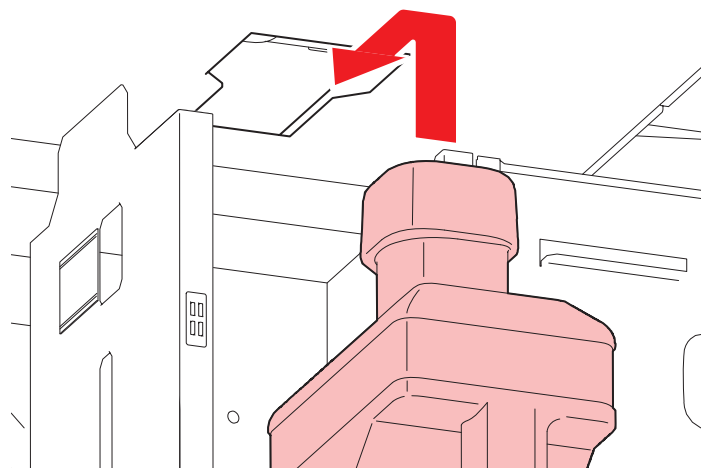


5 取り外した廃インクタンクにキャップをはめて、テープなどを使用して廃インクが漏れないように処理する。

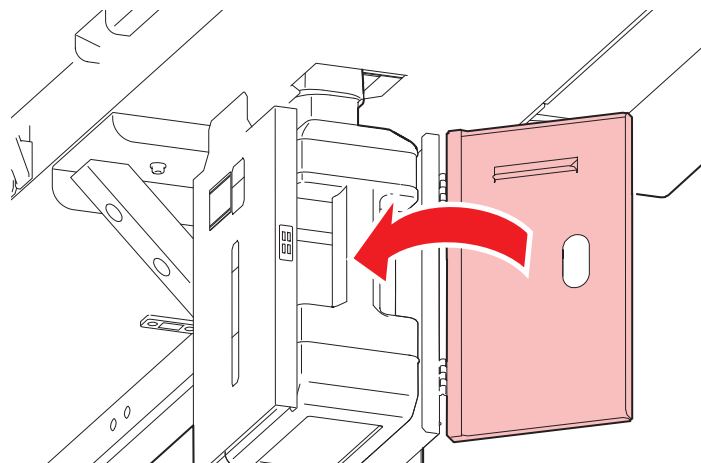


- ・インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体、インクなどが付着した容器や不織布などを廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

6 新しい廃インクタンクをセットする



7 廃インクタンクのカバーを閉じる。



8 [ENTER]キーを押す。

- ・ 廃インク排出量が初期化されます。

カッティング用カッター

刃先が欠けたり切れ味が悪くなってきたら、新しいカッターに交換してください。



- ・ カッターの刃先を触らないでください。ケガをするおそれがあります。
- ・ カッティングホルダーは振らないでください。刃先が飛び出すおそれがあります。

● カッター交換方法

🔧 「カッティングツールを取り付ける」 (P. 86)

ペンラインの交換

以下のペンラインを使用することができます。

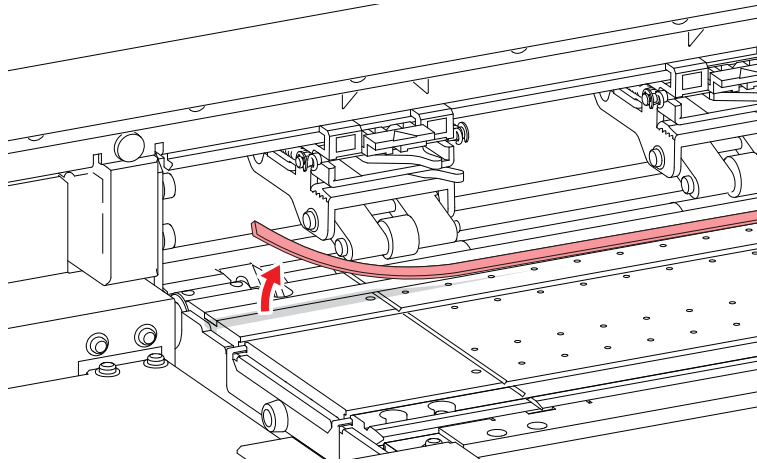
- ・ ペンラインゴム
ペン書き、もしくはカッティングをするときに使用します。
- ・ ペンラインスポンジ
ハーフカット（点線カット）をするときに使用します。

消耗品は、販売店、またはお近くの弊社営業所にてお買い求めください。

品名	品番
ペンラインゴム300/150-160	SPC-0770
ペンラインゴム300/150-130	SPC-0771
ペンラインゴム150-107	SPC-0772
ペンラインゴム150-75	SPC-0773
ペンラインスポンジ300/150-160	SPC-0775
ペンラインスポンジ300/150-130	SPC-0776
ペンラインスポンジ150-107	SPC-0777
ペンラインスポンジ150-75	SPC-0778

その他の消耗品は、弊社ウェブサイトにてご覧になれます。 <https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html>

- 1 正面カバーを開く。
- 2 ピンセットなどで、ペンラインの端を剥がす。
 - ・ プラテンの溝に糊が残っている場合は、アルコールで拭き取ってください。



- 3 プラテンの溝に両面テープを貼る。
 - ・ 両面テープの台紙を剥がしてください。
- 4 両面テープにペンラインを貼り付ける。
 - ・ 平らになるように貼ってください。
- 5 正面カバーを閉める。

インクボトルキャップの交換

1年を目安に交換してください。交換方法は「[インクを交換する](#)」(P. 45)を参照してください。



- ・ インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。

第7章 困ったときは



この章では...

故障かなと思ったときの対処方法や、ディスプレイに表示されるメッセージの対処方法などについて説明しています。

故障かな?と思ったときは	166	カッティング関連	172
電源が入らない	166	メッセージを表示するトラブル	178
プリントできない	166	ワーニングメッセージ	178
メディア詰まり、メディアが汚れる	166	インクエラー	180
画質不良が発生した	167	エラーメッセージ	181
インクが漏れた	172	SYSTEM HALT	187
遮光カバーが外れてしまった	172		

7.1 故障かな?と思ったときは

故障かなと思ったときは、本章を参照して対処してください。また、本機に関するよくあるご質問やサポート動画などは、弊社ウェブサイト（<https://japan.mimaki.com/support/>）にてご覧になれます。

対処しても正常に戻らない場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

電源が入らない

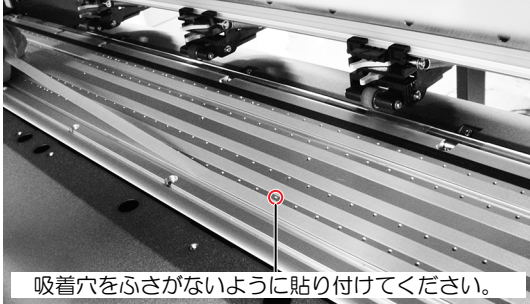
確認すること	対処方法
本機とコンセントが電源ケーブルで接続されていますか？	電源プラグの刃を根元まで挿し込んでください。☞ 「電源ケーブルを接続する」 (P. 36)
付属の電源ケーブルを使用していますか？	付属の電源ケーブルを使用してください。
主電源が入っていますか？	主電源を入れてください。☞ 「電源を入れる」 (P. 36)
操作パネルにある、[END/POWER] キーがオンになっていますか？	電源を入れてください。☞ 「電源を入れる」 (P. 36)

プリントできない

確認すること	対処方法
USBインターフェースケーブルが、接続されていますか？	USB2.0ポートに、根元まで挿し込んでください。☞ 「USBケーブルを使う」 (P. 38)
LANケーブルが、接続されていますか？	LANポートに、根元まで挿し込んでください。☞ 「LANケーブルを使う」 (P. 38)
弊社指定のLANケーブルを使用していますか？	LANケーブルの種類を確認してください。☞ 「LANケーブルを使う」 (P. 38)
操作パネルにあるステータスランプが、赤色に点滅/点灯していませんか？	エラーが発生しています。ディスプレイのメッセージを確認してください。☞ 「操作パネル」 (P. 32)

メディア詰まり、メディアが汚れる

確認すること	対処方法
弊社が推奨しているメディアを使用していますか？	推奨メディアを使用してください。 https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html
カールしてるメディアを使用していないですか？	カールのきついメディアや、先端が折れ曲がっているメディアは使わないでください。
メディアが斜行していませんか？	巻き取りユニットを使用してください。もしくはメディアを再セットしてください。☞ 「メディアをセットする」 (P. 61)

確認すること	対処方法
メディアが波打ったり、浮いたりしていませんか？	ロールメディアの場合、波打っていない面までフィードしてから、お使いください。また付属されているNITOFLON[®]（ニトフロン）テープをプラテンに貼ることで改善することができます。  吸着穴をふさがないように貼り付けてください。 詳しくは、「プラテン上のメディアの搬送について」をご覧ください。https://japan.mimaki.com/download/inkjet.html

画質不良が発生した

現象	対処方法
白スジ、カスレ、色の濃いスジが発生する （キャリッジスキャン方向）	1. メディア押さえの上などヘッドが通過する部分に、紙片などのゴミが付着している場合は、ゴミを取り除いてください。☞「メディア押さえの清掃」（P. 145）☞「プラテンの清掃」（P. 146） 2. ☞「ヘッドクリーニングをする」（P. 73）を実施してください。 3. ☞「フィード補正をする」（P. 74）を実施してください。 4. ☞「ワイパーの清掃」（P. 137）を実施してください。 5. ☞「キャップゴムの清掃」（P. 139）を実施してください。 6. ☞「キャリッジ底面の清掃」（P. 141）を実施してください。
文字がメディアフィード方向に2重、3重にズレが発生する	1. ☞「フィード補正をする」（P. 74）を実施してください。
往復プリントでズレが発生する	1. ☞「ドット位置補正をする」（P. 76）を実施してください。
プリント中にインク滴が落ちる	1. ☞「ワイパーの清掃」（P. 137）を実施してください。 2. ☞「キャップゴムの清掃」（P. 139）を実施してください。 3. ☞「キャリッジ底面の清掃」（P. 141）を実施してください。 4. ☞「ヘッドクリーニングをする」（P. 73）を実施してください。 5. オートメンテナンスを設定してください。☞「メンテナンスメニュー」（P. 117）
ノズル詰まりを解消したい	1. ☞「ヘッドクリーニングをする」（P. 73）を実施してください。 2. ☞「プリントヘッドのノズル洗浄」（P. 167）を実施してください。 3. [MENU] > [メンテナンス] > [インク充填]を実施してください。 4. ☞「ワイパーの交換」（P. 150）を実施してください。 5. ☞「ノズルリカバリーを登録する」（P. 118）を実施してください。

プリントヘッドのノズル洗浄

ヘッドクリーニング（☞「ヘッドクリーニングをする」（P. 73））を実行しても、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が直らないときは、プリントヘッドのノズル洗浄をしてください。

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ メンテナンスメニューが表示されます。

2 [ステーションメンテ]>[ノズル洗浄]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・ キャリッジがプラテン上に移動します。

3 正面カバーを開く。**4** ワイパーとブラケットを清掃する。

- ・  「ワイパーの清掃」 (P. 137)

5 清掃が終わったら、[ENTER]キーを押す。

- ・ ディスプレイに"キャップクリーニング 終了 次へ [ENT]"と表示されます。

6 キャップゴムを清掃する。

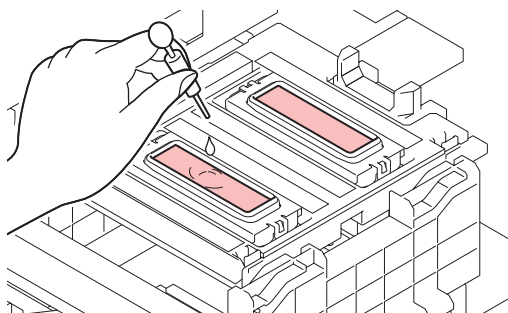
- ・  「キャップゴムの清掃」 (P. 139)

7 清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

- ・ ディスプレイに"洗浄液を満たす 終了 次へ [ENT]"と表示されます。

8 キャップいっぱいメンテナンス液を満たす。

- ・ スポイトにメンテナンス液をとって、キャップからあふれる寸前までメンテナンス液を満たしてください。

**9** を押して、放置時間を入力する。(FW バージョン3.2以降より対応)

- ・ ML007洗浄液をお使いの場合：推奨時間は1分
- ・ ML016洗浄液をお使いの場合：ノズル状態に応じて5～10分浸漬し、復旧しない場合は時間を伸ばしてください。

10 正面カバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

- ・ プリントノズルの洗浄を開始します。ディスプレイに経過時間が表示されます。
- ・ プリントノズルの洗浄が終了すると、自動的にクリーニングを実行します。



- ・ ノズル洗浄を何回か繰り返しても、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が直らないときは、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

インクが混色した

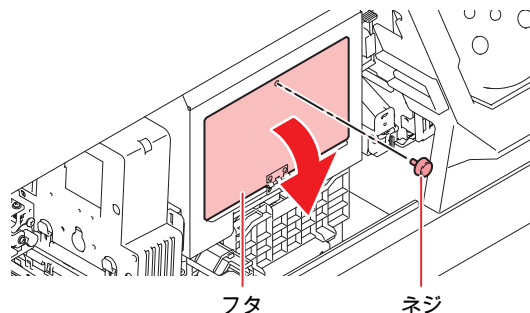


- ・インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [空気抜き]を選択して、[ENTER]キーを押す。
- 3 空気抜きをしたいヘッドにチェックを入れる（UCJV150 シリーズは、選択できません）。
 - ・チェックが付くと、空気抜きの対象ヘッドとなります。
 - ・300シリーズでは、ヘッド1と2を同時に選択することができます。

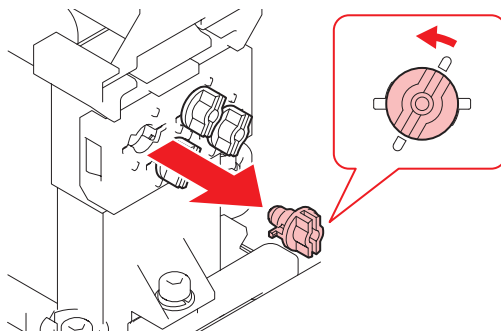
インクセット	Head 1				Head 2			
4色	C	M	Y	K	Y	K	M	C
6色+W	C	M	Y	K	Lm	Lc	W	W
4色+CL+W	C	M	Y	K	CL	CL	W	W
4色+W	C	C	M	M	Y	K	W	W

- 4 [ENTER]キーを押す。
 - ・ワイパー上に対象ヘッドが移動します。
- 5 正面カバーを開く。
- 6 キャリッジ正面のフタを開く。
 - ・ネジを外してから、ゆっくりフタを開けてください。



7 対象となるポートのキャップを外す。

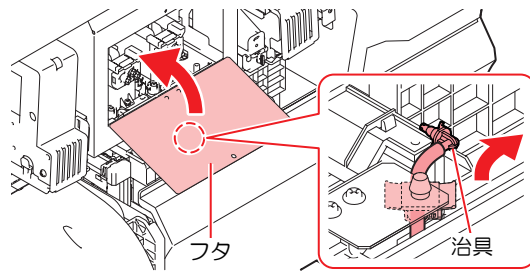
- ヘッド1と2を同時に選択した場合は、ディスプレイの右上に表示されるヘッドのポートに付いているキャップを外してください。
- キャップは反時計まわりに30°程度回してから外してください。
- キャップを外しても、インクがあふれ出すことはありません。
- 外したキャップにはインクが付着しています。周囲を汚さないよう、ペーパータオルなどの上に置いてください。
- プリントヘッドごとに空気抜きをします。ヘッド1の空気抜きを実行するときは、ヘッド2のキャップを外さないでください。



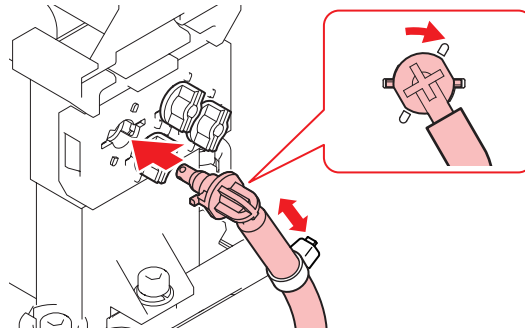
モデル	インクセット	Head 1	Head 2
UCJV300	4色 : CMYK YKMC		
	6色+W : CMYK LmLcWW		
	4色+CL+W : CMYK CLCLWW		
	4色+W : CCMM YKWW		
UCJV150	4色 : CMYK		なし

8 ポートに治具を接続する。

- キャリッジ正面のフタを持ち上げて、治具を引き出してください。



- 治具の先端をポートに押し込み、時計方向へ30°回転させてください。



9 [ENTER]キーを押して、“空気抜き”を開始する。

10 治具のチューブ内に、インクが流れてきているかどうかを確認する。

- 混色、空気の混入がなくなるまで“空気抜き”をしてください。終了するときは、治具を外してから[ENTER]キーを押してください。
- 30秒経過すると自動で“空気抜き”を停止します。続けて“空気抜き”を実行したいときは、[リトライ]を選択してください。



- 1つのポートを連続して“リトライ”をしないでください。ノズル詰まりのおそれがあります。混色や空気の混入がなくなったら、“空気抜き”を終了してください。



- “空気抜き”を実行中に、[FUNC2]を押すと、約3秒の間インクを勢いよく排出します。

11 他の対象となるポートも同様に実行する。

12 “空気抜き”が終了したあとに、[ENTER]キーを押す。

13 ポートから治具を外す。

- 反時計方向へ30°回転させて、治具を外してください。

14 ポートにキャップを付ける。



- 治具の先端を垂直に持ち上げて、チューブ内のインクを流してください。治具のチューブ内にインクが残っていると硬化するおそれがあります。

15 キャリッジ正面のフタを閉める。

16 正面カバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

- 自動でクリーニングを実行します。
- ヘッド1と2を同時に選択した場合は、ディスプレイの表示にしたがって、同様に”空気抜き”を実施してください。

インクが漏れた

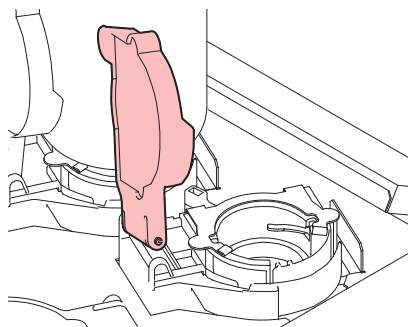


- インクが漏れてしまったときは、すぐに主電源を切って電源ケーブルを抜いてください。そのあと、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

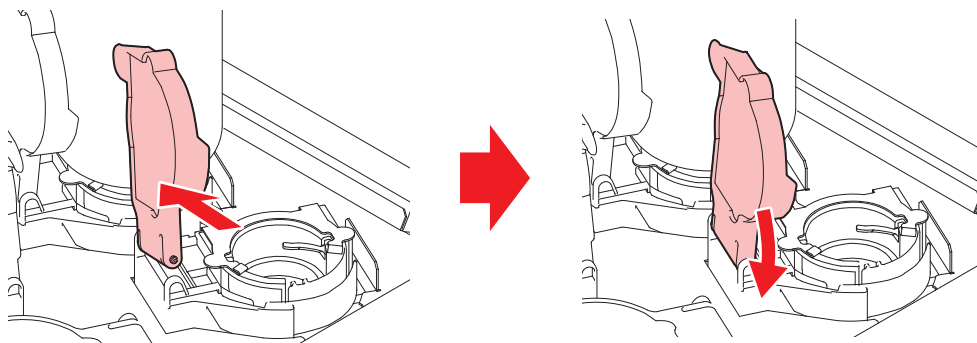
遮光カバーが外れてしまった

遮光カバーが外れたまま放置すると、タンク内部に光が射し込み、インクが硬化するおそれがあります。遮光カバーが外れたときは、次の手順で取り付けてください。

1 遮光カバーの片方の突起をタンクの穴に挿し込む。



2 手順1で挿し込んだ穴の方に押しながら、もう一方の突起を挿し込む。



カッティング関連

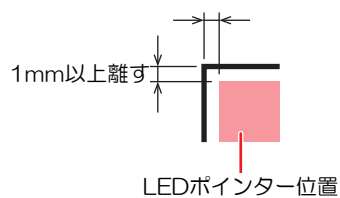
現象	対処方法
カットの位置がずれる	トンボのセンサーに問題があると考えられます。オペレーション操作をして、センサーの反応を確認します。手動でトンボセンサーの反応を確認することができません。 ☞ 「トンボセンサーの位置を調整する」 (P. 173)
カッティングできない	本機に保存されているサンプルをカットして、原因を調べます。サンプルカットを実行すると、受信バッファに保存されているデータは消去されます。

現象	対処方法
	☞ 「カッティングができない原因を調査する」 (P. 175)
”プリント&カット”すると、プリントとカットがずれる	弊社RIP用ソフトウェア (RasterLink) を使って、補正パターンをプリントします。補正パターンを確認して、手動で補正値を入力します。 ☞ 「プリントとカットのずれを補正する」 (P. 175)
”プリント&カット”すると、スキャン方向のプリントとカットがずれる	補正パターンをプリントして、自動で補正します。 1. メディアをセットする。 - 補正パターンをプリントするので、白いメディアを準備してください。 2. ローカルモード画面から[MENU] > [カッティング]を選択して、[ENTER]キーを押す。 - カッティングメニューが表示されます。 3. [メンテナンス] > [スケール補正]を選択して、[ENTER]キーを押す。 4. 確認画面が表示されたら、[ENTER]キーを押す。 - 補正パターンをプリントして、自動で補正します。

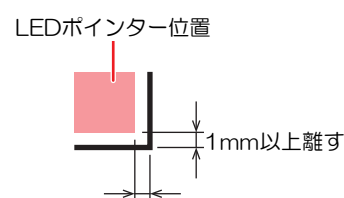
トンボセンサーの位置を調整する

- 1 トンボがプリントされたメディアを準備する。
 - ☞ 「トンボを作成する」 (P. 102)
- 2 ローカルモード画面から[MENU] > [カッティング]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - カッティングメニューが表示されます。
- 3 [メンテナンス] > [トンボセンサー] > [センサーチェック]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - カッティングユニットがプラテン上に移動します。
- 4 ▲▼◀▶を押して、LEDポインターを移動する。

[(トンボ形状) タイプ1]



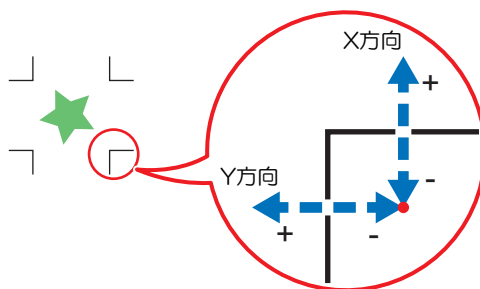
[(トンボ形状) タイプ2]



- 5 プリントした”トンボの条件”を登録する。
 - ☞ 「トンボ検出の条件を設定する」 (P. 107)
 - 登録した”トンボの条件”は、[カッティング] > [トンボ検出]に保存されます。電源を切っても、設定値は保存されています。

6 [ENTER]を押して、検出動作を開始する。

- 自動でX方向、Y方向の線分を検出します（自動検出動作：Xプラス方向＞Xマイナス方向＞Yプラス方向＞Yマイナス方向）。



- 線分を検出することによりブザーが鳴ります（計4回）。ブザーが鳴らなかった場合（計4回）は、以下を参照してください。

☞ 「LEDポインターの位置を補正する」（P. 174）

LEDポインターの位置を補正する

トンボが正しく読めなくなった場合、トンボセンサーの位置が合っていないことが考えられます。以下を参照して、トンボセンサーの位置を補正してください。

1 ツールホルダーにペンを取り付ける。

- ☞ 「ペンを使う」（P. 90）

2 コピー用紙をセットする。

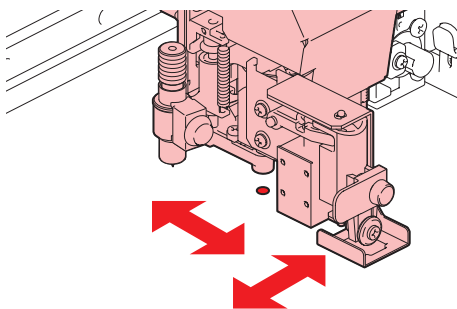
3 ローカルモード画面から[MENU]＞[カッティング]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- カッティングメニューが表示されます。

4 [メンテナンス]＞[トンボセンサー]＞[ポインタオフセット]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- 10mmの十字パターンをペン書きされます。
- LEDポインターが点灯して、十字パターンの中央に移動します。

5 ▲▼◀▶を押して、十字パターンの中心にLEDポインターを移動する。



6 [ENTER]キーを押して、終了する。

- [設定リセット]をしても、設定値は保存されています。

7 再度、以下を確認する

- ☞ 「トンボセンサーの位置を調整する」（P. 173）
- 4回ブザーが鳴らなかった場合は、プリントされているトンボの条件を確認の上、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

カッティングができない原因を調査する

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [カッティング]を選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ カッティングメニューが表示されます。
- 2 [メンテナンス] > [サンプルカット]を選択して、[ENTER]キーを押す。
- 3 サンプルデータを選択して、[ENTER]キーを押す。
 - ・ サンプルデータは、"Cut"と"Logo"の2種類があります。



- ・ "Cut"を選択した場合は、[ENTER]キーを押すとカットが開始されます。
- ・ "Logo"を選択した場合は、以下を参照してください。
 - (1) ▲ ▼を押して倍率（1～999%）を指定する。
 - (2) [ENTER]キーを押して、カットを開始する
 - ・ [設定リセット]をしても、設定値は保存されています。

● サンプルカットの結果について

- ・ サンプルデータはカットすることができるが、他のデータはカットすることができない。
 - ホストコンピュータ側に問題があります。
- ・ サンプルデータと他のデータの両方カットすることができない。
 - プリンター側に問題があります。補正圧オフセットメニューから、圧力を上げてください。☞
「カッティングメニュー」（P. 127）

プリントとカットのずれを補正する

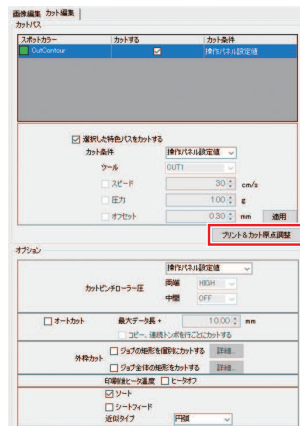
ここでは、弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）を使って補正パターンをプリントします。"プリント&カット"する場合、スキャン（Y）方向の解像度ごとに補正が必要です（補正した値は解像度ごとに保存されます）。解像度ごとにプリントしてから補正值の入力をしてください。

- 1 本機をリモートモードにする。
- 2 RasterLink から、プリントしたいジョブの"プリント条件（プロファイルやカット条件など）"を設定する。
 - ・ 画面右の機能アイコンから、以下を設定します。
 - （通常印刷）：拡大や縮小、回転など各種設定します。
 - （印刷条件）：本機にセットしているメディアやインクセットに合ったカラープロファイルを選択します。



- ・ 詳しくは、"RasterLink"のリファレンスガイドをご覧ください。 <https://japan.mimaki.com/download/software.html>

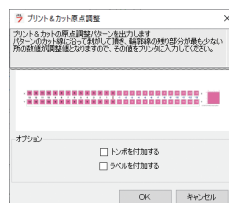
3 (通常印刷) の[カット編集]タブにある[プリント&カット原点調整] をクリックする。



重要! ・ トンボなしの場合とトンボありの場合で、数値の入力単位が異なりますので注意してください。

トンボなしの場合

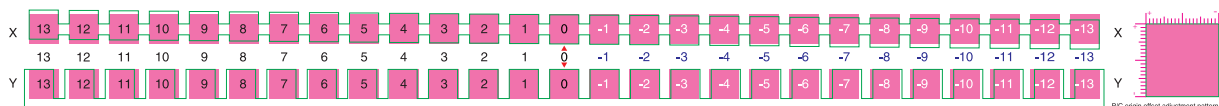
1 [OK]をクリックして、補正パターンをプリントする。



2 リモートモード画面から[ADJUST]を選択する。

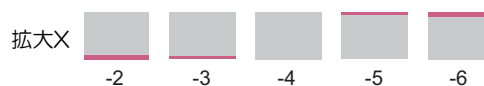
3 [PC 原点オフセット]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・ 補正パターンをカットします。カットされた部分をはがして、補正値を確認します。



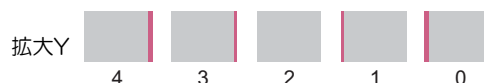
4 上下のずれが一番小さい位置の数値を入力する。

- ・ 以下イラストでは、"-4"を入力します。



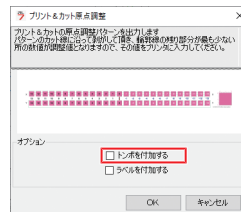
5 左右のずれが一番小さい位置の数値を入力する。

- ・ 以下イラストでは、"2"を入力します。



トンボありの場合

1 [トンボを付加する]にチェックを入れる。

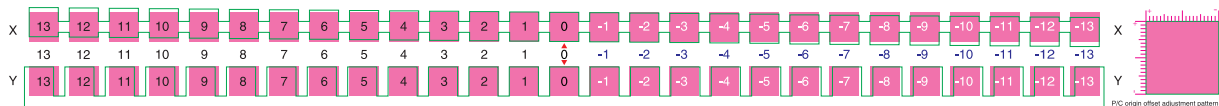


2 [OK]をクリックして、補正パターンをプリントする。

3 リモートモード画面から[ADJUST]を選択する。

4 [トンボオフセット]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- トンボを検出してから、補正パターンをカットします。カットされた部分をはがして、補正値を確認します。



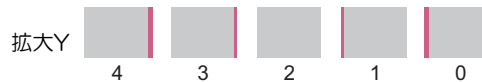
5 上下のずれが一番小さい位置の数値を入力する。

- 以下イラストでは、"-4"なので、"-0.4mm"を入力します。



6 左右のずれが一番小さい位置の数値を入力する。

- 以下イラストでは、"2"なので、"0.2mm"を入力します。



7.2 メッセージを表示するトラブル

何らかの異常が発生すると、ブザーが鳴りディスプレイにメッセージが表示されます。

ローカルガイドンスでも確認することができます。🔍 「[本機の情報を表示する（ローカルガイドンス）](#)」（P. 35）

メッセージの内容に応じて、対処してください。記載されている処置をしても、再度メッセージが表示される場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

ワーニングメッセージ

メッセージ	原因	対処方法
MOTOR POWER OFF	カバーを開けたあとなど初期化動作によってモーターが停止している。	初期化動作が終了するまでお待ちください。
NCU インク吸収材交換	インク吸収材の交換時期になった。	NCUのインク吸収材交換が必要です。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
NCU エラー ノズルチェックOFF	ノズルチェック中にエラーが発生した。プリントを停止して、ノズルチェック機能をOFFにした。	販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
ノズル抜け検出 印刷停止しました	ノズル詰まりと判定して、プリントを停止した。	クリーニング、またはノズルチェック機能の条件を変更してください。再度表示される場合は、ノズルリカバリーをしてください。 👉 「ヘッドクリーニングをする」 （P. 73） 👉 「ノズルチェックメニュー」 （P. 125） 👉 「ノズルリカバリーを登録する」 （P. 118）
NCU交換	ノズル詰まり判定に異常を検出した。	NCUの交換が必要です。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
NCU センサー感度低下	センサー感度が低下している。	- NCUを清掃してください。👉 「NCUの清掃」 （P. 140） - エラーが解消されない場合、NCUの交換をお勧めします。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
NCU 感度調整エラー H	センサー感度調整に失敗した。	
NCU 感度調整エラー L		
NCU接続異常	NCUの接続に異常を検出した。	主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。👉 「電源を切る」 （P. 37）
NCU 検出エラー(HW) ノズルチェックOFF	ノズル詰まり判定に異常を検出した。	NCUを清掃してください。👉 「NCUの清掃」 （P. 140）
NCU 検出エラー(マーク) ノズルチェックOFF		
NCU センター位置検出エラー	吐出位置の調整に失敗した。	

メッセージ	原因	対処方法
ノズルチェックOFF		
NCU 吐出位置検出エラー ノズルチェックOFF		
NCU SN調整エラー ノズルチェックOFF		
インクエラーあり	・インクエラーが発生している。	・インクエラーの内容を確認してください。☞ 「インクエラー」 (P. 180)
カバーオープン	・カバーが開いている。	・カバーを閉めてください。
キャップ吸収材交換	・キャッピングのカウント値が規定量を超えた。	・キャップ吸収材の交換と清掃をして、カウント値を初期化してください。☞ 「キャップ吸収材の交換」 (P. 151)
クランプレバー下げてください	・クランプレバーが上がっている。	・クランプレバーを下げてください。☞ 「正面」 (P. 26)
プリントデータあり	・プリント (RIP) データを受信している。	・リモートモードに移行して、プリントしてください。またはデータクリアを実行して、プリントを中止します。
プリンター一時中断	・プリントを一時停止している。	・リモートモードに移行して、プリントを再開します。もしくはデータクリアを実行して、プリントを中止します。
プリント不可/インクIC	・使用できないインクICチップが使われている。	・新しいインクとインクICチップに交換してください。
メディアがありません	・メディアがセットされていない。もしくはセンサーが故障している。	・メディアをセットしてください。☞ 「メディアをセットする」 (P. 61) ・メディアセンサーを清掃してください。☞ 「メディアセンサーの清掃」 (P. 144)
メディアをセットしてください	・メディアがセットされていない。もしくはセンサーが故障している。	・メディアをセットしてください。☞ 「メディアをセットする」 (P. 61)
メディア未検出	・メディア幅を検出していない。	・メディア幅を検出してください。☞ 「メディアをセットする」 (P. 61)
ワイパー交換	・ワイピングのカウント値が規定量を超えた。	・ワイパーを交換して、カウント値を初期化してください。☞ 「ワイパーの交換」 (P. 150)
ワイパー動作不良	・ワイパーが正常に動作しない。	1. “ワイパー”と“ワイパー周辺”を清掃してください。☞ 「ワイパーの清掃」 (P. 137) 2. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞ 「電源を切る」 (P. 37)
廃インクタンク交換	・廃インクタンクのカウントが規定量 (90%) を超えた。	オートメンテナンス機能が実行できません。以下を対処してください。 1. 廃インクタンクの排液量を確認してください。☞ 「メッセージ“廃インクタンク確認”が表示されたら」 (P. 160) 2. 廃インクタンクを交換して、廃液量を初期化してください。☞ 「廃インクタンクを交換する」 (P. 160)
廃インクタンク確認	・廃インクタンクのカウントが規定量 (80%) を超えた。	1. 廃インクタンクの排液量を確認してください。☞ 「メッセージ“廃インクタンク確認”が表示されたら」 (P. 160)

メッセージ	原因	対処方法
		2. 廃インクタンクを交換して、廃液量を初期化してください。☞「 廃インクタンクを交換する 」(P. 160)
装置温度/高 **°C	• 室内の温度が高い。	• 仕様の範囲内に室温を調節してください。範囲外の場合は、良好なプリント結果を得られないおそれがあります。☞「 設置上のご注意 」(P. 17)
装置温度/低 **°C	• 室内の温度が低い。	
空気抜きをしてください	• インク経路内のインクの硬化を防止するため、1か月ごとにメッセージが表示されます。	• 空気抜きをしてください。☞「 インクが混色した 」(P. 169)
バッテリー交換	• 内臓時計の電池切れを検出した。	• 販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
CLAMP UP	• クランプレバーを上げた。	• クランプレバーを下げてください。

インクエラー

メッセージ	原因	対処方法
インクエンド	• インクがなくなった。	• 新しいインクに交換してください。☞「 インクエンドが表示されたとき 」(P. 44)
インク ニアエンド	• インク残量が残りがわずかになっている。	• 間もなくインクがなくなります。新しいインクを用意してください。☞「 インクニアエンドが表示されたとき 」(P. 44)
インクIC無し	• インクICチップがない。	1. インクICチップをセットしてください。インクICチップを挿し込む 2. インクICチップが正しく挿入されているかどうかを確認してください。インクICチップを挿し込む 3. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「 電源を切る 」(P. 37)
インクIC異常	• インクICチップの情報にエラーが発生した。	1. インクICチップが正しく挿入されているかどうかを確認してください。インクICチップを挿し込む 2. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「 電源を切る 」(P. 37) 3. 新しいインクに交換してください。☞「 インクを交換する 」(P. 45)
インク カラー	• 充填されているインクカラーとインクICチップに登録されているカラーが異なる。	• 正しいインクカラーのインクICチップをセットしてください。インクICチップを挿し込む
インク種類	• 充填されているインクタイプとインクICチップに登録されているタイプが異なる。	• 正しいインクタイプのインクICチップをセットしてください。インクICチップを挿し込む

メッセージ	原因	対処方法
期限切れ	・ インクが期限切れになった。	・ 新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。☞「インクエンドが表示されたとき」(P. 44)
期限切れ (1か月)	・ インクが期限切れから、1か月経過した。	・ 新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。☞「インクエンドが表示されたとき」(P. 44)
期限切れ (2か月)	・ インクが期限切れから、2か月経過した。	・ 新しいインクに交換してください。プリントすることができません。☞「インクエンドが表示されたとき」(P. 44)

エラーメッセージ

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
108	HD THERMIS [1234]	• プリントヘッド温度制御に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 37)
108	HD CONNECT [1234]	• プリントヘッドの接続に異常を検出した。	
108	HD MEM EMP [1234]	• プリントヘッドに異常を検出した。	
108	HD TYPE [1234]		
122	CHECK:SDRAM	• SDRAMに異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 37)
128	HDC FIFO OVER	• プリントヘッド制御基板に異常を検出した。	
128	HDC FIFO UNDER		
12a	HDC SPEED	• プリントヘッド制御に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 37)
130	HD DATA SEQ		
148	E-LOG SEQ	• ログの制御に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 37)
151	Main PCB V1R2	• メイン基板の電源系統に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 37)
152	Main PCB V2R5		
153	Main PCB V3R3		
154	Main PCB V05		
155	Main PCB V36-1		
157	Main PCB VTT		
158	Main PCB V36-2		
15f	HEAD DRIVE HOT	• COMドライブが高温になっている。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 37)
16e	Main PCB V3R3B	• メイン基板の電源系統に異常を検出した。	
171	NEW HEAD CONNECT	• 新しいプリントヘッドの接続を認識した。	

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
18a	Main PCB V_CORE	メイン基板の電源に異常を検出した。	主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 37)
18b	Main PCB V1R5B		
18c	Main PCB V12		
18e	FLS NOT COMP	プリントヘッド制御に異常を検出した。	主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 37)
18f	OFFSET START		
18f	OFFSET END		
19f	LED接続異常	UV-LED基板が認識できない。	主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 37)
1dc	Station4 PCB V24	Station4基板の電源に異常を検出した。	主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 37)
1dd	Station4 PCB V24-A		
1e6	PRAM サイズ不足	メモリーサイズが不足している。	主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 37)
201	コマンド エラー	プリント (RIP) データ以外のデータを受信した。もしくは受信したプリント (RIP) データに異常を検出した。	- データクリアを実行して、再度データを送信してください。 - USBケーブルの接続を確認してください。☞「USBケーブルを使う」(P. 38)
202	パラメータ エラー	受信したプリント (RIP) データに異常を検出した。	- 規格に適合したUSBケーブルを使用してください。☞「USB接続についての注意事項」(P. 38) - 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 37)
206	プリント モード エラー	プリントできないプリント条件のプリント (RIP) データを受信した。	RIP用ソフトウェアで、出力条件やプロファイルを変更してください。
304	USB INIT ERR	USBケーブルの接続に異常を検出した。	- USBケーブルの接続を確認してください。☞「USBケーブルを使う」(P. 38) - 規格に適合したUSBケーブルを使用してください。☞「USB接続についての注意事項」(P. 38) - 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 37)
305	USB TIME OUT		
307	MCFDファイルIF エラー	プリント条件データへのアクセス中に異常を検出した。	主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 37)
401	モーターアラーム X	Xモーターに過大な負荷がかかった。	- メディアが正しくセットされているかどうかを確認してください。☞「メディアをセットする」(P. 61) - 正面カバーを開けて、キャリッジの移動に障害のあるものがないかどうかを確認してください。 - 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 37)
402	モーターアラーム Y	Yモーターに過大な負荷がかかった。	
403	X オーバー カレント	Xモーターの過電流エラーを検出した。	
404	Y オーバー カレント	Yモーターの過電流エラーを検出した。	

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
406	ワイパー動作不良	ワイパー原点が検出できなかった。	- ワイパーとワイパー周辺を清掃してください。☞「ワイパーの清掃」(P. 137) - 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 37)
44e	UV ユニット ファン異常	UV-LEDユニットのファンに異常を検出した。	主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 37)
44f	巻取ロール センサ異常	巻き取りユニットのセンサー軸に異常を検出した。	[マシン設定] > [繰出/巻取ユニット] > [巻取ユニット] が、[ON]に設定されているかどうかを確認してください。 - メディアのセット状態を確認してください。☞「ロールメディアをセットする」(P. 63) - 巻き取りユニットのスイッチで動作するかどうかを確認してください。☞「巻き取りユニットについて」(P. 61)
45a	P-HEAD切り離しエラー	キャリッジを切り離しできなかった。	主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 37)
45b	P-HEAD 接続エラー	キャリッジと接続できなかった。	
45c	C-HEAD切り離しエラー	カッターヘッドを切り離しできなかった。	
45d	C-HEAD 接続エラー	カッターヘッドと接続できなかった。	
45e	PR/GR 位置確認	ピンチローラーの位置に異常を検出した。	ピンチローラーの位置をグリットローラーの上に配置してください。
48a	巻取不良検出	巻き取りユニットが巻き取りできない。	メディアのセット状態を確認してください。☞「ロールメディアをセットする」(P. 63)
505	メディアジャム	メディアジャムセンサーが反応した。	- 接触したメディアを取り除き、きれいなメディアをセットし直してください。☞「メディアをセットする」(P. 61) - 正面カバーを開けて、キャリッジの移動に障害のあるものがないかどうかを確認してください。
509	HDC POSCNT	位置制御に異常を検出した。	主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 37)
50a	Y原点検出	Y原点検出(初期化動作)に異常を検出した。	
50c	メディア幅センサー確認	メディア幅の検出に異常を検出した。	- メディアのセット位置を確認してください。☞「メディアをセットする」(P. 61) - メディア幅センサーを清掃してください。☞「メディアセンサーの清掃」(P. 144)
50f	L-SCALE BLACK	リニアスケールに異常を検出した。	主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 37)

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
516	メディア位置 右過ぎます	メディアが範囲外にセットされている。	- メディアのセット位置を確認してください。☞「メディアをセットする」(P. 61) - メディア幅センサーを清掃してください。☞「メディアセンサーの清掃」(P. 144)
519	負圧センサー異常	負圧センサーの自動認識に失敗した。	主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 37)
521	連結センサー異常	カッターヘッドと連結ユニットの接続に失敗した。	
522	カットヘッド待機位置	カッターヘッドと連結ユニットの接続に失敗したため、カッターヘッドを移動できなかった。	
523	PRセンサー確認	ピンチローラー位置の検出に失敗した。	主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 37)
525	イオナイザー異常	イオナイザーの内部回路が破損したか、異常放電が発生している。	
526	イオナイザー イオンレベル	電極針の汚れや摩耗によって、イオン発生量が低下している。	
527	イオナイザー コンディション	周囲の金属によってイオンが吸収されるなど、設置環境の不安定さから除電能力に影響が出ている。	イオナイザーの近くに導体や別の除電器がある場合は、導体や除電器を遠ざけてください。
528	ポンプモーター センサ	ポンプセンサー検出に異常を検出した。	主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 37)
549	LEnc. Count DIO	DIO基板へのリニアスケール配線に異常を検出した。	主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 37)
551	HDC DIO LENC count	HDC基板とDIO基板のエンコーダー値に異常を検出した。	主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 37)
602	インクボトルエンド	インクがなくなった。	新しいインクに交換してください。☞「インクエンドが表示されたとき」(P. 44)
607	キャップ吸収材交換	キャッピングのカウント値が規定量を超えた。	キャップ吸収材の交換と清掃をして、カウント値を初期化してください。☞「キャップ吸収材の交換」(P. 151)
608	インク IC異常	インクICチップの情報がエラーが発生した。	- インクICチップが正しく挿入されているかどうかを確認してください。インクICチップを挿し込む - 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 37)

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
			3. 新しいインクに交換してください。☞「インクを交換する」(P. 45)
61a	インクオーバーフロー	・ サブタンクのフロートセンサーがLimitを検出した。	・ [メンテナンス]> [オーバーフローメンテ]を実施してください。
61b	インク供給	・ サブタンクへのインク供給に失敗した。	・ 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 37)
61d	負圧維持不足	・ 適正範囲の負圧を維持できなくなった。(プラス側)	
61e	負圧維持オーバー	・ 適正範囲の負圧を維持できなくなった。(マイナス側)	
620	正圧維持不足	・ 適正範囲の正圧を維持できなくなった。(マイナス側)	
621	正圧維持オーバー	・ 適正範囲の正圧を維持できなくなった。(プラス側)	
627	インクボトル セット	・ 一定時間インクICチップが読めない。	1. インクICチップが正しく挿入されているかどうかを確認してください。 2. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 37)
64C	NCUエラー	・ 何らかのエラーにより機能が実行できない。	・ 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 37)
650	NCU接続異常	・ NCUの接続に異常を検出した。	
651	NCU交換	・ ノズル詰まり判定に異常を検出した。	・ NCUの交換が必要です。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
652	NCU 検出エラー (HW)	・ ノズル詰まり判定に異常を検出した。	・ NCUを清掃してください。☞「NCUの清掃」(P. 140)
653	NCU 検出エラー (マーク)		
654	NCU センター位置検出エラー	・ 吐出位置の調整に失敗した。	
655	NCU 吐出位置検出エラー		
656	NCU SN調整エラー	・ センサー感度調整に失敗した。	
657	NCU インク吸収材交換	・ NCUのインク吸収材が満杯になった。	・ NCUのインク吸収材交換が必要です。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
658	NCU センサー感度低下	・ センサー感度が低下している。	・ NCUを清掃してください。☞「NCUの清掃」(P. 140)
65b	NCU感度調整エラー H	・ センサー感度調整に失敗した。	

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
65c	NCU感度調整エラー L		エラーが解消されない場合、NCUの交換をお勧めします。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
707	!HD ヒータ ダンセン	ヘッドヒーター断線	主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 37)
715	インクヒータ サーミスタ	インクヒーターのサーミスタに異常を検出した。	主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 37)
716	インクヒータ温度		
717	インクヒータ断線		
71a	UV-DRV ヒューズ	UV-DRV基板ヒューズが切れた。	
901	実行できません	何らかのエラーにより機能が実行できない。	エラーの内容を確認してください。
902	未作図 データ アリ	プリント (RIP) データを受信している。	リモートモードに移行して、プリントしてください。またはデータクリアを実行して、プリントを中止します。
90d	ヘッド 選択 ナシ	プリントヘッドに異常を検出した。	主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 37)
90f	プリント エリア不足	プリント領域が不足している。	- メディア幅が広い、もしくはメディア長さが十分なメディアに交換してください。 - 原点移動により、プリントできる領域が狭くなっている場合は、原点を移動してプリントできる領域を広げてください。
b0a	CTC PCB Vpow	CTC基板の電源電圧に異常を検出した。	主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 37)
b0b	CTC PCB V24		
b0c	CTC PCB V5R0		
b0d	CTC PCB V3R3		
b0e	CTC PCB V2R5		
b0f	DIO PCB Uvpow	UV-DRV基板の電源電圧に異常を検出した。	主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 37)
b19	Station4 PCB V36	ステーションIV基板の電源に異常を検出した。	主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 37)
C10	コマンド	コマンドデータ以外のコードを受信した。	1. データクリアを実行して、再度データを送信してください。
C11	パラメータ	数値範囲外のパラメータを受信した。	2. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 37)
C12	デバイス	不当なデバイス制御コマンドを受信した。	3. USBケーブルの接続を確認してください。☞「USBケーブルを使う」(P. 38)

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
			4. 規格に適合したUSBケーブルを使用してください。☞「USB接続についての注意事項」(P. 38)
C31	データナシ	・ "コピー"を実行したが、受信バッファにデータが保存されていない。	・ 該当のデータを再度カッティングしてください。
C32	データが大きい	・ 受信済みのデータが大きすぎて、枚数切りができない。	・ データサイズを変更してください。
C33	シートサイズ	・ シートの送り方向が短すぎる。	・ 残量があるシートをお使いください。
C36	トンボ検出	・ トンボ検出ができなかった。	1. トンボのレイアウトが適切かどうかを確認してください。☞「トンボについて」(P. 102) 2. カールしていないメディアを使用してください。 3. トンボ検出の開始点を確認してください。 4. 白地に黒色のトンボがプリントしてあるかどうかを確認してください。 5. トンボ間にプリントや汚れがあるかどうかを確認してください。 6. トンボ検出の各種設定が正しいかどうかを確認してください。 7. トンボの周りを塗りつぶしている場合、[トンボ検出] > [塗り潰しトンボ]を[ON]に設定してください。
C37	トンボ原点	・ トンボ検出の結果、範囲外にトンボを検出した。	・ 以下を参照してレイアウトを変更してください。☞「トンボの読み取り範囲」(P. 105)
C60	ペン エンコーダ	・ ペン高さが検出できなかった。	・ 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 37)
C61	ペン ストローク	・ ペン高さが適正でない。	1. ペンラインゴムが摩耗していないか、また浮きや変形がないかどうかを確認してください。 2. ペンラインゴムに異物が付着していないかどうかを確認してください。 3. 市販ペンホルダーにペンを取り付けた際、適正な位置に取り付けられているかどうかを確認してください。

SYSTEM HALT

エラー番号	メッセージ	対処方法
406	WIPER ORG	1. ワイパーとワイパー周辺を清掃してください。☞「ワイパーの清掃」(P. 137) 2. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 37)
1c3	PCB SLDR2H	1. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 37)



- その他のSYSTEM HALT番号が表示された場合は、主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。👉 [「電源を切る」 \(P. 37\)](#)

第 8 章 付録



この章では...
本機の仕様など説明しています。

仕様	190	LICENSE Library (EPL5 StarterWare)	193
仕様（カッティング）	192		

8.1 仕様

項目			UCJV300				UCJV150
			160	130	107	75	160
プリントヘッド	方式		オンデマンドピエゾヘッド				
	仕様		ヘッド（4列）を2つ搭載（インライン配列）				ヘッド（4列）を1つ搭載
	解像度		Y：300dpi、600dpi、1,200dpi X：600dpi、900dpi、1,200dpi				
インクセット	4-color		C, M, Y, K				C, M, Y, K
	4-color、W		C, M, Y, K, W				-
	4-color、W、CL		C, M, Y, K, W, CL				-
	6-color、W		C, M, Y, K, Lc, Lm, W				-
メディア	種類		ラベル原紙（紙ベース）、塩ビシート（ラミネート加工を含み、厚さ0.25mm以下）、蛍光シート、反射シート（高輝度反射シートは除く）				
	最大プリント/カット幅*1		1,610mm	1,361mm	1,090mm	800mm	1,610mm
	ロールリーフ共通	最大幅	1,620mm	1,371mm	1,100mm	810mm	1,620mm
		最小幅	210mm				
		厚さ	1.0mm以下				
	ロール	ロール外径*2	ø250mm以下（紙メディア）、ø210mm以下（その他）				
		ロール重量*2、*3	40kg以下				
		紙管内径*4	2インチ、または3インチ				
		プリント面	外面、内面				
		巻き終り処理	紙管にテープ止め、または弱粘着				
プリントマージン	左右		15.0mm（デフォルト値）、最小値：左右 5mm				
	前端		120mm				
	後端		150mm				
距離精度*5	絶対精度		±0.3mm、または指定距離の±0.3%の大きい方				
	再現性		±0.2mm、または指定距離の±0.1%の大きい方				
直角度			±0.5mm/1,000mm				
メディアスキュー			5mm以下/10m				
プリントギャップ			手動3段階（2.0、2.5、3.0mm）				
メディア裁断			裁断精度（段差）0.5mm以下				
原点位置合わせ			LEDポインター式				
インク供給			インクボトル				
メンテナンス液供給			なし				

項目		UCJV300				UCJV150
		160	130	107	75	160
廃インクタンク		ボトル式（2,000ml）				
巻き取りユニット		内巻き、外巻き 切り替え可能				
メディアヒーター		なし				
NCU（ノズル詰まり検出）		搭載				
UV装置		空冷LED UV照射装置2基				
画像展開メモリー		SD-RAM：2GB				
インターフェイス	データ転送機能	USB 2.0 Hi-speed、Ethernet 1,000BASE-T				
	メール機能	Ethernet 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T				
コマンド		MRL-V				
言語		日本語、英語、中国語、トルコ語、ポルトガル語				
騒音	待機時	55dB以下（FAST-A、前後左右1m）				
	連続動作時	65dB以下				
	不連続動作時	70dB以下				
適合規格		VCCI-classA、FCC-classA、IEC62368-1 準拠ETL、CE マーキング（EMC 指令、低電圧指令、機械指令、RoHS指令）、CB 認証、REACH、EnergyStar、RCMマーク				
電源仕様 ^{*6}		単相AC100-120V±10%/12A、単相AC200-240V±10%/8A、50/60±1Hz				
消費電力	標準	-				
	最大	1,440W（AC100-120V）、1,920W（AC200-240V）				
	最小	-				
設置環境 ^{*7}	使用可能温度	20 - 30°C				
	相対湿度	35 - 65%Rh（結露なきこと）				
	精度保証温度	20 - 25°C				
	温度勾配	±10°C/h 以下				
	粉塵	0.15mg/m ³ （オフィス相当）				
	動作最高高度	2,000m				
外形寸法 ^{*8}	幅	2,900mm (-mm)	2,650mm (-mm)	2,380mm (-mm)	2,090mm (-mm)	2,900mm (-mm)
	奥行き	776mm (-mm)				
	高さ ^{*インクボトル除く}	1,475mm (xxxxmm)				
重量 ^{*8}		188kg (-kg)	177kg (-kg)	161kg (-kg)	144kg (-kg)	183kg (-kg)

*1. 設定メニューのマーシンを左右を最小値（5mm）に設定

*2. メディア巻き取り後の外径および重量

*3. 重量によるたわみがない範囲

*4. 高速プリント時は3インチのみ

*5. メディアの伸縮、セット初期蛇行は除く

*6. オプション類除く

*7. 範囲外の環境ではインク吐出安定性が低下する

*8. （）内は、梱包時のサイズ

8.2 仕様（カッティング）

項目	内容
最大速度 ^{*1}	30cm/s（45°方向 42cm/s）
最大加速度	0.5G
カット圧力	10～450g
カッター応答回数	10回/sec
使用可能ツール	偏芯カッター、ボールペン（市販品 ^{*2} ）
使用可能メディア	ラベル原紙（紙ベース）、塩ビシート ^{*3} （厚さ0.25mm以下、ラミネート加工含む）、蛍光シート ^{*4} 、反射シート ^{*4} （高輝度反射シートは除く）
反復精度	±0.2mm 以下（温度によるフィルムの伸縮を除く）
受信バッファメモリ	32MB
コマンド	MGL-II c2
プログラムステップ	25μm/step

*1. メディアのサイズによって、最大速度が制限されることがあります。また速度、加速度ともに最大で動作することはできません。

*2. 出っ張りやテーパーのないものを使用してください。またボールペンによってばらつきがありますので、画質の保障はできません。

*3. 当社規定のシートによる。

*4. 蛍光シート専用刃（SPB-0007）、反射シート専用刃（SPB-0006）。

8.3 LICENSE Library (EPL5 StarterWare)

Mimaki printer Firmware

Copyright ©2020 MIMAKI ENGINEERING CO.,LTD. All rights reserved.

This product contain open source software listed in the tables below.

Component	License
StarterWare for ARM® based TI Sitara Processors	BSD-TI

The following license terms and conditions shall apply to the open source software listed in the table above:

BSD-TI

Copyright (C) 2010 Texas Instruments Incorporated - <http://www.ti.com/>

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of Texas Instruments Incorporated nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

索引

A	
ACインレット	28
E	
[END/POWER]キー	31, 32, 37
[ENTER]キー	32
F	
FineCut	106
[FUNCTION]キー	32, 34
I	
IDカットガイド	105, 109
IDカット	105, 109
J	
[JOG]キー	32
L	
LANGUAGE	120
LANケーブル	38
LANポート	28
LTモード	114, 116
M	
MAPS	114
Mimakiドライバー	41
N	
NCU	29, 135, 140
R	
RasterLink	41, 42, 43, 77, 78, 105, 106, 113, 173, 175
S	
[SEL]キー	32
SYSTEM HALT	32
T	
Temporary	114

U

USBインターフェイスクーブル	38
USBポート	28
UV-LEDランプ	135, 142
UV光量調整	114
UVモード	113
UVランプ	126

V

VCCI	7
------------	---

あ

アップスピード	128
---------------	-----

い

イオナイザー	114
イベントメール	121, 122
インクICチップスロット	26
インクICチップ	49, 50
インクエラー	33
インクエンド	44
インク供給ユニット	27, 30, 49
インク交換レポート	126
インク残量	33
インク充填	118
インク状態確認ランプ	30
インクステータスランプ	26
インクニアエンド	44
インクの状態	33
インク排出経路	135, 143
インクふき取りフィルター	26, 28
印刷中チェック	125
インストールガイド	41, 42, 43
インターロック	20
インレット	36

え

エラー履歴	126
エラー	32, 178

お

オートクリーニング	113
-----------------	-----

オートパワーオフ	120
オートメディアカット	129
オートメンテナンス	117
オーバーカット	129, 130
オーバーフローメンテ	118
オフセット	94

か

カーブモード	129
確認フィード	120
重ね塗り	112
カッターユニット	26
カッティングメニュー	127
カット溝	30
カットモード	128
カラープロファイル	41
乾燥時間	112

き

キープザー	120
キャッピングステーション	26, 29
キャップ吸収材交換	151
キャップ吸収材	151
キャップ	135, 139
キャリッジアウト	117
キャリッジの移動	32
キャリッジ	26, 29, 135, 141
キャンセル	32
吸着ファン	28, 113, 129

く

空気抜き	118
クランプレバー	26, 28
クリーニング後チェック	113
繰り出しユニット	28
グリットローラー	26
グリットローラー	29, 56

け

警告ラベル	21
検出エリア	127

こ

コーナーカット	129, 130
コピー	128, 130, 187
コンセント	36

さ

サンプルカット	129, 172, 175
---------------	---------------

し

シート設定	129
時刻設定	120
自動ノズルリカバリー	125
遮光カバー	45
ジャムセンサー	135, 145
受信障害	6
受信バッファ	80, 97, 128, 130, 172, 187
主電源スイッチ	28, 31, 36
使用時間	126
使用状況	126
情報メニュー	126
シンボルマーク	8

す

スイッチングハブ	39
スケール補正	129, 173
ステーションメンテ	117
ステータスランプ	32
捨て切り	128
スミージングレベル	114

せ

設置スペース	18
設定サブメニュー	128
設定メニュー	112
センサー感度	127, 178, 179, 185

そ

操作パネル	26, 32
-------------	--------

た

高さ調整レバー	55
多層印刷	70

単位 / 温度	120
単位 / 長さ	120
つ	
ツール交換	87, 92, 128, 158
て	
定期ワイピング	113
ディスプレイ	32, 33
テストプリント	32, 71
電源ケーブル	36
電源プラグ	36
電波障害自主規制	7
と	
吐出不良	166
ドット位置補正	34, 54, 76, 112
トルクリミッター	62
トンボ検出ENDキー起動	127
トンボ検出	102, 105, 107, 108, 127, 187
トンボセンサー	129, 172, 173, 174
トンボ	100, 102, 103, 104, 106, 127
ぬ	
塗り潰しトンボ	127
ね	
ネットワーク	121
の	
ノズル洗浄	117, 167, 168
ノズルチェックメニュー	125
ノズルリカバリー	117
ノットレディモード	33
は	
バージョン	126
ハーフカット	94, 162
廃インクタンク交換	118, 160
廃インクタンク	26, 126, 135, 159
排気ファンBOX	135, 155
排気ファンフィルター	135, 154
判定条件	125

ひ

表示言語	120
ピンチローラーガイド	56
ピンチローラー	26, 29, 53, 56, 70, 84, 155

ふ

フィード速度	113
フィード補正	34, 53, 74, 112
ブラテン	26, 30, 135, 147
プリント原点	79
プリント長	126
プリント面積	126

へ

ヘッドクリーニング	32, 73
ヘッド高さ	55
ヘッドメンテナンス	117
ペンライン	162

ほ

保管洗浄	117, 147
補正圧オフセット	129, 175
ボトルキャップ	45, 46, 47, 48
ホワイトインク	71
ポンプチューブ洗浄	117, 144

ま

マージン	105, 113
巻取スイッチ	120
巻き取りユニット	26, 61
巻取ユニット	120
マシン設定メニュー	120

み

ミストフィルター	135, 142, 152
----------------	---------------

め

メディア押さえ	135, 145
メディア検出	120
メディア残量	120
メディアセンサー	28, 31, 135, 144
メディアハンガー	63

メディアフィード	32
メディア	61
メニューモード	33
免責事項	6
メンテナンスカバー	26
メンテナンスメニュー	117

よ

余白フィード方式	121
----------------	-----

り

リーフメディア	67
リスト	126
リファレンスガイド	78, 175
リモートモード	32, 33

ろ

ローカルガイダンス	35
ローカルモード	32, 33
ロールホルダー	63
ロールメディア	63
ロジカルシーク	112

わ

ワイパー交換	117, 150
ワイパー	135, 137, 150
ワイピング	126

MEMO

取扱説明書

2025年10月

発行者 株式会社ミマキエンジニアリング
発行所 株式会社ミマキエンジニアリング
〒389-0512
長野県東御市滋野乙2182-3

